上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事

共　通　図　面						耐震補強図面	
A-01	表紙・図面リスト	A-21	家庭調理室AW-1廻り改修図(展開図・平面図・断面図)	A-41	建具表(3)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	S-01	耐震補強特記仕様書
A-02	特記仕様書（１）	A-22	図書室AW-1廻り改修図(展開図・平面図・断面図)	A-42	西側渡り廊下改修図(1)	S-02	１階・２階平面図（耐震補強）
A-03	特記仕様書（２）	A-23	ｸﾗｽﾙｰﾑAW-1廻り改修図(展開図・平面図・断面図)	A-43	西側渡り廊下改修図(2)屋根	S-03	３階・Ｒ階平面図（耐震補強）
A-04	特記仕様書（３）	A-24	廊下AW-2廻り改修図(展開図・平面図・断面図)	A-44	東側新設渡り廊下改修図(1)	S-04	基礎伏図（耐震補強）他
A-05	特記仕様書（４）	A-25	ＡＤ－３廻り改修図	A-45	東側新設渡り廊下改修図(2)	S-05	２階・３階梁伏図（耐震補強）
A-06	特記仕様書（５）	A-26	ＡＤ－４廻り改修図	A-46	東側渡り廊下解体図(1)	S-06	Ｒ階梁伏図（耐震補強）他
A-07	配置図・付近見取図・面積表	A-27	ＡＤ－５廻り改修図	A-47	東側渡り廊下解体図(2)	S-07	軸組図１（耐震補強）
A-08	工事概要・仕上表	A-28	ＡＤ－２・６廻り改修図			S-08	軸組図２（耐震補強）
A-09	１階平面図（既存・改修後）	A-29	ＡＤ－１廻り改修図・昇降口展開図			S-09	断面詳細図（１）
A-10	２階平面図（既存・改修後）	A-30	昇降口改修　平面図・床断面図・部分詳細図	K-01	家具詳細図(1)	S-10	断面詳細図（２）
A-11	３階平面図（既存・改修後）	A-31	展開図(1)	K-02	家具詳細図(2) 老朽改修		
A-12	立 面 図（１）	A-32	展開図(2)	K-03	家具詳細図(3) 耐震改修		
A-13	立 面 図（２）	A-33	展開図(3)	K-04	既存家具塗装改修図		
A-14	断面詳細図・外部庇改修図	A-34	展開図(4)	K-05	既存解体家具図		
A-15	男子便所仕上表・平面図（既存・改修後）	A-35	展開図(5)廊下	K-06	黒板・掲示板・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ ｷｰﾌﾟﾗﾝ図		
A-16	女子便所仕上表・平面図（既存・改修後）	A-36	展開図(6)廊下	K-07	黒板・掲示板詳細図		
A-17	便所内部撤去展開図（既存）	A-37	展開図(7)階段	K-08	ホワイトボード詳細図		
A-18	男子便所展開図（改修後）	A-38	天井伏図				
A-19	女子便所展開図（改修後）	A-39	建具表(1)・外枠断面図・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ				
A-20	便所断面詳細図・天井伏せ図	A-40	建具表(2)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ				

Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title 図　面　リ　ス　ト

Designed by
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
〒682－0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
TEL　0858－22－7717FAX　0858－23－5315
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

D　C　NO A-01

建　築　工　事　仕　様　書

Ⅰ．工　事　概　要

1．工 事 場 所　　倉吉市上灘町
2．敷 地 面 積　　23,422.00　　㎡
3．地 域 地 区　　都市計画地域（ ⊙内 ・外 ）　市街化調整区域
　　　　　　　　　用途地域等　（　　　　　）
4．建 物 概 要

番号	名　称	工事種別	構　造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)
⑦	普通教室棟	耐震改修	鉄筋コンクリート造	３階	790.51	2,178.19
	西側渡り廊下	老朽改修	鉄骨造	１階	30.00	30.00
	東側渡り廊下	老朽改修(新設)	鉄骨造	２階	50.00	50.00

Ⅱ．建築工事仕様

1．共通仕様
（１）　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成２２年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成２２年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
（２）　請負者は完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。
（３）　電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2．特記仕様
（１）　項目は番号に○印のついたものを適用する。
（２）　特記事項は⊙印のついたものを適用する。
　　⊙印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
　　⊙印と※印のついた場合は共に適用する。
（３）　項目に記載の（　　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。［　　　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を表す。
（４）　Ｇ印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成２２年２月）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。
（５）　標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守（１．１．１３）の規定を優先する。
（６）　材料及び製造所等の記載は順不同である。

章		項　目	特　記　事　項

① 一般共通事項

① 適用基準等
※　建築工事標準詳細図　　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（平成２２年版）（以下「標準詳細図」という）
※　建築工事監理指針（上巻・下巻）　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（平成２２年版）
※　工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編　　建設大臣官房官庁営繕部監修
⊙　国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成２２年版）」
・
・

② 官公庁その他への手続（1.1.3）
工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする

3 電気保安技術者（1.3.3）
工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規定第５条に定める工事を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。

④ 工事安全計画書（1.3.7）
建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督員に提出する

⑤ 発生材の処理等（1.3.8）
・　引き渡しを要するもの（　　　　　　　　　）
・　現場において再利用を図るもの（　　　　　　　　　）
・　再生資源化を図るもの
　⊙ コンクリート塊　・　アスファルトコンクリート塊　・　建設発生木材

⑥ 環境への配慮（1.4.1）
化学物質を放散させる建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の１）から５）を満たすものとする
１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド又はスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散がきわめて少ないものとする
５）１）、３）及び４）の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする
　ホルムアルデヒド放散量　規制対象外
　該当する建築材料
　①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品
　②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
　③下記表示のあるＪＡＳ適合品
　　ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
　　ｂ．接着剤等不使用
　　ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
　　ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
　　ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
　　ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
　ホルムアルデヒド放散量　第三種
　　該当する建築材料
　　①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆品
　　②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通大臣認定品
　　③旧ＪＩＳのＥｏ品
　　④旧ＪＡＳのＦｃｏ品

⑦ 材料の品質等（1.4.2）
本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等のものとする。ただし、製造業者等が記載されている場合に同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける
ＪＩＳ又はＪＡＳマーク表示のない材料及びその製造業者等又は、別表に示す材料・機材等の製造業者等は、次の（１）から（６）すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける
　（１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
　（２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
　（３）安定的な供給が可能であること
　（４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること
　（５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
　（６）販売、保守等の営業体制が整えられていること（なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場で施工体制が整えられていること）
別表

床型枠用鋼製デッキプレート	オーバーヘッドドア
鉄骨柱下無収縮モルタル	防水剤
無収縮グラウト材	現場発泡断熱材
乾式保護材	フリーアクセスフロア
透水・保水性床タイル及びブロック	可動間仕切
既成調合モルタル	移動間仕切
ルーフドレン	トイレブース
吸水調整材	煙突用成形ライニング材
アルミニウム製建具	天井点検口
鋼製建具	床点検口
鋼製軽量建具	グレーチング
ステンレス製建具	屋上緑化システム
錠前類	トップライト
クローザ類	エポキシ樹脂
自動扉機構	タイル部分張替え用接着剤
自閉式上吊り引戸機構	ポリマーセメントモルタル
重量シャッター	既成調合目地材
軽量シャッター	鋳鉄製ふた

⑧ 特別な材料の工法
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品等の指定工法による

⑨ 技能士（1.5.2）
下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと
（技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者）
また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札（下図参考）を常時着用すること

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	・　とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	⊙　鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	⊙　型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・　コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	⊙　構造物鉄工作業
	とび	・　とび作業
コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事	ブロック建築	・　コンクリートブロック工事作業
	ＡＬＣパネル施工	・　ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	防水施工	・　アスファルト防水工事作業 ・　ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・　アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・　合成ゴム系シート防水工事作業 ・　塩化ビニル系シート防水工事作業 ・　セメント系防水工事作業 ・　シーリング防水工事作業 ・　改質アスファルトシートトーチ工法 ・　防水工事作業 ・　ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・　石張り作業
タイル工事	タイル張り	・　タイル張り作業
木工事	建築大工	・　大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・　内外装板金作業
	スレート施工	・　スレート工事作業
金属工事	内装仕上施工	・　鋼製下地工事作業
	建築板金	・　内外装板金作業
左官工事	左官	・　左官作業
建具工事	サッシ施工	・　ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・　ガラス工事作業
	自動ドア施工	・　自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・　金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・　ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・　ガラス工事作業
塗装工事	塗装	⊙　建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	・　プラスチック系床仕上工事作業 ・　カーペット系床仕上作業 ・　ボード仕上工事作業
	表装	・　壁装作業
排水工事	配管	・　建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・　溶解ペイントマーカー工事作業 ・　加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・　造園工事作業
畳工事	畳	・　畳製作作業

《技能士名札参考図》

⑩ 化学物質の濃度測定（1.5.9）
図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告するパッシブ型採取機器を用いて、次の要領で測定及び分析を行う
・　パラジクロロベンゼン
　①３０分間換気
　　測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、３０分間換気する
　②５時間閉鎖
　　①の後、測定対象室すべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする
　③測定
　　イ　②の状態のままで測定する
　　ロ　測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう、１０時３０分～１８時３０分までの時間帯で測定する
　　ハ　測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする
　④分析
　　測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する
　⑤その他
　　監督員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること

⑪ 完成写真
下記のものを監督員に提出する

区　分	分類・規格	撮影箇所	部数	原版の大きさ(mm)
※　工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	１部	・　24× 36以上
※　完成写真	カラーサービス判	⊙　内部改修部	２部	・　24× 36以上
		⊙　外部改修部	２部	・　24× 36以上
・	カラーキャビネ判	・　内部　　箇所	部	・　24× 36以上
		・　外部　　箇所	部	・　24× 36以上
・　パネル	カラー	・　四ッ切　　箇所	２部	・　100×125以上
		・　半切　　箇所		・　24× 36以上
		・　全紙　　箇所		
・				

・　電子データ及びネガの提出[工事記録写真]　　（・　要　・　不要）
・　電子データ及びネガの提出[完成写真]　　（・　要　・　不要）

⑫ 完成時の提出図書（1.7.1~2）
下記のものを監督員に提出する
⊙　原図Ａ１版又はＡ２版（設計図の第２原図訂正不可）　　１　部
⊙　ＣＡＤデータ　　１　部
⊙　原図の陽画複写紙の２つ折製本　　２　部
⊙　原図の縮小版の陽画複写紙の２つ折製本（Ａ４版）　　２　部
・　複写　縮小版Ａ３バラ焼　　部

完成図の種類及び内容
⊙　案内図・配置図・面積表　：　配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む（ＢＭの表示）
⊙　平面図　：　室名、耐震壁（防火壁）、避難施設等を表示する
⊙　立面図　：　外壁仕上等を表示する
⊙　断面図　：　階高、天井高等を表示する
⊙　仕上表　：　屋外、屋内（各階）の仕上表を表示する
・

⑬ 施工図及び施工計画書（1.7.2）
提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする

⑭ 設備工事との取り合い
設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける

設備工事との取り合い		建築	電気	機械
・　コンクリート壁、床、梁貫通部	補強	※		
	スリーブ・箱入れ		※	※
・　鉄骨造の開口及び補強		※		
・　照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート（釘処理共）			※	
・　軽量鉄骨壁のボックス取付用下地			※	
・　埋込分電盤・端子盤・プルボックスの仮枠及び埋込部分の補強	仮枠		※	
	補強	※		
・　ＯＡフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※		
・　埋込型機器取付用の天井壁の切込加工、下地の補強	切込		※	※
	補強	※		
・　自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		※		
・　電気室、自家発電室などの基礎及びピット（蓋を含む）		※		
・　テレビアンテナ	基礎	※		
	アンカーボルト		※	
・　天井点検口		※		
・　機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置		※	※
	屋上設備	※		

⑮ 設計ＧＬ
※　図示による　・（　　　）

⑯ 耐荷重及び耐外力
建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速　　Ｖｏ＝　　ｍ／ｓ
地表面粗度区分　・　Ⅰ　・　Ⅱ　・　Ⅲ　・　Ⅳ
積雪区分　建設省告示第１４５５号　別表（　　　）

⑰ 保全に関する資料（1.7.3）
下記のものをＪＩＳ　Ａ４版ファイルに製本して監督員に提出する。
・　主な主要資材、機器等のメーカー及び施工者一覧表
・　機器性能試験成績書及び取扱説明書
・　保証書
・　官公署届出書類（保守に必要とするもの）
・　建築物の保守に関する説明書、指導案内書
・
・

⑱ 火災保険等
工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する
（保険の加入期間は、工事完成引き渡しまでとする）

１９ 環境配慮
鳥取県公共工事環境配慮指針　※　対象工事　・　非対象工事

２０ 建設リサイクル法
※　対象工事　・　非対象工事

２１ 鳥取県福祉のまちづくり条例
※　対象工事　・　非対象工事

２２ 鳥取県景観形成条例
※　対象工事　・　非対象工事

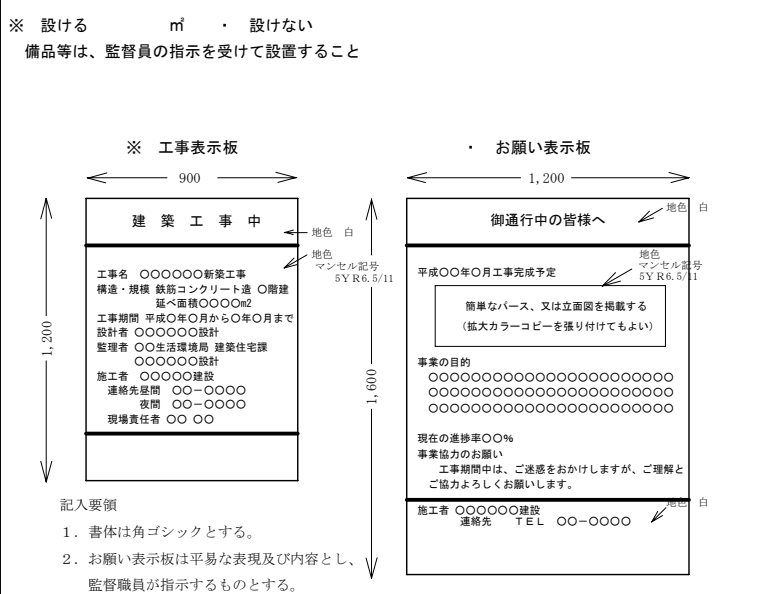
２３ バリアフリー法
※　対象工事　・　非対象工事

２４ 省エネ法
※　対象工事　・　非対象工事

② 仮設工事

① 足場その他（2.2.4）
足場を設ける場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成２２年版２．２．４（ｂ）によるほか、設置においては「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の（２）手すり据置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行うこと

2 監督職員事務所（2.3.1）
※　設ける　　㎡　・　設けない
　備品等は、監督員の指示を受けて設置すること

③ 表示板

記入要領
1．書体は角ゴシックとする。
2．お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

④ 工事用水
構内既存の施設　※　利用できない　・　利用できる（ ※　有償　・　無償 ）

⑤ 工事用電力
構内既存の施設　※　利用できない　・　利用できる（ ※　有償　・　無償 ）

⑥ 工事用仮設物
構内既存の施設　・　できる　⊙　できない

7 工事現場のイメージアップ

3 土工事

1 埋戻し及び盛土（3.2.3）
埋戻し土　　種別　・　Ａ種　※　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　　表3.2.1
　・　建設汚泥から再生した処理土Ｇ
　　Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う
盛土　　種別　・　Ａ種　※　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種
　・　建設汚泥から再生した処理土Ｇ
　　Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督員と協議の上、六価クロム溶出試験を行う

2 建設発生土の処理（3.2.5）
※　構外指示の場所に処分
・　構内指示場所に敷き均し
・　構内指示場所に堆積

④ 地業工事

1 共通仕様（4.2.2）（4.2.4）
試験杭　　（　　）本　　位置は構造図による
地盤の平板載荷試験　※　行わない
　・　行う　（　　）箇所
　　位置、深さ、対象地盤及び最大載荷荷重は構造図による
　　試験の方法、報告書の記載事項等は構造図による

2 既製コンクリート杭地業（4.3.2~7）
材料
　※　遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（ＰＨＣ杭）
　・　外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭）
　・　プレストレス鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭）

	符号	杭径（mm）	杭長（ｍ）及び種別	継手数	本数	コンクリート強度（Ｎ／mm²）	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭			上杭 中杭 下杭					
本杭			上杭 中杭 下杭					

ＳＣ杭の鋼管　・　ＳＫＫ４００　・　ＳＫＫ４９０　・　ＳＴＫ４００　・　ＳＴＫ４９０
ＳＣ杭の板厚　※　構造図による
ＰＨＣ杭の種別　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種
ＰＲＣ杭の種別　・　Ⅰ種　・　Ⅱ種　・　Ⅲ種　・　Ⅳ種
　なお、特定埋込杭工法における杭材料はＪＩＳ又は認定条件に適合するものとする

先端部材形状　※　開放形　・　閉そく平たん形
ネガティブフリクション対策
　※　不要　・　要（構造図による）
杭の継手　・　溶接継手
　・　機械式無溶接継手　（　※　建築基準法に基づき評定等を受けたもの）
　　機械式無溶接継手は評定等により定められた項目の検査を行う
　　施工は評定等に記された施工管理基準による
杭頭の処理　※　切断しない　・
杭頭の中詰材料　※　コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）
支持地盤　※　構造図による
施工方法
　※　特定埋込み杭工法　・　セメントミルク工法
　・　Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
　・　Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝　　、β＝　　、γ＝　　を採用できる工法
　　工法　・　プレボーリング拡大根固め工法　・　中掘り拡大根固め工法
　　杭周固定液の使用　・　する　・　しない
杭の精度
　水平方向の位置ずれ　・　杭径の１／４かつ１００mm以下　・
　杭の傾斜　・　１／１００　・　評定条件または認定条件による　・

CHECK

Designed by
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
〒682－0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
ＴＥＬ　０８５８－２２－７７１７ＦＡＸ　０８５８－２３－５３１５
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

④ 地業工事

3 鋼杭地業（4.4.2~5）

種類の記号　・ ＳＫＫ４００　・ ＳＫＫ４９０　・

寸法、継手等

	符号	杭径（mm）	杭長（m）及び厚さ（mm）	長期設計支持力（ｋＮ／本）	本数	備考
試験杭						
本杭						

杭先端部形状　・ 開放形　・ 半開放形　・ 閉そく形　・

先端部の補強　※ 図４．４．１、表４．４．２による　・

施工方法　※ 特定埋込杭工法

・ 中堀り拡大根固め工法　・

・

国土交通省告示第１１１３号第６に定める地盤の許容支持力式の内α、β、ｒが下記の値をとれる工法とする

α＝（　　）、β＝（　　）、ｒ＝（　　）

杭の精度　水平方向の位置ずれ　・ 杭径の１／４かつ１００mm以下　・

杭の傾斜　・ １／１００以内　・

試験杭　試験杭の位置　※ 構造図による　・

試験杭の施工　※ 本杭の施工に先立ち行う　・

杭の現場継手　・ 溶接継手

形状　※ ＪＩＳＡ５５２５による　・

溶接材料　※ ７．２．５(a)(b)による　・ ７．２．５(a)(b)以外（　）

溶接部の確認方法　※ ７．６．１０による　・

抜取り率　・ 全数　・

・ 無溶接継手

工法　※ 建築基準法による審査を受けた工法　・

検査　※ 建築基準法による審査により定められた項目　・

施工　※ 建築基準法による審査された施工管理基準による　・

杭頭の処理　・ 処理しない

・ 処理する

処理方法　※ 構造図による　・

補強方法及び試験、溶接部確認方法　※ 構造図による　・

杭頭の中詰め材料　※ 基礎のコンクリートと同調合のもの　・

4 場所打ちコンクリート杭地業（4.5.2~6）

施工管理技術者　※ 適用する

杭断面・長期許容支持力

	符号	軸径（mm）	杭長（m）	拡底径（mm）	セット数	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭							
本杭							

材料　表4.5.1

コンクリートの種別及び設計基準強度

（　）種かつ（　）Ｎ／mm²以上

構造体コンクリート強度と供試体の強度差を考慮した割り増し　・ 行う　・ ３Ｎ／mm²　・　※ 行わない

気温によるコンクリート強度の補正（Ｔ）　・ 行う　※ 行わない

セメントの種類　※ 高炉セメントＢ種 Ｇ

鉄筋の種類　※ ５章鉄筋工事の鉄筋の種類による

鋼管巻きの材料　・ ＳＫＫ４００　・ ＳＫＫ４９０　・ ＳＴＫ４００　・ ＳＴＫ４９０

鋼管径・板厚・長さ　※ 構造図による

掘削工法　・ アースドリル工法（ ※ 安定液使用　・ 無水掘削 ）

・ リバース工法

・ オールケーシング工法（孔内の水張　・ 行う　・ 行わない ）

併用する工法　・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・ 拡底杭工法（ ※ 安定液使用　・　）

孔壁測定　※ 行う

測定方法　※ 超音波測定器

測定場所　※ 試験杭（　）箇所及び本杭（　）箇所

・ 行わない

支持地盤　※ 構造図による

帯筋　※ 構造関係共通事項６.２（ａ）（３）⑥（ロ）による

・ 構造図による

鉄筋かごの補強　※ 構造図による

鉄筋の最小かぶり厚さ　・ １００mm　・

5 直接基礎

支持地盤の設計支持力度　・（　）ｋＮ／m²以上

支持地盤　※ 構造図による

⑥ 砂利地業（4.6.2~3）

材料　※ 再生クラッシャラン Ｇ　・ 切込み砂利及び切込み砕石

厚さ及び使用範囲

厚さ	使　用　範　囲
※ ６０	

7 捨てコンクリート地業（4.6.4）

コンクリートの仕様　※ コンクリート工事無筋コンクリートによる

厚さ及び使用範囲

厚さ	使　用　範　囲
※ ５０	

⑧ 床下防湿層（4.6.5）

施工範囲　※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）

防湿工法　※ ポリエチレンフィルム厚さ０．１５㎜以上

防湿層の位置　※ 図示による

9 地盤改良

工法　・ 浅層混合処理工法

適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による

・ 深層混合処理工法

適用範囲、仕様及び計測、試験は構造図による

10 置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）

形状　※ 構造図による

支持地盤の長期設計支持力　・（　）（ＫＮ／m²）

支持地盤　※ 構造図による

コンクリートの仕様　※ コンクリート工事　無筋コンクリートによる

型枠使用の有無　・ 無し　※ 有り

⑤ 鉄筋工事

① 鉄筋の種類（5.2.1）　表5.2.1

規格の名称	種類の記号	使用箇所	呼び径（mm）	備考
異形鉄筋	※ ＳＤ２９５Ａ		※ Ｄ１６以下	
（鉄筋コンクリート	※ ＳＤ３４５		※ Ｄ１９以上	
用棒鋼）				

② 溶接金網（5.2.2）

種類の記号	使用箇所	呼び径・寸法・形状（mm）

3 圧接完了後の試験（5.4.9）

外観試験　※ 行う（全数）

抜取試験　※ 超音波探傷試験　・ 引張試験

④ 鉄筋の継手（5.3.4）

継手の工法

部位	継手工法と適用径の範囲
・ 柱主筋	※ ガス圧接（Ｄ１９以上）
・ 梁主筋	※ ガス圧接（Ｄ１９以上）
・ 基礎スラブ、耐圧スラブ	・ ガス圧接（　）
・ 土圧壁など	・ 重ね継手（　）
・ 耐震壁	※ 重ね継手
・ 杭主筋	※ 重ね継手

鉄筋の継手位置　・ 構造関係共通事項による　・ 構造図による

鉄筋の継手長さ　※ ４０ｄと標準仕様書　表５.３.２の重ね継手長さのうち、大きい値とする。

・ ４０ｄ　・

5 基礎梁主筋の継手

・ 構造関係共通事項　図５．２による（ ※ 全て　・ 構造図による　・　）

・ 構造関係共通事項　図５．３による（ ※ 全て　・ 構造図による　・　）

・ 構造関係共通事項　図５．４による（ ※ 全て　・ 構造図による　・　）

⑥ 鉄筋の定着長さ（5.3.4）

※ ４０ｄと標準仕様書　表５.３.４の定着長さのうち大きい値とする

・ ４０ｄ　・

⑦ 耐久性不利な箇所の鉄筋最小かぶり厚さ（5.3.5）

耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による

施工箇所	構造関係共通図の値に加える寸法（mm）
・ 柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打ち放し面	※ １０　・
・ 塩害の恐れがある部分	・ ２０　・ ３０　・ 図示

⑧ 各部配筋

※ 構造関係共通事項による　・

⑨ 帯筋

※ Ｈ形　構造関係共通事項　図６．２（ａ）①Ｈ形による

（ ※ 全て　・ 構造図による　・　）

・ Ｗ－Ｉ形　構造関係共通事項　図６．２（ａ）②Ｗ－Ｉ形による

（ ※ 全て　・ 構造図による　・　）

・ ＳＰ形　構造関係共通事項　図６．２（ａ）⑤ＳＰ形による

（ ※ 全て　・ 構造図による　・　）

⑩ 壁開口部の補強

一般壁　・ Ａ形　構造関係共通事項　表８．３による

（ ※ 全て　・ 構造図による　・　）

※ Ｂ形　構造関係共通事項　表８．４による

（ ※ 全て　・ 構造図による　・　）

・ 構造図による

耐震壁　※ 構造図による

11 梁貫通孔の補強形式

※ Ｈ形　構造関係共通事項　表１１．１による

（ ※ 全て　・ 構造図による　・　）

・ Ｍ形　図示による

（ ※ 全て　・ 構造図による　・　）

・ ＭＨ形　図示による

（ ※ 全て　・ 構造図による　・　）

・ 構造図による

12 構造（耐震）スリット

耐震スリットの設置箇所　※ 構造図による　・

方式　※ 完全　・ 部分

形状　※ 構造図による

耐火、遮音、防水処理への配慮

適用箇所　※ 意匠図による　・

仕様　※ 意匠図による　・

耐震スリット部詳細　※ 図示による　・

13 特殊な鉄筋継手

機械式継手

使用箇所　※ 構造図による

性能（Ｈ１２建告第１４６３号に適合するもの）　・ Ａ級　・

機械式継手の種類　・ グラウト材必要　・ グラウト材不要

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの種類及び強度（6.1.3~4）（6.2.1~3）

※ 普通コンクリート

設計基準強度 Ｆｃ（Ｎ／mm²）	気乾単位 容積質量（ｔ／m³）	スランプ（cm）	施　工　場　所
・ ２１ ※ ２４ ・	２．３程度	※ １５ ・ １８	建物躯体（基礎、基礎梁、土間スラブ）
		※ １８	建物躯体（基礎、基礎梁、土間スラブ以外）
・ １８	２．３程度	※ １５ ・ １８	上記以外

② レディーミクストコンクリート（6.1.5）（6.4.1~2）　表6.1.1

※ Ｉ類（ＪＩＳ　Ａ５３０８「レディーミクストコンクリート」に適合）

・ Ⅱ類

③ セメントの種類（6.3.2）　表6.3.1

セメントの種類	施　工　場　所
※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種	
・ 高炉セメントＢ種 Ｇ	

普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ　Ｒ５２１０に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く

水和熱	7日目	３５２Ｊ／ｇ以下
	28日目	４０２Ｊ／ｇ以下

④ 骨材の種類（6.3.3）（6.5.4）

アルカリシリカ反応による区分

※ Ａ

・ Ｂ（ ※コンクリート中のアルカリ総量 Ｒｔ＝３．０ｋｇ³⁄ｍ 以下）

⑤ 混和材料（6.3.5）

※ 混和剤（ＪＩＳ　Ａ６２０４に適合するＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤）

・ 混和材（ＪＩＳ　Ａ６２０１に適合するフライアッシュのＩ種又はⅡ種、ＪＩＳ　Ａ６２０６に適合する高炉スラグ微粉末又はＪＩＳ　Ａ６２０２に適合する膨張材）

⑥ コンクリートの製造工場の選定（6.4.1~2）

生コンクリート工場を選定する際には、ＪＩＳマーク表示認定工場で、かつ、コンクリート主任技師等の常駐と全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等から選定すること。

7 無筋コンクリート（6.14.2~3）

適用箇所　※ 捨てコンクリート、防水層の保護コンクリート

設計基準強度Ｆｃ（Ｎ／mm²）　※ １５または１８

セメントの種類　※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントＡ種

・ 高炉セメントＢ種 Ｇ

8 ひび割れ誘発目地 打継目地（6.6.3）（6.9.2~3）

目地寸法　※ ９．６．３（ａ）（１）による　・

間隔　※ 図示による　・

位置　※ 図示による　・

ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する

⑨ コンクリートの仕上り（6.2.5）（6.6.6）（6.9.3）

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　表6.2.3

種類	適　用　箇　所
・ Ａ種	
・ Ｂ種	
・ Ｃ種	

⑩ 型枠（6.9.2~4）

外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ　※ ２０mm　・ 意匠図による

せき板の材料　※ 合板

・ 床型枠用鋼製デッキプレート

施工範囲　※ 構造図による　・

スリーブ材　※ 標準仕様書６.９.３（ｉ）（２）　・ 図示

コンクリートの打増し厚さ　※ １０㎜

断熱材兼用型枠

・ 使用する　※ ２５㎜以下かつ熱抵抗値１ｍｈ℃／ｋＣａｌ以上

・

・ 使用しない

メッシュ型枠

・ 使用する

使用部位　図示による

※ 使用しない

⑪ コンクリートの単位水量測定

・ 行わない

・ 行う

実施要領　・ 構造図による

※ 構造関係共通事項による

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨の製作工場（7.1.3）

製作工場の加工能力

※ 建築基準法第７７条の５６第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び、（株）全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鐵構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（・Ｊ　・Ｒ　※Ｍ　・Ｈ　・Ｓ）グレード」としてとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

・ 監督員の承諾する製作工場

② 施工管理技術者（7.1.3~4）（7.6.2）（7.12.2）

※ 適用する　・ 適用しない

③ 鋼材（7.2.1）

鋼材の材質　表7.2.1

種類の記号	使　用　箇　所	規格等
SS400	H型鋼(鉄骨枠)	※ ＪＩＳ規格による
STKR400	鉄骨tブレース本体	※ ＪＩＳ規格による
その他	耐震補強工事特記による	※ ＪＩＳ規格による
		※ ＪＩＳ規格による

④ 高力ボルト（7.2.2）（7.4.2）

区分

※ トルシア形高力ボルト　２種（Ｓ１０Ｔ）建築基準法に基づき認定を受けたもの

⊙ ＪＩＳ形高力ボルト　２種（Ｆ１０Ｔ）

高力ボルトの径　※ 構造図による

すべり係数試験　※ 行わない　・ 行う

5 溶融亜鉛めっき高力ボルト（7.2.2）（7.12.4）

セットの種類

※ １種（Ｆ８Ｔ相当）建築基準法に基づき認定を受けたもの

摩擦面の処理

※ ブラスト処理（表面粗度５０μｍＲｚ以上）

・ りん酸塩処理

すべり耐力等の確認方法　※ 構造図による

6 普通ボルト（7.2.3）

ボルト及びナットの材料等　※ 表７．２．３による

ボルトの径　・

座金　※ 表７．２．３（ｄ）による

⑦ アンカーボルト（7.2.4）（7.10.3）

材質

・ 構造用　・ ＳＮＲ４００Ｂ　・ ＳＮＲ４９０Ｂ

・ 建方用　・ ＳＳ４００　・

アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格、ねじの等級の規格及び仕上げ

・ 構造用　※ ＪＳＳⅡ－１３－２００４「（社）日本鋼構造協会規格／建築構造用転造ねじアンカーボルト・ナット・座金のセット」

・

・ 建方用　※ 普通ボルトによる

・

保持及び埋込み工法　表7.10.1

・ 構造用　※ 構造図による

・ 建方用　・ 表７．１０．１（ ・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種 ）による

8 ターンバックル（7.2.6）

種類

建築用ターンバックル胴　※ 割枠式　・

建築用ターンバックルボルト　※ 羽子板ボルト　・

ボルトの呼び　※ 構造図による　・

ボルトの材質　・ Ｆ１０Ｔ　※ Ｆ８Ｔ

9 デッキプレート（7.2.7）

材質、形状及び寸法　※ 構造図による

⑩ スタッドボルト

※ 頭付スタッド（ＪＩＳ　Ｂ１１９８）

径（呼び名）	長さ（呼び長さ） mm	使　用　箇　所
１６ϕ	・ ８０　・ １００　・ １２０	
１９ϕ	・ ８０　・ １００　・ １３０　・ １５０	
２２ϕ	・ ８０　・ １００　・ １３０　・ １５０	

11 柱底均しモルタル（7.2.9）（7.10.3）

モルタルの種別

※ 無収縮モルタル

無収縮モルタルの材料及び調合

※ ７．２．９（ｂ）（１）～（３）による

無収縮モルタルの品質及び試験方法

※ 表７．２．６による

工法の種別

※ 表７．１０．２（ ※ Ａ種［モルタル厚さ５０］　・ Ｂ種［モルタル厚さ３０］）による

・ 図示による

⑫ 仮組（7.3.10）

※ 行わない　・ 行う

⑬ 高力ボルト接合

スプライスプレートの材質　※ 鋼材の鋼種はＳＮ－Ｂとし、引張強さによる区分は母材と同等とする

フィラープレートの材質　※ ＳＳ４００とする

⑭ 溶接接合（7.6.4）（7.6.7）

開先の形状　※ 構造関係共通事項（５）３．溶接継手の種類別開先規準による

・ 構造図による

スカラップの形状　※ 構造関係共通事項（６）５．鉄骨溶接施工（３）による

・ 構造図による

鋼製エンドタブの切除する部分　※ 全て　・（　）

完全溶込み溶接部の余盛り高さ　※（社）日本建築学会「ＪＡＳＳ　６鉄骨工事」付則６［鉄骨精度検査基準］付表３［溶接］による

エンドタブ・裏あて金　※ 鋼材の鋼種はＳＮ－Ｂとし、引張強さによる区分は母材と同等とする

⑮ 入熱パス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件

※ 構造関係共通事項による　・ 図示

適用箇所

※ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部

・ 図示による

⑯ 溶接部の試験（7.6.11）　表7.6.2~4

完全溶込み溶接部の超音波探傷試験

※ 行う　・ 行わない

工場溶接の場合

ＡＯＱＬ　※ ４．０％　・ ２．５％

節	※ 全て				
検査水準	※ 第６水準				

工事現場溶接の場合

ＡＯＱＬ　※ ４．０％　・ ２．５％

割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う

突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査

独立行政法人建築研究所監修

「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による

・ 抜き取り検査１　※ 抜き取り検査２

17 耐火被覆（7.9.2~7）

種別

種別	材料・工法	適　用　箇　所（部位・部分）
・ 耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	・半乾式吹付けロックウール	
	・湿式ロックウール	
・ 耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板	
・ 耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール	
・ ラス張りモルタル塗り	－	

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能

性能	適　用　箇　所（部位・部分）

⑱ 建方精度（7.10.2）

※（社）日本建築学会「ＪＡＳＳ　６鉄骨工事」付則６［鉄骨精度検査基準］付表［工事現場］による

⑲ 錆止め塗装（7.8.1~4）

塗料の種別

亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料

※ １８．３．２　表１８．３．２のＡ種　・

・ ＥＰ－Ｇの適用箇所は１８．３．２　表１８．３．２のＣ種　・

耐火被覆材の接着する面への塗装

・ 行う

適用箇所　※ 構造図による　・

塗装の種別　※ 構造図による　・

※ 行わない

20 溶融亜鉛めっき工法（7.12.1~6）

※ 第７章１２節による

⑧ コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

① コンクリートブロック（8.2.2）（8.2.5）（8.3.2）　表8.3.1

適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	※ 空洞ブロック１６　・ 空洞ブロックＷ－１６
衛生配管用裏積みブロック	※ 空洞ブロック０８　・ 空洞ブロック１６

厚さ　図示による

2 ＡＬＣパネル（8.4.2~5）　表8.4.2~4

種類	厚さ（mm）	単位荷重（Ｎ／m²）	耐火性能	工法種別
・ 外壁用	※ １００　・			・Ａ種・Ｂ種・Ｃ種
・ 間仕切用	１００			・Ｂ種・Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種
・ 屋根用	※ １００　・		・ ３０分	・Ｆ種
・ 床用	・ １００　・ １５０		・ ６０分 ・ １２０分	・Ｆ種

外壁パネルの工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する

外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取合い部の

目地幅（mm）　※ ２０　・

伸縮目地への耐火目地材の充填　・ 適用する

③ 押出成形セメント板（ＥＣＰ）（8.5.2~4）　表8.5.1~2

	表面形状	厚さ（mm）	耐火性能	取付工法の種別
・ 外壁	※ フラットパネル	・ ５０　・ ⑥０		・ Ａ種　・ Ｂ種
	・ デザインパネル（図示）	・ ５０　・ ６０		
・ 間仕切壁	※ フラットパネル	・ ５０　・ ６０		・ Ｂ種　・ Ｃ種
	・ デザインパネル（図示）	・ ５０　・ ６０		

外壁パネルの工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する

Designed by
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
〒682−0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
ＴＥＬ　０８５８−２２−７７１７ＦＡＸ　０８５８−２３−５３１５
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水（9.2.2~5）

アスファルトの種類　３種
防水層の下地のモルタル塗り　・　適用する（施工範囲　・　図示　・　　　　　　）

屋根保護防水　表9.2.3~6

種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
・　A－1			※　ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚さ　0.15mm以上 ・	※　乾式保護材 ・　ｺﾝｸﾘｰﾄ押え
・　A－2				
・　B－1				
・　B－2				
・　AI－1		※　押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ ３種ｂスキン層付 厚さ ※ 25mm ・ 50 ・	※　ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70ｇ／㎡程度 ・	
・　AI－2				
・　BI－1				
・　BI－2				

断熱材は、原則としてグリーン購入法における特定調達品目を使用すること

屋根保護防水断熱工法の断熱材（オゾン層破壊物質を含まないもの。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること）　G
　材質　　※　押出法ポリスチレンフォーム３種ｂスキン層付（ＪＩＳ　Ａ９５１１）
　厚さ　　※　２５㎜　・
防水立上がり部の保護
　※　乾式保護材
　　無石綿繊維質原料等を主原料として板状に押出成形し、オートクレーブ養生したもの（窯業系パネル）とし、寸法は図示による
　　品質・性能等
　　　寸法の許容差　厚さ：－５～＋１０％、幅：±１％
　　　曲げ強さ、　曲げモーメント（Ｎ・㎝）（スパン５０㎝における単位幅１㎝あたりの曲げモーメント）標準時４５０以上、凍結融解完了時（試験サイクル数）３２０以上（２００）耐凍結融解性能（試験サイクル数：上記）試験後、著しい割れや剥離がなく外観上異常がないこと
　　　吸水性　　（２０％以下）　吸水による長さ変化率（０．０７％以下）
　　　耐火性能　　不燃
　　　耐衝撃性　　高さ１．０ｍから試験体の弱点部に５００ｇのおもりを落としたとき、裏面に達する穴があかないこと
　　　出荷時の含水率　　１０％以下
　・　れんが

屋根露出防水　表9.2.7

種別	施工箇所	種別	施工箇所
⊙　C－1	屋上未改修部、外壁腰ＡＬＣ部	・　C－2	
・　D－1		・　D－2	

屋根露出防水　表9.2.8

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・　E－1		・　E－2	

保護層　・　設ける（図示）

2 改質アスファルトシート防水（9.3.2~3）

表9.3.1

工程による種別	施工箇所	改質アスファルトシート		
			種類	厚さ（mm）
・　AS－1		下層用	※非露出複層防水用Ｒ種 ・	※２．５mm以上 ・
		上層用	※露出複層防水用Ｒ種 ・	※３．０mm以上 ・
・　AS－2		※露出単層防水用Ｒ種 ・		※４．０mm以上 ・

3 合成高分子系ルーフィングシート防水（9.4.2~3）

防水層の種類　表9.4.1

種別	施工箇所	ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの厚さ（mm）	絶縁用シートの材種	仕上塗料
・　S－F1		※　1.2 ・		・ カラー ※ シルバー
・　S－F2		※　2.0 ・		
・　S－M1		※　1.5 ・	※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	・ カラー ※ シルバー
・　S－M2		※　1.5 ・		
・　S－M3		※　1.2 ・	※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・	

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
　建築基準法に基づき定まる風圧力に対した工法を施工計画書として提出する

4 塗膜防水（9.5.3）

防水層の種類　表9.5.1~2

種別	施工箇所	備考
・　X－1		仕上げ塗料塗り　・ カラー　※ シルバー
・　X－2		
・　Y－1	※　地下外壁防水	
・　Y－2	※　屋内防水	Y－2の保護層　・ 設ける

5 脱気装置

防水種別	脱気装置の種類	材質	設置数量
D－1 D－2	※　製造所の仕様による ・	※　製造所の仕様による ・	※　製造所の仕様による ・
X－1	・　平面部脱気型	・ ポリエチレン樹脂 ・ ＡＢＳ樹脂 ・ ステンレス ・ 鋳鉄 ・	（　　　　）個／㎡
	・　立上り部脱気型	・ 合成ゴム ・ 塩化ビニル樹脂 ・ ステンレス ・ 銅 ・	（　　　　）個／㎡

⑥ シーリング用材料（9.6.2）

種類及び施工箇所（図示以外は（表９．６．１）による）
シーリング面への仕上塗材仕上げ等　※　行わない　・　行う

⑦ シーリング材の試験（9.6.5）

接着性試験
⊙　行う（　※　簡易接着性試験　・　引張接着性試験　）
・　行わない（試験成績書がある場合）

10 石工事

1 石材（10.2.1）

種類　※　天然石　・　人工石
品質　※　１等品（床以外）　※　２等品（床）
形状、寸法及び厚さ　※　図示による
石材の種類及び表面仕上げ　表10.2.1~2

施工箇所	種類（産地、名称）	仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無

2 取付け金物（10.2.2）

乾式工法用金物の種類　・　スライド方式　・　ロッキング方式　表10.2.4

3 その他の材料（10.2.3）

・　石裏面処理材　（　　　　　　）
・　裏打ち処理材　（　　　　　　）
・　ドレンパイプの材質　（　　　　　　）
・　金物固定充填材料　（　　　　　　）

⑪ タイル工事

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地（11.1.3）

外壁　※　図示による　・　表１１．１．１による　・　耐震スリット部

2 材料（11.2.1）

タイルの形状、寸法等

主な用途による区分	形状寸法（mm）	再生材の適用 G	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色		耐凍害性		備考
			I類	II類	III類	施ゆう	無ゆう	あり	なし	標準	特注	あり	なし	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けること

役物使用箇所　※各部の形状は図示による

内装	（標準一体成型品以外は接着成型品とする）
外装	出隅、天端出隅、窓台、マグサ

タイルの試験張り　※　行わない　・　行う（　　　　）
タイルの見本焼き　※　行わない　・　行う（　　　　）
有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種

3 外部陶磁器質タイル後張り（6.9.3）（11.3.3）

施工箇所　※　庁舎外壁（ホールを含む）　・　図示による
適用タイル　・　小口タイル　・　二丁掛タイル　・
躯体表面処理　※　２階以上を行う　・　行わない
　躯体表面処理工法の種類
　※　目荒し工法
　　高圧水洗による目荒しは、５０Ｍｐａ以上の水圧で２．５分／㎡程度とし、仕上がり面の程度は監督員の承諾を受ける
　　施工箇所の躯体打増しは、図示による
　・　ＭＣＲ工法
　　ＭＣＲ工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による
　　施工箇所の躯体打増し厚さ及び範囲は、図示による
下地モルタル塗り　※　モルタル　・　ポリマーセメントモルタル　・　行わない
　ポリマーセメントモルタルの調合は、１５．２．３（ｄ）による
工法　※ 密着張り　・ 改良圧着張り　・ 改良積上張り　・ モザイクタイル張り　表11.3.2

4 内部陶磁器質タイル後張り（11.3.3）

施工箇所　※　便所等　・　図示による
適用タイル　・　内装陶器質タイル　・　５０角モザイクタイル　・
下地モルタル塗り　※　モルタル　・　ポリマーセメントモルタル　・　行わない
　ポリマーセメントモルタルの調合は、１５．２．３（ｄ）による
工法　※　壁タイル接着剤張り　・　改良積上げ張り　・　表11.3.2

12 木工事

1 表面仕上げ（12.1.4）

・　A種　※　B種　・　C種

2 木材 G（12.2.1）

代用樹種を使用できない箇所（　　　　　　）
保存処理木材　・　使用する（使用箇所　　　　　　）
間伐材等　・　使用する（使用箇所　　　　　　）
現場搬入時の木材の含水率　※　A種　・　B種
造作材の材面の品質の基準　※　A種　・　B種
構造材及び下地材の品質の基準　※　標準仕様書12.2.1（ｂ）（3）による
樹種
　※図示による［ 代用樹種の使用 ： ※　認めない　・　認める(監督員と協議要) ］
　※木材のうち、杉、桧及び松は、「鳥取県産材産地証明制度」の認証を受けたものを使用する。

3 集成材 G（12.2.2）

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種

・　構造用集成材

施工箇所	強度等級	材面の品質	使用環境	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
		・1種　※2種　・3種	・1　・2			・
						・
						・

・　構造用単板積層材

施工箇所	区分	使用環境	曲げ性能	水平せん断性能	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
	・特級　・1級　・2級	・1　・2					・
							・
							・

・　造作用集成材

施工箇所	見付け材面の品質	樹種名	寸法（mm）	間伐材等の適用
	※　1等　・　2等			・
				・
				・

・化粧ばり造作用集成材

施工箇所	見付け材面の品質	心材の樹種名	化粧薄板の樹種名	化粧薄板の厚さ（mm）	寸法（mm）	間伐材等の適用
	※1等　・2等					・
						・
						・

・　単板積層材

施工箇所	表面の品質	防虫処理	寸法（mm）	間伐材等の適用
	・　塗装加工 ・　加工しない（・1等　・2等　・3等）	・　する ・　しない		・
				・

4 床張り用合板及びその他の合板 G（12.2.3）（19.7.2）

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種　表15.5.1

・　普通合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用
（壁、天井）					・ する ・ しない	・ 難燃処理 ・ 防炎処理	・
（床）	５．５	※ 1種 ・ 2種		広葉樹　・ 1等　※ 2等 針葉樹　※ C－D	・ する ・ しない	・	・
							・

・　構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	等級	有効断面係数化	表板の樹種名	表板の品質	防虫処理	間伐材等の適用
（床）	１２．０	・ 特類 ※ 1類	・ 1級 ※ 2級			※ C－D ・	・ する ・ しない	・
								・
								・

・天然木化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	化粧板の樹種名	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用
（壁、天井）	※ 4.2 ・ 3.2 ・ 6.0	・ 1類 ・ 2類	・ なら ・ しおじ	・ する ・ しない	・ 難燃処理 ・ 防炎処理 ・ しない	・
						・

・特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	表面性能	加工面	単板の樹種名	防虫処理	その他の処理	間伐材等の適用
（壁、天井）	※ 4.0 ・	・ 1類 ・ 2類	・ F ・ FW ・ W ・ SW	・ 表面 ・ 両面		・ する ・ しない	・ 難燃処理 ・ 防炎処理 ・ しない	・
								・

5 接着剤（12.2.6）

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という）を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※　規制対象外　・　第三種

6 防腐、防蟻処理（12.2.8~9）

防腐処理　・　行う
防蟻処理　・　行う（施工範囲　※　図示　・　　　　　）
防腐、防蟻処理の種類、品質
　表面処理用木材保存（防腐・防蟻処理）剤はクロルピリホスを含有しない薬剤とし、監督員の承諾するものとする

⑬ 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺（13.2.2~3）

長尺金属板の種類　表13.2.1
　※　塗装溶融５５％アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＧＬＣＣＲ－２０－ＡＺ１５０）
　・　塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＧＣＣＲ－２０－Ｚ２５）
　・　ポリ塩化ビニル被覆金属板（Ａ種、ＳＧ）
　・　塗装溶融亜鉛－５％アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＺＡＣＣＲ－２０）

長尺金属板の厚さ（㎜）
　一般部　・　０．３　・　０．３５　※　０．４　谷部　・　０．３　※　０．４
屋根葺き形式　・　横葺　・　芯木なし瓦棒葺　・　立平葺　・　あり掛葺
屋根葺き工法を定める専門工事業者　※　監督員の承諾する業者
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する

② 折板葺（13.3.2）

形式　※　重ね形又ははぜ締め形　・　かん合形　表13.2.1
　　山高　　㎜　山ピッチ　　㎜
耐力　※
厚さ　※　０．８㎜　・　０．６㎜
材料　※　塗装溶融５５％アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＧＬＣＣＲ－２０－ＡＺ１５０）
　・　塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＧＣＣＲ－２０－Ｚ２５）
　・　ポリ塩化ビニル被覆金属板（ＳＧ　Ａ種）
　・　塗装溶融亜鉛－５％アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯（屋根用）（ＣＺＡＣＣＲ－２０）
軒先面戸板　・　適用する
ペフ張り　・　適用する（ｔ＝　　mm）［　・　不燃材　・　３０分耐火］
　・　適用しない
変形防止材　・　鉄鋼製　・　ステンレス製
鉄鋼製の表面処理の上塗り　・　行う（　　　）　・　行わない
表面処理の上塗り　・　行う　・　行わない
耐火性能　・　３０分　・　なし
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する

3 粘土瓦葺（13.4.2~3）

材料　：　※　JIS A 5208 及び図示による　産地[　　　　]産
下葺材料
　※　アスファルトルーフィング９４０　（ JIS A 6005 ）
　・
桟木　樹種　：　※　杉　※　桧　・
　　寸法　：　※　21(w)×15(h)以上　・
補強用芯材　樹種　：　※　杉　※　桧　・
　　寸法　：　※　40(w)×30(h)以上　・
棟の工法　※　図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画として提出する

4 とい（13.5.2~3）

材種　※　配管用鋼管　表13.5.1
　・　硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）［　※　ＲＦＶＰ G　・　ＶＰ　］
　・　ステンレス管
鋼管製といの防露　※　行う（表１３．５．４）　・　行わない
　ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒドの放散量
　※　規制対象外　・　第三種
とい受け金物　※　市販品　・　表１３．５．２
飾り桝
ルーフドレイン　※　市販品　・　設けない

5 鋼管製といの防露巻工法部等の処理（13.5.3）

防露部　ステンレス（ＳＵＳ３０４、厚さ０．２㎜）で被覆する　表13.5.4
　高さ（㎜）　床　※　１５０　・
　　天井　※　３０　・
防露を行わない場合　ステンレス製シーリングプレートを取付ける（床、天井共）

⑭ 金属工事

① あと施工アンカー（14.1.3）

引抜き耐力の確認試験　※　機械的簡易引抜試験機による引張試験　・行わない
設計用引張強度［　　　　］　・

2 ステンレスの表面仕上げ（14.2.1）

※　ＨＬ仕上げ　・　鏡面仕上げ　・
施工箇所［　　　　　　　　］

3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理（14.2.2）

表14.2.1

種別	施工箇所	種別	施工箇所
B－1種			
B－2種			
C－1種			

他の項目に特記されたものを除く

4 鉄鋼の亜鉛めっき（14.2.3）

表14.2.2

種別	施工箇所	種別	施工箇所
A種			
C種			

他の項目に特記されたものを除く

⑤ 軽量鉄骨天井下地（14.4.2~4）

野縁等の種類　屋外　※　２５型　・
　　屋内　※　１９型　・　２５型
屋外の軒天井、ピロティ天井等
　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する
天井下地における耐震性を考慮した補強
　※　１４．４．４（ｈ）による
　・　天井のふところが３ｍを超える場合　補強箇所　※　図示
　　補強方法　※　図示

⑥ 軽量鉄骨壁下地（14.5.2~4）

スタッド、ランナー等の種類　表14.5.1
⊙　５０形　⊙　６５形　・　７５形　・　９０形　・　１００形

7 金属成形板張り（14.6.2~3）

表14.2.1

種別	※　アルミスパンドレル　・
製法	※　押出し　・　ロール
寸法（㎜）	板幅 板厚
表面処理	・　B－1種　・　B－2種
伸縮継手	・　設ける（図示による）　※　設けない
形状	・　図示による　・

8 アルミニウム製笠木（14.7.2~3）

※　押出し形材　表14.7.1
　部材の種類　・　２５０形（呼称肉厚は１．６以上）
　　・　３００形（呼称肉厚は１．８以上）
　　・　３５０形（呼称肉厚は２．０以上）
　表面処理　※　A－１種又はB－１種　・
　隅角部及び突当り部等の役物　笠木製造所の仕様による
・　曲げ材
　材質　ＪＩＳ　Ｈ４０００による
　表面処理　※　A－１種又はB－１種　・
　厚さ（㎜）　・　２．０　形状は図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する

⑨ 手すり（14.8.2）

材料の種別　※　配管用鋼管　⊙　ステンレスＳＵＳ３０４（　※　ＨＬ　・　　　）
亜鉛めっき　・　行う（　※　C種　・　　　）　・　行わない

10 タラップ（14.8.3）

材料の種別　※　ステンレス（ＳＵＳ３０４）　・　鋼製

⑪ サッシ取合い間仕切板

※　アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具の項による）
・　鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　亜鉛の付着量Ｚ１２又はＦ１２）

12 エキスパンションジョイント金物

材質　※　アルミニウム製
表面処理　※　B－１種　・　B－２種
クリアランス　※　５０　・　１００　・　１５０
耐火性能　・　図示による

⑮ 左官工事

1 防水材料（15.2.2）（15.5.2）（15.7.2）

屋内の壁及び天井の仕上材は、不燃材料又は、建築基準法に基づく基材同等の認定を受けたものとする。
複層仕上塗材を内装不燃箇所に使用する場合は、ＣＥ又はＳｉとするか、基材同等の認定を受けた内装甲とする。

2 吸水調整材（15.2.2）

※　表１５．２．２による　表15.2.2

3 防水剤（15.2.2）

品質・性能等
　防水剤の種類は建築用のモルタルに用いるセメント防水剤とする
　膨張性のひび割れおよびそりがないこと（ＪＩＳ　Ｒ５２０１規定９）
　混合割合　セメント重量の５％以下（ＪＩＳ　Ａ１４０４）
　吸水比　９５％以下（ＪＩＳ　Ａ１４０４）
　透水比　８０％以下（水圧は２９４ｋＰａとし、１時間行う）
　凍結時間　始発１時間以上、終結１０時間以内（ＪＩＳ　Ｒ５２０１規定８）
　曲げ及び圧縮強度比　７０％以上（ＪＩＳ　Ａ１４０４）

4 既製目地材（15.2.2）

・　使用する（形状　　　　　　）

5 セルフレベリング材塗り（15.4.2~3）

表15.4.1

種類	厚さ（㎜）	施　工　箇　所
※　セメント系	※　１０	
・　せっこう系	・　１０	

⑥ 床コンクリート直均し仕上（15.3.2~3）

下表以外は表６．２．４及び１５．３．２による　表6.2.4

施　工　箇　所	平坦さ（mm）	備考
フリーアクセスフロア（パネル工法）範囲	1mにつき１０以下	
フリーアクセスフロア（溝工法）範囲	3mにつき　７以下	

⑦ 仕上げ塗材仕上げ（15.5.2）

薄付け仕上塗材　表15.5.1~2

種類	仕上げの形状	工法
・　外装薄塗材Ｅ	・　砂壁状 ・　着色骨材砂壁状	吹付け

・　厚付け仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材
・　外装厚塗材Ｅ	・　吹放し ・　凸部処理	吹付け	・　行う ・　行わない

Designed by
〒682－0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL　0858－22－7717FAX　0858－23－5315
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

⑮ 左官工事

7 仕上げ塗材仕上げ（15. 5. 2）

・ 複層仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法	上塗材（耐候性　耐候形３種）		
※ 複層塗材Ｅ	※ 凹凸模様	吹付け	※ 水系	※ アクリル系	※ つやあり
・ 可とう形複層塗材Ｅ ・ 複層塗材Ｓｉ ・ 複層塗材ＣＥ ・ 複層塗材ＲＥ ・ 複層塗材ＲＳ ・ 防水形複層塗材ＣＥ ⊙ 防水形外装薄塗材Ｅ ・ 防水形複層塗材Ｅ ・ 防水形複層塗材ＲＳ ・ 防水形複層塗材ＲＥ	・ 凹凸模様 ・ 凸部処理 ・ ゆず肌状	吹付け ローラー	・ 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系	・ アクリル系 ・ ポリウレタン系 ・ アクリルシリコン系 ・ フッ素系 ・ シリカ系	・ つやあり ・ つやなし ・ メタリック

・ 軽量骨材仕上塗材

種類	仕上げの形状	工法
・ 吹付用軽量塗材	砂壁状	吹付け
・ こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗り

防火材料の指定　※　屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　　・　第三種

8 ロックウール吹付け（15. 7. 1~4）

厚さ(mm)　・ 10　・ 15　・ 20　・ 30　・
ロックウール及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　　・　第三種

⑯ 建具工事

① アルミニウム製建具（16. 2. 2~4）

外部に面する建具の性能等級等

種別	※ Ａ種	・ Ｂ種	・ Ｃ種
耐風圧性	※ Ｓ－４	・ Ｓ－５	・ Ｓ－６
気密性	※ Ａ－３		・ Ａ－４
水密性	※ Ｗ－４　・ Ｗ－５		・ Ｗ－５
枠見込み（mm）	・ ７０　・ １００		・ １００
表面処理	※ Ｂ－１種　・ Ｂ－２種 （・ アンバー　・ ブロンズ　・ ステンカラー　・ ブラック）		

防音ドアセット・ 防音サッシの遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 [G]　・ Ｈ－１　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
網戸等

種類	材種	線径	網目
・ 防虫網	・ 合成樹脂製 ※ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス製（ＳＵＳ３１６）	０．２５mm以上	１６～１８メッシュ
・ 防鳥網	ステンレス製（ＳＵＳ３０４）線材	１．５mm	網目寸法　ピッチ１５mm

外部に面する建具以外の表面処理　Ｃ－１種又はＢ－１種

2 鋼製建具（16. 3. 2）

外部に面する建具の耐風圧性の等級　・ Ｓ－４　・ Ｓ－５　・ Ｓ－６
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 [G]　・ Ｈ－１　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
　扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

3 鋼製軽量建具（16. 4. 3）

外部に面する建具の耐風圧性の等級　・ Ｓ－４　・ Ｓ－５　・ Ｓ－６
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 [G]　・ Ｈ－１　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
　扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う
戸の鋼板
※　表面処理亜鉛めっき鋼板
・　ビニル被覆鋼板
・　カラー鋼板　　表16. 4. 1

区分	材質
召合わせ、縦小口包み板	※ 鋼板　・ ステンレス　・ アルミニウム
扉の表面材、押縁	※ 鋼板　・ ビニル被覆鋼板
枠類	※ 鋼板（くつずりはステンレス）　・ 製作所仕様

4 ステンレス製建具（16. 5. 3）

外部に面する建具の耐風圧性　・ Ｓ－４　・ Ｓ－５　・ Ｓ－６　・
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級 [G]　・ Ｈ－１　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
ステンレス鋼板（屋外）　・ ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・ ＳＵＳ３０４
ステンレス鋼板（屋内）　※ ＳＵＳ４３０　・ ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・ ＳＵＳ３０４
表面仕上げ　※ ＨＬ仕上げ　・
曲げ加工　※ 普通曲げ　・ 角出し曲げ（　・ ａ角　・ ｂ角　・ ｃ角　）

5 木製建具（16. 6. 2）

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　・　第三種
ふすまの材料　種別　※ 表１６．６．３のⅡ型
　上張り紙　※ ビニル紙　・ 新鳥の子
　押入等の裏側　※ 雲花紙
　縁仕上　・ 塗り縁　・ 生地縁（素地）　・ 生地縁（ウレタンクリアー塗装）
枠及びくつずり材料　※ 図示による

⑥ 鍵（16. 7. 4）

マスターキー　⊙ 製作する（　組）　・ 製作しない
鍵箱　・ 設ける　（　組用　組）　・ 設けない

7 自動ドア開閉装置（16. 8. 2~3）

センサーの種類　　表16. 8. 1~3
※ 光線（反射）　・ マット　・ 熱線　・ 音波　・ 光電
・ 電波　・ タッチ　・ 押しボタン　・ ペダル　・ 多機能便所
取付け位置　・ 床面　※ 天井面　・ 壁面　・ 無目
凍結防止措置　※ 行わない　・ 行う（適用箇所は建具表による）

8 自閉式上吊り引戸装置（16. 9. 3）

自閉式上吊り引戸装置の性能　※ 表１６．９．１による

9 重量シャッター（16. 10. 2）

種類　・ 一般　・ 外壁用防火　・ 屋内用防火　・ 屋内用防煙
防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び、
煙感知器は別途とする
耐風圧強度　一般（　）Ｎ／㎡　外壁用（　）Ｎ／㎡
開閉機能による種類　※ 上部電動式（手動併用）　・ 上部手動式　　表16. 10. 1
シャッターケース（防火、防煙以外）　※ 設ける　・ 設けない

10 軽量シャッター（16. 11. 2~4）

開閉形式　※ 手動式　・ 上部電動式（手動併用）　　表16. 11. 1
耐風圧強度（　）Ｎ／㎡
スラットの材質　※ ＪＩＳ　Ｇ３３１２（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）又は
　ＪＩＳ　Ｇ３３１８（塗装溶融亜鉛－５％アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯）
スラットの形状　※ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形
シャッターケース　※ 設ける　・ 設けない
ガイドレールの材質　※ ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ１．５mm（ ※ 中柱共 ）
座板（屋外の場合）　※ ステンレス製既製品　・

11 オーバーヘッドドア（16. 12. 2~3）

セクション材料による区分
※ スチールタイプ　・ アルミニウムタイプ　・ ファイバーグラスタイプ
耐風圧性能　・ ５００Ｐａ　・ ７５０Ｐａ　・ １０００Ｐａ
　・ １２５０Ｐａ　・ １７００Ｐａ
開閉形式による区分　※ バランス式　・ チェーン式　・ 電動式
収納形式による区分　・ スタンダード形　・ ローヘッド形　・ ハイリフト形　・ バーチカル形
ガイドレールの材質　※ 溶融亜鉛めっき鋼板　・ ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ２．０mm

⑫ ガラス（16. 13. 2）

・ 合わせガラス

品　種	構成種類	性　能
※ フロート合わせガラス	※ フロート板合わせガラス ・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス	・ Ｉ類
・ 網入合わせガラス	・ 網入り、フロート板合わせガラス ・ 網入り、熱線吸収板合わせガラス	・ Ⅱ－１類　・ Ⅱ－２類 ・ Ⅲ類

・ 強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種　類	性　能
※ フロートガラス	※ フロート強化ガラス ・ 熱線吸収強化ガラス	・ Ｉ類　・ Ⅱ類
・ 型板ガラス	※ 型板強化ガラス	

・ 複層ガラス

品　種	断熱性	日射遮へい性
・ 断熱複層ガラス	・ １種	Ｕ１
	・ ２種	Ｕ２
	・ ３種	・ Ｕ－３－１　・ Ｕ－３－２
・ 日射熱遮へい複層ガラス	・ ４種	Ｅ４
	・ ５種	Ｅ５

・ 熱線反射板ガラス

品　種	色　調
※ 熱線反射ガラス	・ ブルー　・ グレー
・ 高性能反射板ガラス	・ ブロンズ　・ シルバー

品　種	日射遮へい性	耐久性	ガラスの種類
※ 熱線反射ガラス ・ 高性能反射板ガラス	・ １種	Ａ種	
	・ ２種	・ Ａ種　・ Ｂ種	
	・ ３種	Ｂ種	

反射皮膜面　※ 内面　・ 外面
映像調整　※ 行わない　・ 行う

・ 倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色　調
※ 倍強度ガラス	―――
・ 倍強度熱線吸収ガラス	・ グレー　・ ブルー　・ ブロンズ　・

⑬ ガラスの留め材（16. 13. 2）　　表16. 13. 1

建具の種類	材　種
鋼製	※ シーリング材
アルミニウム製	※ シーリング材　・ ガスケット（グレイジングチャンネル形）
ステンレス製	※ シーリング材
木製	※ シーリング材

防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による

⑭ ガラス溝の寸法、形状等（16. 13. 3）

※ 表１６．１３．１による
・ 図示による

15 ガラスブロック積み（16. 13. 5）

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅（mm） 平積み	目地幅（mm） 曲面積み	伸縮調整目地（mm）	防火性能
正方形	・ 125 x 125	80			※ 8～15	外側 ※ 15以下 内側 ※ ６以下	※ 6m以下毎に10～20 ・ 図示による	※ なし ・ あり
	・ 160 x 160	・ 95　・ 125			・ 15～25			
	・ 200 x 200	・ 95　・ 125						
	・ 320 x 320	95						
長方形	・ 250 x 125	80						
	・ 320 x 160	95						

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の１０倍以上とする
壁用金属枠及び補強材　・ 設ける　（形状　※ 図示による　・　）
力骨　※ ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）径５．５mmはしご形状複筋及び単筋　・
目地部の力骨の補強方法　※ ガラスブロック製造所の仕様による　・
化粧目地モルタルの色　（　）
シーリング材　※ 表９．６．１による　・
金属製化粧カバー　材質　・ ステンレス製　・ アルミニウム製
　寸法　・ 図示による　・
　形状　・ 図示による　・
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画として提出する

16 ガラス用フィルム

名　称	種類	張り面	性能値
※ ガラス飛散防止フィルム	第２種	※ 内張り　・ 外張り	飛散防止率　Ｄ１
・			

品質　ＪＩＳ　Ａ５７６９による。

17 付属電気設備

電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機０．４ｋｗ以上の場合は
機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する

17 カーテンウォール工事

1 カーテンウォール（17. 1. 3）（17. 2. 2~5）（17. 3. 2~5）

取付方法　・ 層間方式　・ 柱、梁方式　・ 方立方式　・ スパンドレル方式
性能

耐震性能（地震力係数）		気密性	・Ａ－１　・Ａ－２　・Ａ－３　・Ａ－４　・
水平方向（ｋＨ）	※ １．０　・	耐火性	・３０分　・１時間
垂直方向（ｋＶ）	※ ０．５　・	耐温度差性	・８０℃　・７０℃　・６０℃
		遮音性	・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
水密性	・Ｗ－１　・Ｗ－２　・Ｗ－３　・Ｗ－４　・Ｗ－５	断熱性	・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離（ｈ）	耐風圧性能	状態
４m以下	※ たわみ量が±（１／１５０）ｘｈかつ絶対量２０mm以下であること	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと
４ｍを超える		

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量（ｈ＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※ ±（１／２００）ｘｈ以上	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと シーリングは補修程度の損傷であること
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・ ±（１／３００）ｘｈ以上	

その他の性能　図示による
種類　・ メタルカーテンウォール
　金属材料の種類（見掛かり部分の仕上げ）
　・ アルミニウム製（ ・ Ｂ－１　・　）
　・ 鋼製（　）
　・ ステンレス製（　）
・ ＰＣカーテンウォール
　ゴンドラ用ガイドレール　・ 設置する　・ 設置しない
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する

⑱ 塗装工事

① 材　料（18. 1. 3）

屋内に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　・　第三種

② 素地ごしらえ（18. 2. 1~7）

木部　　表18. 2. 1~7
・ Ａ種（不透明塗料塗り）　・ Ｂ種（透明塗料塗り）
鉄部他
鉄　鋼　面　・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種
亜鉛めっき（建具）面　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
亜鉛めっき（建具以外）面　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
モルタル及びプラスター面　・ Ａ種　※ Ｂ種
コンクリート及びＡＬＣパネル面　・ Ａ種　※ Ｂ種
コンクリート及び押出成形セメント板面　・ Ａ種　・ Ｂ種
石膏ボード及びその他のボード面　・ Ａ種　・ Ｂ種

③ 錆止め塗料塗り（18. 3. 1~3）

塗料種別
鉄鋼面　　表18. 3. 1

	規 格 名 称	種　類	摘　要
・ Ａ種	・ シアナミド鉛さび止めペイント	・ ２種	・ 屋内　・ 屋外
	・ 鉛、クロムフリーさび止めペイント	・ １種	・ 屋内　・ 屋外
・ Ｂ種	・ 水系さび止めペイント		・ 屋内
	・ 鉛、クロムフリーさび止めペイント	・ ２種	・ 屋内

亜鉛めっき鋼面　　表18. 3. 2

	規 格 名 称	摘　要
・ Ａ種	・ 鉛酸カルシウムさび止めペイント	・ 屋内　・ 屋外
・ Ｂ種	・ 変性エポキシ樹脂プライマー	・ 屋内　・ 屋外
・ Ｃ種	・ 水系さび止めペイント	・ 屋内

塗り工程種別
鉄鋼面　　表18. 3. 3
見え掛かり部分　（ ※ Ａ種　・ Ｂ種 ）
見え隠れ部分　（ ・ Ａ種　※ Ｂ種 ）
亜鉛めっき鋼面　　表18. 3. 4
鋼製建具等　（ ※ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種）
その他　（ ・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種[変性エポキシ樹脂プライマー]）

④ 合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）（18. 4. 3）（18. 4. 4）

木部　　表18. 4. 1
屋外（ ※ Ａ種　・ Ｂ種 ）
屋内（ ・ Ａ種　※ Ｂ種 ）
鉄鋼面　　表18. 4. 2
・ Ａ種　※ Ｂ種

5 クリヤラッカー塗り（ＣＬ）（18. 5. 2）　　表18. 5. 1

・ Ａ種　※ Ｂ種

6 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）（18. 6. 2）　　表18. 6. 1

・ Ａ種　※ Ｂ種

⑦ 耐候性塗料塗り（ＤＰ）（18. 7. 2~4）

改修鉄鋼面（北西渡り廊下）　　表18. 7. 3
・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種

⑧ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）（18. 8. 2~5）

コンクリート面等　　表18. 8. 1~4
・ Ａ種　※ Ｂ種
鉄鋼面（屋内）
・ Ａ種　※ Ｂ種

⑨ 合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）（18. 9. 2）　　表18. 9. 1

・ Ａ種　※ Ｂ種

10 合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）（18. 10. 2）　　表18. 10. 1

・ Ａ種　※ Ｂ種

11 ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）（18. 11. 2）　　表18. 11. 1

・ Ａ種　※ Ｂ種

12 木材保護塗料塗り（ＷＰ）（18. 13. 2）　　表18. 13. 1

・ Ａ種　※ Ｂ種

13 マスチック塗材塗り（18. 14. 2）

種別　　表18. 14. 1
・ Ａ種　・ Ｂ種
仕上げ塗材塗り
※ つや有合成樹脂エマルションペイント

⑲ 内装工事

① 接着剤（19. 2. 2）

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　・　第三種
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする

② ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル（19. 2. 2~3）

ビニル樹脂系材料の原材料
再生ビニル系材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で１５％以上使用されていること（ＪＩＳ Ａ５７０５（ビニル系床材）に規定されるビニル系床材の種類で記号ＰＦに該当するものを除く）

⊙ ビニル床シート [G]

種類	記号	色柄	厚さ（mm）	工法
※ 発泡層のないもの	※ ＮＣ	・ プレーン ※ マーブル ・ 特殊柄	・ ２．０ ※ ２．５	・ 突付け ※ 熱溶接

・ ビニル床タイル [G]

種類		記号	厚さ（mm）	柄
・ ホモジニアス		ＨＴ	※ ２．０	・ プレーン ※ マーブル ・ 特殊柄
	・ 置敷き	ＨＴ	※ ５．０	
・ コンポジション	※ 半硬質	ＣＴ	※ ２．０	
	・ 軟質	ＣＴＳ		

・ 特殊機能床材（帯電防止）

種類	記号	厚さ（mm）	
・ 帯電防止床シート	ＮＣ	※ ２．０	帯電防止性能評価値（ＪＩＳ　Ａ１４５５）１．２以上～３．２未満 又は体積電気抵抗値（ＪＩＳ　Ａ１４５４）$1 \times 10^{7} \sim 10^{10}$Ω程度
・ 帯電防止床タイル	ＣＴＳ		

・ 特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ（mm）	寸法（mm）	材料	色柄
・ 誘導用床材、注意喚起用床材（表面形状　ＪＩＳ　Ｔ９２５１）	２．０	・ ３００ｘ３００	※ 塩ビ　・ 合成ゴム	黄色
		・ ４００ｘ４００	合成ゴム	

・ ゴム床タイル

色柄	厚さ（mm）	寸法（mm）	工法

ビニル幅木の高さ（mm）　※ ６０　・ ７５
　厚さ（mm）　※ ２．０　・
　材質　※ 軟質　・ 硬質

3 カーペット敷き（19. 3. 3~4）　　表19. 3. 2

・ 織ジュータン　（ ※ 帯電防止性能　JIS L 1023 の人体帯電圧 3kv 以下とする。）
　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種
・ タフテッドカーペット
　パイル形状　：
　パイル長さ　：
　工　法　：
・ ニードルパンチカーペット
　厚　さ　：
・ タイルカーペット [G]　　表19. 3. 2

種別	パイル形状	寸法（mm）	総厚さ	電気抵抗（Ω）	工法
※ 第一種 ・ 第二種	※ ループパイル ・ カットパイル	５００角	※ ６．５mm	※ 適用しない ・ 耐電圧３ｋＶ未満	※ のり付加工品敷き

4 合成樹脂塗床（19. 4. 3）

・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材　　表19. 4. 3
　仕上げの種類　※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂系塗床材　　表19. 4. 4~7
　仕上げの種類　・ 薄膜流し展べ仕上げ　・ 厚膜流し展べ仕上げ
　　・ 樹脂モルタル仕上げ　・ 防滑仕上げ
ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　・　第三種

5 床用防じん塗料塗り

材質　水性アクリル系樹脂塗料（ ※ 標準色　・　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤２回塗りとし、総塗布量は０．２５Ｋｇ／㎡以上とする

6 フローリング張り（19. 5. 2~7）

複層フローリングのホルムアルデヒド放散量　※ 規制対象外　・ 第三種
種別・工法
・ 単層フローリング [G]（・フローリングボード　・フローリングブロック　・モザイクパーケット）
　・ 湿式工法　・ 乾式工法（ ・ 釘どめ工法　・ 接着工法 ）
※ 複合フローリング [G]（ ※ １種　・ ２種　・ ３種 ）　表層　※ なら　・ ヒノキ
　・ 乾式工法（ ・ 釘どめ工法（ ・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種）　・ 接着工法）
仕上げ　※ ウレタン樹脂ワニス　・ 生地のままワックス　・ オイルステインの上ワックス塗り
間伐材等の適用　※ 適用する　・
間伐材等：間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が１０％以上であること
　居室の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量（ＪＡＳ規格による測定方法）が平均値で０．３ｍｇ／Ｌ以下かつ最大値で０．４ｍｇ／Ｌ以下であること
県産材の活用
・ 適用しない
・ 適用する（樹種 ・　・　・　・　）

7 畳敷き（19. 6. 2）

種別　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　※ Ｄ種　　表19. 6. 1
　Ｄ種の場合の畳床記号　・ＫＴ－Ⅰ　・ＫＴ－Ⅱ　※ＫＴ－Ⅲ　・ＫＴ－Ｋ　・ＫＴ－Ｎ

⑧ せっこうボードその他ボード及び合板張り（19. 7. 2）

材種・規格	施工箇所	張り方		厚さ等（mm）
・ ⊙ JIS A 6901 規格品 厚さ9.5tは ・ 準不燃認定品 ・ 不燃認定品	⊙ 壁	・ 下張り	突付け	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品）
		・ 上張り ⊙ 直張り ・	・ 目透し ・ 突付け ・ 継目処理 ⊙ 突付けＶ目地	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品） ・ mm×　mm ・ mm×　mm
	⊙ 天井	・ 下張り	突付け	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品）
		・ 上張り ⊙ 直張り ・	・ 目透し ⊙ 突付け ・ 継目処理 ・ 突付けＶ目地	⊙ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品） ・ mm×　mm ・ mm×　mm
・ ・	・ 壁 ・ 天井	・ 下張り	突付け	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品）
		・ 上張り ・ 直張り ・	・ 目透し ・ 突付け ・ 継目処理 ・ 突付けＶ目地	・ 9.5 ・ 12.5（不燃認定品） ・ mm×　mm ・ mm×　mm

天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※　規制対象外　・　第三種
パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板の原材料 [G]
合板・製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材、使用済み梱包材、製紙未利用低質チップ、林地残材、かん木、小径木（間伐材を含む）等の再生資源である木質材料又は植物繊維の重量比配合割合が５０％以上であること。（この場合、再生資材全体に占める体積比配合率が２０％以下の接着材、混和剤等（パーティクルボードにおけるフェノール系接着剤、木質系セメント板におけるセメント等で主要な原材料相互間を接着する目的で使用されたもの）を計上せずに、重量比配合割合を計算することができるものとする）

Designed by
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
〒６８２－０８８１
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
ＴＥＬ　０８５８－２２－７７１７ＦＡＸ　０８５８－２３－５３１５
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

9 壁紙張り（19. 8. 2）

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの

施工箇所	品質（製造所）	防火性能の級別

ホルムアルデヒド放散量　※　規制対象外　・　第三種

10 断熱材打込み工法 [G]（19. 9. 2）

断熱材の種類　※　押出法ポリスチレンフォーム保温板２種ｂ　厚さ　※　２５㎜　・
・　押出法ポリスチレンフォーム保温板３種ｂ（土間下）　厚さ　※　２５㎜　・
・　硬質ウレタンフォーム保温板１種２号　厚さ　※　２０㎜　・
・　フェノールフォーム保温材Ａ種　厚さ　・
断熱補修材　・　断熱材と同材
※　吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材（次項による）

11 断熱材現場発泡工法 [G]（19. 9. 3）

ユリア樹脂又はメラニン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒド
放散量　※　規制対象外　・　第三種
断熱材の種類　※　Ａ種１　・　Ｂ種１
厚さ　・　２５　・　３０　・
施工箇所　※　窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければいけない箇所
・　図示による

12 断熱材の原材料 [G]（19. 9. 2~3）

グラスウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で８０％以上であること
ロックウール：再生資源利用率は、原材料の重量比で８５％以上であること
発泡断熱材　：オゾン層を破壊する物質を使用していないこと。また、長期的に断熱性能を保持しつつ、可能な限り地球温暖化係数の小さい物質が使用されていること

⑳ ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア（20. 2. 2）

施工箇所		
構法	・パネル構法　・溝構法	・パネル構法　・溝構法
耐震性能	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ
耐荷重性能	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ
パネル寸法（㎜）		
高さ（㎜）	・　・	・　・
床表面仕上げ材の材質	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル
ボーダー部及びスロープ	※メーカー仕様　・図示による	

表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書１９章内装工事による

配線用取り出しパネル
　フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※　２０～３０％　・
　配線取り出し開口　※　パネル１枚につき４０㎜ｘ８０㎜程度の開口１ヶ所以上　・　図示による
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
　※　なし
　・　有り　（　※　固定式　・　可変式）：　施工箇所（　※　図示による　・　）
耐荷重性能（５０００Ｎ、高さ３００以上）の性能
　平成元年建設省告示第１３２２号「耐震性フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等のものとする
ローリングロード性能　※　適用する　・　適用しない
　以下（使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと）
ローリングロード試験
　耐荷重性能（３０００Ｎ）：積載荷重１０００Ｎの際、最大変形量１．５㎜以下
　耐荷重性能（５０００Ｎ）：積載荷重１０００Ｎ以上の際、最大変形量１．０㎜以下
（使用上有害な変形、欠け、割れ、がたつきなどの欠点がないこと）

2 可動間仕切（20. 2. 3）

ＪＩＳ　Ａ６５１２によるほか、下記による
構造形式による種類　※ スタッド式（・スタッド露出・スタッド内蔵）　・スタッドパネル式
構成材の種類　※　図示による
表面材質及び厚さ（㎜）　※　鋼板０．６　・　鋼板０．８
パネル表面仕上げ　メラニン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（　※　常備色　・　指定色　）
パネル総厚さ（㎜）　・　程度
遮音性の区分　・　０　・　１２　・　２０　・　２８　・　３６
防火性能　・　不燃

3 移動間仕切（20. 2. 4）

パネルの操作方法による種類　・　製造所の仕様による　・　図示による
表面材質及び厚さ（㎜）　※　鋼板０．６　・
仕上げ　メラニン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（　※　常備色　・　指定色　）
パネル厚さ（㎜）　・　程度
パネル圧接装置の操作方法　・　製造所の仕様による　・　図示による
遮音性の区分　・　３６未満　・　３６以上（ＪＩＳ　Ａ６５１２に準拠する）

④ トイレブース（20. 2. 5）

表面材　※　メラニン樹脂系化粧板　・　ポリエステル樹脂系化粧板
ドアエッジ材質形状　※　アルミＲエッジ
幅木材質　※　ステンレス幅木

5 階段滑止め（20. 2. 6）

材種　ステンレス製（ＳＵＳ３０４）（　・　埋込工法　※　接着工法　）
端部フラットエンド　※　有（　※　タイヤと同材　・　ステンレス鋼　）　・　無
型式　※　ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り　幅（㎜）　※　約３５

⑥ 黒板及びホワイトボード（20. 2. 8）

※　ホワイトボード　ほうろう　形状・寸法は図示による
・　黒板　※　焼き付け　色彩　※　緑　形状・寸法は図示による

7 鏡（20. 2. 9）

取付箇所　・　図示による　・　（　）
寸法（㎜）　・　図示による　・
厚さ（㎜）　※５　・
※　防蝕処理

⑧ 表示（20. 2. 10）

・　案内板　・　庁舎案内板（　※　標準詳細図による　・　図示による　）
・　各階案内板（　※　標準詳細図による　・　図示による　）
・　視覚障害者用案内板（　※　共通詳細図による　・　図示による　）
・　室名札　※　標準詳細図による　・　市販品
・　ピクトグラフ　標準案内図用記号　※　ＪＩＳ　Ｚ８２１０による　・　図示による
形状・その他　※　図示による
・　庁名文字　※　標準詳細図による　・
・ 切抜文字（・ステンレス製・黄銅製）・ 箱文字（・ステンレス製・黄銅製）
字数（　）　文字の大きさ（　ｘ　）
・　対人衝突防止表示　・　図示による
・　非常用進入口　・　図示による
案内用図記号はＪＩＳ２８１０による

9 煙突ライニング（20. 2. 11）

煙突用成形ライニング材　適用安全使用温度　※　４００℃　・　６５０℃
キャスタブル耐火材　工法　・　こて押さえ　・
最高温度　※　４００℃　・
製造所

10 ブラインド（20. 2. 12）

形式	・　横型ブラインド	・　縦型ブラインド（防炎性能を有するもの）
スラットの材種	アルミニウム合金製	・　アルミスラット　・　クロススラット
スラットの種類	※　ギア式　・　コード式	※　１本操作コード式
スラットの幅（㎜）	※　２５　・　３５	・　７５以上　・　１００

11 ロールスクリーン（20. 2. 13）

材種　遮光性能　・
品質
操作方法　・　電動式　・　プリング式　・　チェーン式

12 カーテン及びカーテンレール（20. 2. 14）

カーテン

施工箇所	きれ地の品質等（製造所）	ひだの種類	開閉形式	カーテン操作方式
			・片引き　・引分	※ 手動　・ 電動

カーテンレール及び付属金物

施工箇所	強さによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	付属金物

暗幕用は３００mm以上の召し合せの重掛けとする

⑬ 点検口

天井　材種　アルミニウム製　寸法（㎜）　※　４５０ｘ４５０　・　６００ｘ６００
　形式　一般型　外枠　・　額縁タイプ　・　目地タイプ
　内枠　・　額縁タイプ　・　目地タイプ
　枠の許容差　±０．５㎜以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０㎜以内
　材料の品質及び性能
　　外枠、内枠の材質
　　　アルミニウム合金押出形材　ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
　　　　表面処理　表１４．２．１のＣ－１種、Ｃ－２種（外部はＢ－１種、Ｂ－２種）
　　外枠及び内枠のコーナーピース、吊り金物、取付ボルト
　　　鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの
床　材種　アルミニウム製　寸法（㎜）　・　４５０ｘ４５０　※　６００ｘ６００
　形式　※　屋内用一般型　・　密閉形
　　パッキンを装着しないもの及びがたつき防止用パッキンを装着したもの
　枠の許容差　±０．５㎜以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０㎜以内
　材料の品質及び性能
　　受枠材、蓋枠材、コーナーピース、底板材、底板補強材
　　　アルミニウム合金押出形材ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
　　　　表面処理　表１４．２．１のＡ－１種、Ａ－２種、Ｂ－１種、Ｂ－２種
　　開閉方式　施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式
　　その他　製造所の仕様による

14 鋼製書架及び物品棚

・　固定式（下記以外は図示による）
　鋼製書架　※　ＪＩＳ　Ｓ１０３９による　・　法務省型
　鋼製物品庫　・　ＪＩＳ　Ｓ１０４０による
・　移動式　形状等は図示による

15 くつふきマット

※　塩化ビニル又はゴム製（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）ワンライン型
・　硬質アルミニウム合金製（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）
・　ステンレス製(ＳＵＳ３０４)（受け枠ステンレス製(ＳＵＳ３０４)）

16 フェンス

フェンスの種類　・　ビニル被覆エキスパンドフェンス　・　鋼管フェンス
・　樹脂塗装メッシュフェンス　・　アルミフェンス
高さ　・　図示による　・

17 天井見切り縁

材種　※　アルミニウム既製品　・　ビニル既製品

18 ピクチャーレール

※　見切り縁兼用タイプ　・
移動フック　ヶ／ｍ　安全荷重　※　１５kg以上　・

19 誘導用床材、注意喚起用床材

材種　・　レジンコンクリート製（厚さ６０㎜）　・　磁器質タイル製

表面形状ＪＩＳ　Ｔ９２５１による
寸法　※　３００ｘ３００　・
色　黄色

20 旗竿

形式　・　ロープ式（テーパー式）
※　ハンドル式（テーパー式又は同一断面式）
材種　・　アルミニウム合金　・
高さ（ｍ）　・
旗竿受金物　※　ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）製　・

21 既製家具

合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種

22 車止め柵

形　式	材種	柱径・肉厚（mm）	高さ（㎜）	備考
・　上下式内蔵式 （・標準品　・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式） ・	・　ステンレス製 ・	・　φ76.3　ｔ＝2.0 ・	・　ＧＬ＋700	

㉓ アスベスト成形板の処理工事

※　県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者であること。
処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材　料　名	厚さ（㎜）	処理を行う範囲
石綿防火ライト	6.3	便所天井
石綿大平板	6.3	便所間仕切壁

施工調査
※　行う　・　行わない
石綿作業主任者
特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者の中から選任する。
特別管理産業廃棄物管理責任者
保温材については、排出事業者は特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。
官公署その他への手続き
改修標準仕様書(9.1.3(b)(2))によるほか、次の必要な手続きを行う
（１）建築物解体等作業届（所管労働基準監督署）
（２）特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書（都道府県知事又は市長）
安全衛生管理
洗浄設備
（ｉ）洗眼、うがいの設備を設ける
（ii）更衣設備等を設ける
表示・掲示
改修工事標準仕様書(9.1.2(c)(4))による表示・掲示を行う。
作業場の養生
処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉塵飛散を防止する。
対象室（　）
改修工事標準仕様書（9.1.2(c)(4)）による表示・掲示を行う。
除去物及び汚染物の処分等
保温材については、改修工事標準仕様書（9.1.2(d)(2)）による。

21 排水工事

1 排水管（21. 2. 1）

遠心力鉄筋コンクリート　表21. 2. 1
　種類　※　外圧管Ｂ形１種　・
　継手　※　ゴム接合　・　モルタル接合
硬質ポリ塩化ビニル管
・　ＶＰ
・　ＶＵ
・　リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（ＲＳ－ＶＵ）[G]
建物外での硬質塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で３０％以上使用されていること

2 側塊、排水桝等（21. 2. 2）

鋳鉄製ふた
　型式　※　水封型　・　簡易密閉型　・　密閉型　・　中ふた付密閉型
　適用荷重（安全荷重〔ｋＮ〕）
　　屋内用　・　Ｔ－２用（５）
　　屋外用　・　Ｔ－２用（５）　※　Ｔ－６用（１５）　・　Ｔ－２０用（５０）
　鍵　・　有　・　無
グレーチング

種類	形式	用　途	適用荷重	メンバーピッチ		上面形状
				普通目	細目	
・　鋼製	・ 受枠付 ・ ボルト固定 ・	・ 溝ふた（横断用） ・ 溝ふた（側溝用） ・ 桝ふた用 ・ U字溝用	・ 歩行用			※　凹凸形
			・ Ｔ－２用			
			・ Ｔ－６用			
			・ Ｔ－１４用			
			・ Ｔ－２０用			
・ ステンレス製	・ 受枠付 ・ボルト固定 ・	・ 溝ふた（横断用） ・ 溝ふた（側溝用） ・ 桝ふた用 ・ U字溝用	・ 歩行用			・　凹凸形 ・　平形
			・ Ｔ－２用			
			・ Ｔ－６用			
			・ Ｔ－１４用			
			・ Ｔ－２０用			

22 舗装工事

1 路床（22. 2. 2~5）

路床の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
盛土に用いる材料（表３．２．１による）
・　Ａ種　※　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種
・　建設汚泥から再生した処理土 [G]
支持力比（ＣＢＲ）試験
※　行わない　・　行う（　※　乱した土　・　乱さない土　）
締固め度の試験
※　行わない　・　行う
砂の粒度試験
※　行わない　・　行う

2 路盤（22. 3. 2~5）

路盤の構成　※　標準詳細図による　・　図示による　表22. 3. 3
路盤材料　※　再生材クラッシャラン[G]　・　クラッシャラン鉄鋼スラグ[G]
締め固め度試験
※　行わない　・　行う
砂の粒度試験
※　行わない　・　行う

3 アスファルト舗装（22. 4. 2~6）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
アスファルト　※　再生アスファルト[G]　・　ストレートアスファルト
骨材　※　砕石　・　アスファルトコンクリート再生骨材 [G]
※　アスファルト舗装
　加熱アスファルト混合物等の種類
　　※　表層　※　密粒度アスファルト混合物（１３）
　　・　細粒度アスファルト混合物（１３）
　　・　基層　・　粗粒度アスファルト混合物（２０）
・　カラー舗装
　種類　※　表層に着色した加熱アスファルト混合物
　・　表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物
　・　表層の上に常温塗布式舗装又はニート工法による樹脂系舗装
　カラー舗装に添付する着色骨材
　・　有色骨材（材質＜　＞）
　・　着色骨材（材質＜　＞）
シールコート　※　行わない　・　行う
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

4 コンクリート舗装（22. 5. 2~6）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
溶接金網　※　使用する（１５０Ｘ１５０Ｘ６φ）　・　使用しない
コンクリート版の厚さの試験　※　行わない　・　行う

5 カラー舗装（22. 6. 2~6）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
車道部の基層　・　有　・　無
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

6 透水性アスファルト舗装 [G]（22. 7. 2~6）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

7 排水性アスファルト舗装 [G]（22. 8. 2~6）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
アスファルト混合物の抽出試験　※　行わない　・　行う

8 ブロック系舗装（22. 9. 2~3）

舗装の構成　※　標準詳細図による　・　図示による
※　インターロッキングブロック[G]　表22. 8. 1
　材質（　※　コンクリート　・　）　種類（　※　普通　・　透水性　・　植生用　）
　形状（　・　長方形　・　正方形　・　六角形　）　厚さ（　・　６０　・　８０　・　１００　）
　表面加工　・　ショット仕上げ
　クッション材　※　空練りモルタル　・　砂
・　再生材料を用いた舗装用ブロック（焼成）
　再生材料が原材料の重量比で２０％以上（複数の材料が使用されている場合は、それらの材料の合計）使用されていること。ただし、再生材料の重量の算定において、通常利用している同一工場からの廃材の重量は除かれるものとする。重金属等有害物質の含有や、施工時及び使用時に雨水等による重金属等含有物質の溶出について、土壌の汚染に係る環境基準等に照らして問題がないこと

再生材料の原料となるもの	前処理方法
採石及び窯業廃土、無機珪砂（キラ）、鉄鋼スラグ非鉄スラグ、鋳物砂、陶磁器屑、石灰灰、建築廃材（汚泥を除く）、廃ガラス（無色及び茶色のガラスびんを除く）、紙製スラッジ、アルミスラッジ、磨き砂汚泥、石材屑	前処理方法によらず対象
都市ゴミ焼却灰	溶融スラグ化
下水道汚泥	焼却灰化又は溶融スラグ化
上水道汚泥	前処理方法によらず対象
湖沼等の汚泥	

・　再生材料を用いた舗装用ブロック類（プレキャスト無筋コンクリート製品）
　再生材料が原材料の重量比で２０％以上（複数の材料が使用されている場合は、それらの材料の合計）使用されていること。なお、透水性確保のために、粗骨材の混入率を上げる必要がある場合は、再生材料が原材料の重量比１５％以上使用されていること
　ただし、再生材料の重量の算定において、通常利用している同一工場からの廃材の重量は除かれるものとする。重金属等有害物質の含有や、施工時及び使用時に雨水等による重金属等含有物質の溶出について、土壌の汚染に係る環境基準等に照らして問題がないこと

再生材料の原料となるもの	前処理方法
都市ゴミ焼却灰	溶融スラグ化
下水道汚泥	

コンクリート平板舗装、インターロッキングブロック舗装の歩道部は原則再生材料を用いた舗装ブロック[G]とする。ただし調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする

9 区画線

※　路面表示用塗料（ＪＩＳ　Ｋ５６６５（路面表示用塗料）による）
・　１種 [G]　・　２種 [G]　※　３種１号
・　低揮発性有機溶剤型の路面表示用塗料 [G]
　水性型の路面表示用塗料であって、揮発性有機溶剤（ＶＯＣ）の含有率（塗料総質量に対する揮発性溶剤の質量の割合）が５％以下であること
色　※　白　塗布幅　※　図示による　塗布厚さ　※　１．０

23 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認（23. 1. 3）

土壌の水素イオン濃度（ｐｈ）試験　・　行う　※　行わない
水溶性塩類（ＥＣ）の試験　・　行う　※　行わない

2 植栽基盤の整備（23. 2. 2~4）

排水　・ 設置する(・暗きょ　・閉きょ　・排水層　・縦穴排水)　・ 設置しない
水溶性塩類（ＥＣ）の試験　・　行う　※　行わない
整備工法　表23. 2. 2
　樹木　・　行う（　※　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　）　※　行わない
　芝及び地被類　※　行う（　※　Ｂ種　・　）　・　行わない
植込み用土
　※　現場発生土の良質土　・　客土
　土壌改良材
　・　適用する（施工箇所　）
　　・　バーク堆肥 [G]
　　　製品は以下を満足すること
　　　　有機物の含有率（乾物）：７０％以上
　　　　炭素窒素比〔Ｃ／Ｎ比〕：３５以下
　　　　陽イオン交換容量〔ＣＥＣ〕（乾物）：７０ｍｅｑ／１００ｇ以上
　　　　ｐＨ：５．５～７．５
　　　　水分：５５～６５％
　　　　幼植物試験の結果：生育阻害その他の異常が認められない
　　　　窒素全量〔Ｎ〕（現物）：０．５％以上
　　　　りん酸全量〔Ｐ２Ｏ５〕（現物）：０．２％以上
　　　　加里全量〔Ｋ２Ｏ〕（現物）：０．１％以上
　・　汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）[G]
　　「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」（昭和４８年総理府令第５号）の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする
　　　ひ素：０．００５％以下
　　　カドミウム：０．０００５％以下
　　　水銀：０．０００２％以下
　　　ニッケル：０．０３％以下
　　　クロム：０．０５％以下
　　　鉛：０．０１％以下
　　　有機物の含有率（乾物）：３５％以上
　　　炭素窒素比〔Ｃ／Ｎ比〕：２０以下
　　　ｐＨ：８．５％以下
　　　水分：５０％以下
　　　窒素全量〔Ｎ〕（現物）：０．８％以上
　　　りん酸全量〔Ｐ２０５〕（現物）：１．０％以上
　　　アルカリ分（現物）：１５％以下（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない）
施工箇所の土壌及び植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする

3 支柱材（23. 3. 2）

※　丸太（間伐材）[G]　・真竹

4 新植樹木の枯補償（23. 3. 4）

※　１年間　・

5 新植樹木の枯損処理（23. 3. 6）

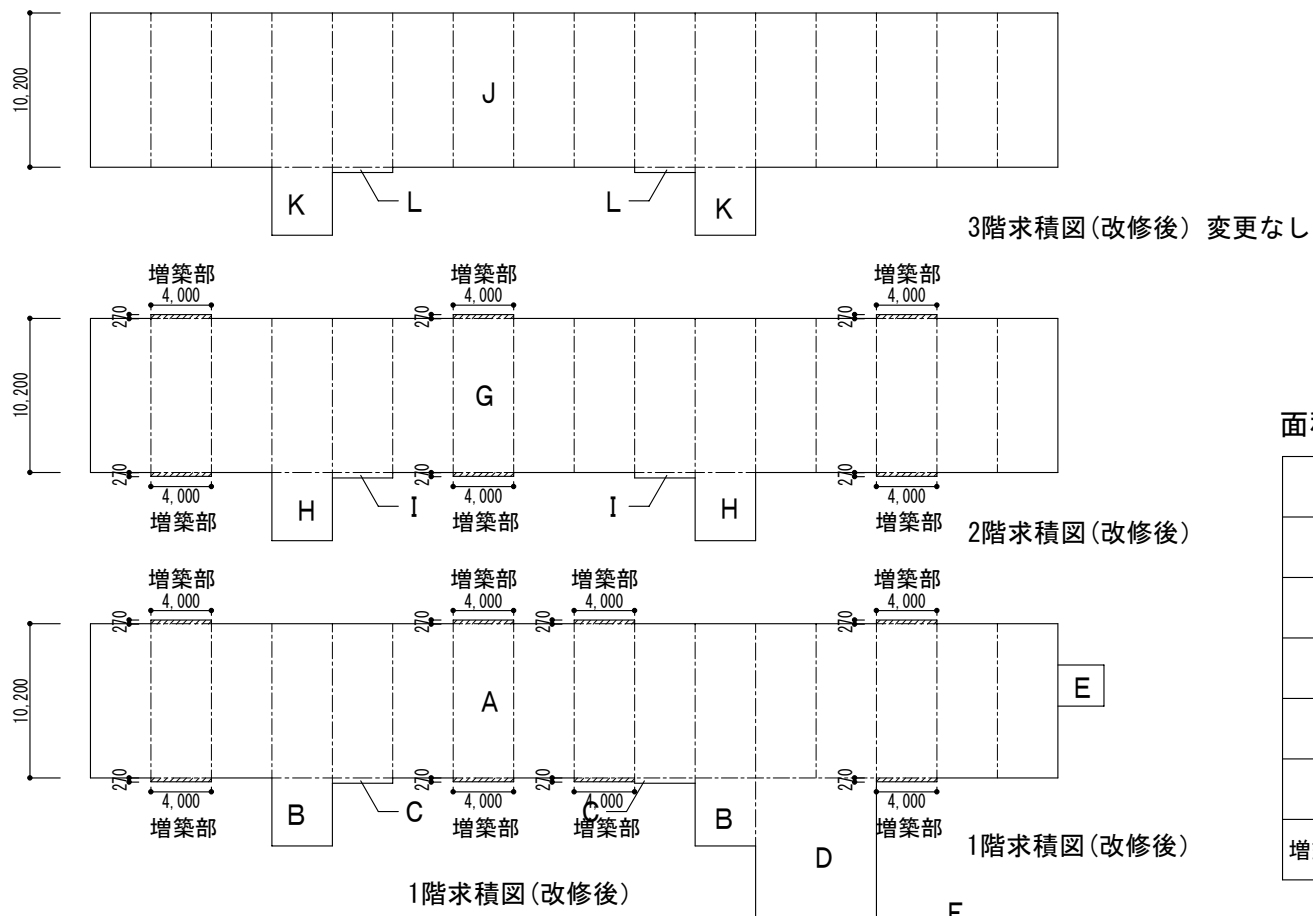
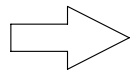
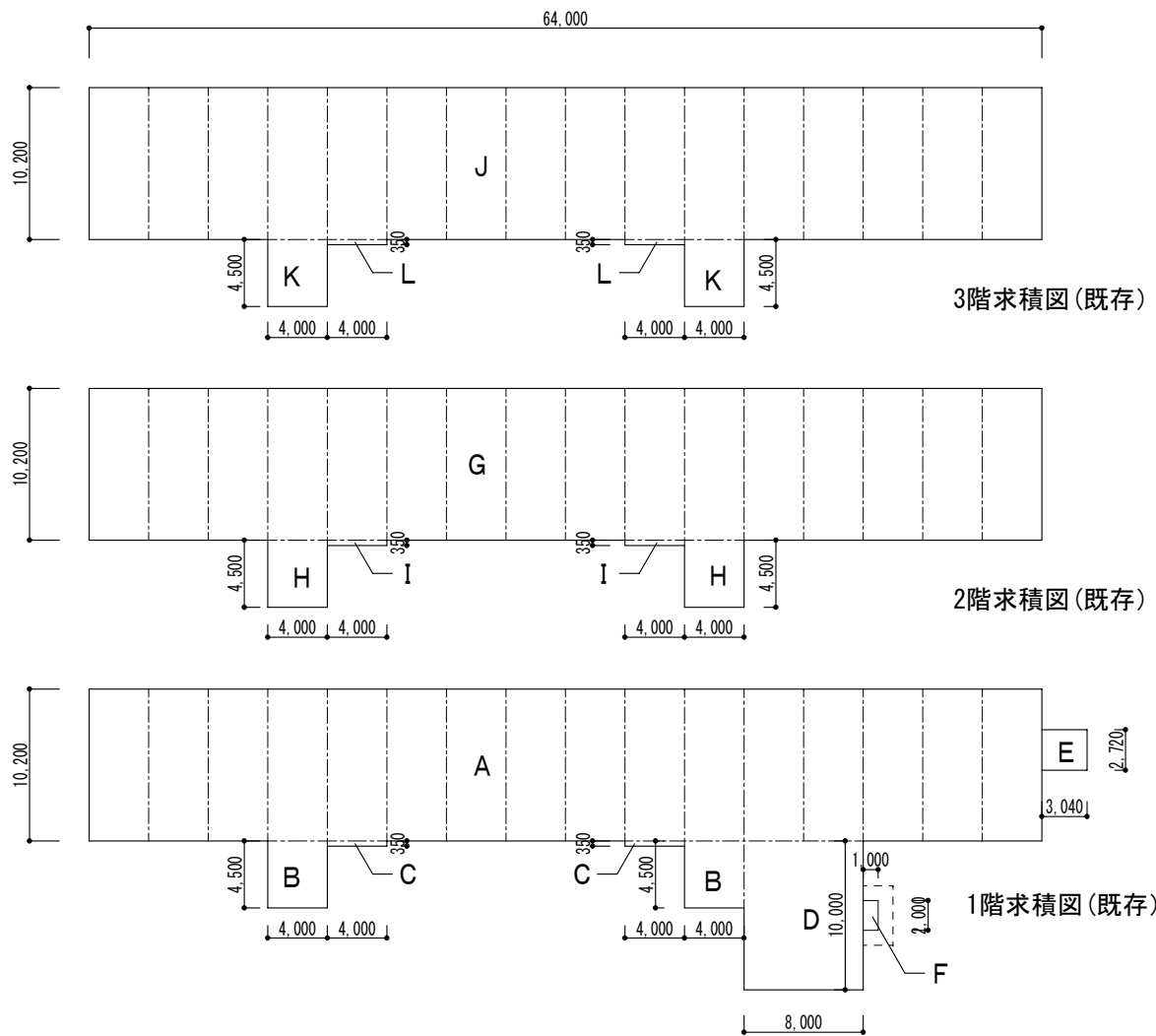
※　１年間　・

6 屋上緑化 [G]（23. 5. 2~3）

植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
　土壌層の厚さ　・　図示　・
　排水層　・　軽量骨材（層の厚さ：　）　・　板状成形品
　植込用土　※　改良土　・　人工軽量土
　樹木の材種、寸法、株立数等　※　図示　・
・屋上緑化軽量システム
　芝及び地被類の樹種並びに種類等　※　図示　・
　見切材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　※　図示　・

Designed by
〒６８２－０８８１
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
ＴＥＬ　０８５８－２２－７７１７ＦＡＸ　０８５８－２３－５３１５
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

求積表

建物名		区画符号	計算式 X寸法		Y寸法		ヶ所		小計	建築面積	延べ床面積
普通教室棟	1階教室･廊下	A	64.000	×	10.200	×	1	=	652.800	652.800	652.800
	1階便所	B	4.000	×	4.500	×	2	=	36.000	36.000	36.000
	1階手洗	C	4.000	×	0.350	×	2	=	2.800	2.800	2.800
	1階昇降口	D	8.000	×	10.000	×	1	=	80.000	80.000	80.000
	1階ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ	E	3.040	×	2.720	×	1	=	8.270	8.269	8.269
	建築面積参入部分	F	1.000	×	2.000	×	1	=	2.000	2.000	
	2階教室･廊下	G	64.000	×	10.200	×	1	=	652.800		652.800
	2階便所	H	4.000	×	4.500	×	2	=	36.000		36.000
	2階手洗	I	4.000	×	0.350	×	2	=	2.800		2.800
	3階教室･廊下	J	64.000	×	10.200	×	1	=	652.800		652.800
	3階便所	K	4.000	×	4.500	×	2	=	36.000		36.000
	3階手洗	N	4.000	×	0.350	×	2	=	2.800		2.800
	合計									781.869	2,163.069

面積表 ㎡

	既存	増築部	改修後	
建築面積	781.87	8.64	790.51	
１階床面積	779.87	8.64	788.51	
２階床面積	691.60	6.48	698.08	
３階床面積	691.60		691.60	
延べ床面積	2,163.07	15.12	2,178.19	
増築部面積計算式	(1F)4.00×0.27×8＝8.64　(2F)4.00×0.27×6＝6.48			

Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title 配置図・付近見取図・面積表 S=1/1000

Designed by
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
TEL ０８５８−２２−７７１７FAX ０８５８−２３−５３１５
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号

D C NO A-07

工 事 概 要

本工事は、下記を工事範囲とする。

1. 耐震補強改修
   - 鉄骨補強ブレースの新設(１４ヶ所)
   - 便所窓付RC壁の改修(１２面)
   - 補強部分外部建具新設
   - 1階(昇降口)腰壁の撤去(１ヶ所)
2. 外部改修
   - 外壁の塗装改修
   - 昇降口屋上防水の保護塗装改修
   - 外部ＡＤの改修(１０ヶ所)
   - 外部廻りコーキングの取替
3. 内部改修
   - 内壁塗装改修
   - 内部天井塗装改修
   - 黒板を掲示板の改修
   - 家具の改修(新設又は塗装)
   - 便所の改修(６ヶ所)
   - 図書室床の改修
   - 家庭調理室床の改修(設備配管に伴う)
   - 昇降口の改修
4. 渡り廊下改修
   - 北西渡り廊下の改修(屋根取替え・塗装)
   - 東渡り廊下の改修(既存解体後、新設)

外部仕上表（普通教室棟）

部位		仕様	部位		仕様
屋上（Ｒ階）	既存	既存ロンプルーフ防水撤去	外壁（一般部）	既存	既存リシン仕上(ﾓﾙﾀﾙ下地)
	改修	既存のまま		改修	防水型外装薄塗材Ｅ(下地調整：水洗い＋Ｃ１)
屋上（昇降口屋根）	既存	既存　塩ビ系シート防水	外壁（腰：斜め部分）	既存	既存リシン仕上(ALC下地)
	改修	既存防水層清掃の上、ウレタン系シルバー仕上		改修	アスファルト常温積層工法(下地調整：水洗い＋Ｃ１) 欠損部モルタル補修
		———	外壁（腰：鉛直部分）	既存	既存リシン仕上(ALC下地)
				改修	防水型外装薄塗材Ｅ(下地調整：水洗い＋Ｃ１)欠損部モルタル補修
外部渡り廊下(別図参照)	既存	———	軒天	既存	既存リシン仕上(ﾓﾙﾀﾙ下地)
	改修			改修	防水型外装薄塗材Ｅ(下地調整：サンダー工法)

内部仕上表(普通教室棟)

階	室名		床	巾木	壁	廻り縁	天井	備考
1	昇降口	既存	アートフロアーＫＰ仕上、土足部分:モルタルコテ押え	モルタルコテ仕上・ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	———	EP塗(ﾓﾙﾀﾙ下地)	既存RC腰壁撤去　家具改修（別図参照）
		改修	150角ﾀｲﾙ・複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄﾉﾝﾜｯｸｽﾀｲﾌﾟ他(別図参照)	ソフト巾木他(別図参照)	既存の上にEP-G塗装　一部ﾓﾙﾀﾙ補修	———	既存の上にEP塗装	玄関入口：SD両開き戸を引分け戸にADに取替
1	給食配膳室	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	吸音板(303×606×9t)	黒板改修（別図参照）
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装　木製間仕切、木製建具　SOP塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	ｻﾝﾌﾟﾙｹｰｽ新設・収納家具天端ｽﾃﾝ貼り
1	家庭調理室	既存	アートフロアーＫＰ仕上	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	吸音板(303×606×9t)	家具・黒板・掲示板改修（別図参照）
		改修	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS2t　厨房用(NS4400HR同等)別図参照	新設(ｿﾌﾄ巾木・ｱｸﾘﾙ被覆巾木)	既存の上にEP-G塗装　木製間仕切、木製建具　SOP塗装 一部：ﾒﾗﾐﾝ化粧板3t（別図参照）	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	耐震鉄骨ブレース、保護カウンター取付　床下設備配管改修(M工事)
1	家庭準備室	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	———	EP塗(ﾓﾙﾀﾙ下地)	
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装　木製建具　SOP塗装	———	既存の上にEP塗装	
1	学習活動室1	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	吸音板(303×606×9t)	家具・黒板・掲示板改修（別図参照）
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装　木製間仕切、木製建具　SOP塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	耐震鉄骨ブレース、保護カウンター取付
1	ｸﾗｽﾙｰﾑ	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	ＥＰ(モルタル下地)	家具・黒板・掲示板改修（別図参照）
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	耐震鉄骨ブレース、保護カウンター取付(さくら・たんぽぽ)
2	図書室	既存	じゅうたん	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	吸音板(303×606×9t)	家具改修（別図参照）
		改修	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS2t　ﾉﾝﾜｯｸｽﾀｲﾌﾟ(RD-NW同等)別図参照	既存のまま	既存の上にEP-G塗装　木製間仕切、木製建具　SOP塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	耐震鉄骨ブレース、保護カウンター取付(2ヶ所)
2	教材室2	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	化粧石膏ボード	黒板・掲示板改修（別図参照）
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装　木製間仕切、木製建具　SOP塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	耐震鉄骨ブレース、保護カウンター取付
2	学習活動室2	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	吸音板(303×606×9t)	掲示板改修（別図参照）
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装　木製間仕切、木製建具　SOP塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	耐震鉄骨ブレース、保護カウンター取付
2	ｸﾗｽﾙｰﾑ	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	吸音板(303×606×9t)	家具・黒板・掲示板改修（別図参照）
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	耐震鉄骨ブレース、保護カウンター取付(2の2)
3	家庭科室	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	吸音板(303×606×9t)	家具・黒板・掲示板改修（別図参照）
	(裁縫)	改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装　木製間仕切、木製建具　SOP塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	
3	児童会議室	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	吸音板(303×606×9t)	家具・黒板・掲示板改修（別図参照）
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装　木製間仕切、木製建具　SOP塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	
3	学習活動室3	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	化粧石膏ボード	家具・黒板・掲示板改修（別図参照）
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装　木製間仕切、木製建具　SOP塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	
3	ｸﾗｽﾙｰﾑ	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	吸音板(303×606×9t)	家具・黒板・掲示板改修（別図参照）
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装　木製間仕切、木製建具　SOP塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	
共通	便所	既存	タイル貼り全面撤去	既存ﾀｲﾙ	腰壁ﾀｲﾙ　上部EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	既存防火ライト6.3t(石綿大平板)	既存石綿Fﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
		改修	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS2t　消臭ﾀｲﾌﾟ(NSﾄﾜﾚNW同等)	ｱｸﾘﾙ被覆巾木	腰壁ﾒﾗﾐﾝ化粧合板+上部EP-G塗装改修部分在り（別図参照）	塩ビ廻り縁	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ9.5t	新設ﾒﾗﾐﾝ化粧Fﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
共通	廊下	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	既存一部木製OP	吸音板(303×606×9t)	
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	耐震鉄骨ブレース、保護ｶｳﾝﾀｰ取付(6ヶ所)　建具改修(別図参照)
共通	階段室	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	3F：吸音板(303×606×9t)、1･2F：ＥＰ(モルタル下地)	
		改修	既存のまま	既存のまま	既存の上にEP-G塗装	既存の上にSOP塗装	既存の上にEP塗装	建具改修(別図参照)
共通	教材室1･3	既存	長尺エンビシート貼り	ソフト巾木	EP塗(ﾌﾟﾗｽﾀｰ下地)	木製OP	吸音板(303×606×9t)	
		改修	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	倉庫として使用、改修しない。(２室)

外部仕上表（北西渡り廊下既存改修）

部位		仕様	部位	仕様
屋根	既存	既存カラー鉄板(折版H180)0.8t	外部外壁上部	既存硬質エンビ小波板　撤去(胴縁とも)
	改修	塗装溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板(折板H=150)0.8t		硬質エンビ小波板　新設
鉄部	既存	既存塗装OP	樋	既存鋼板軒樋　撤去
	改修	既存の上にDP塗装：下地処理（素地ごしらえRB種）柱４ヶ所取替え		軒樋：塩ビＷ１２０に取替

外部仕上表（東渡り廊下既存改修）

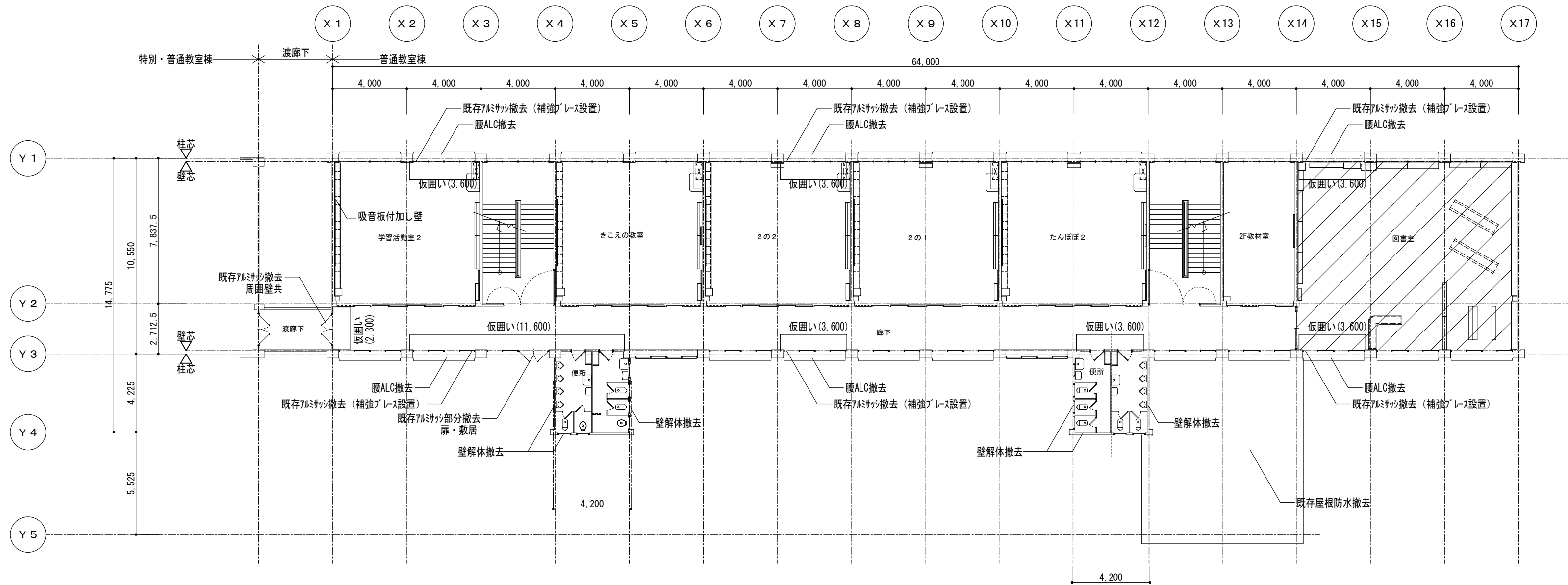
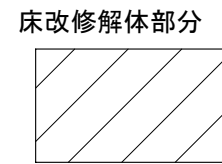
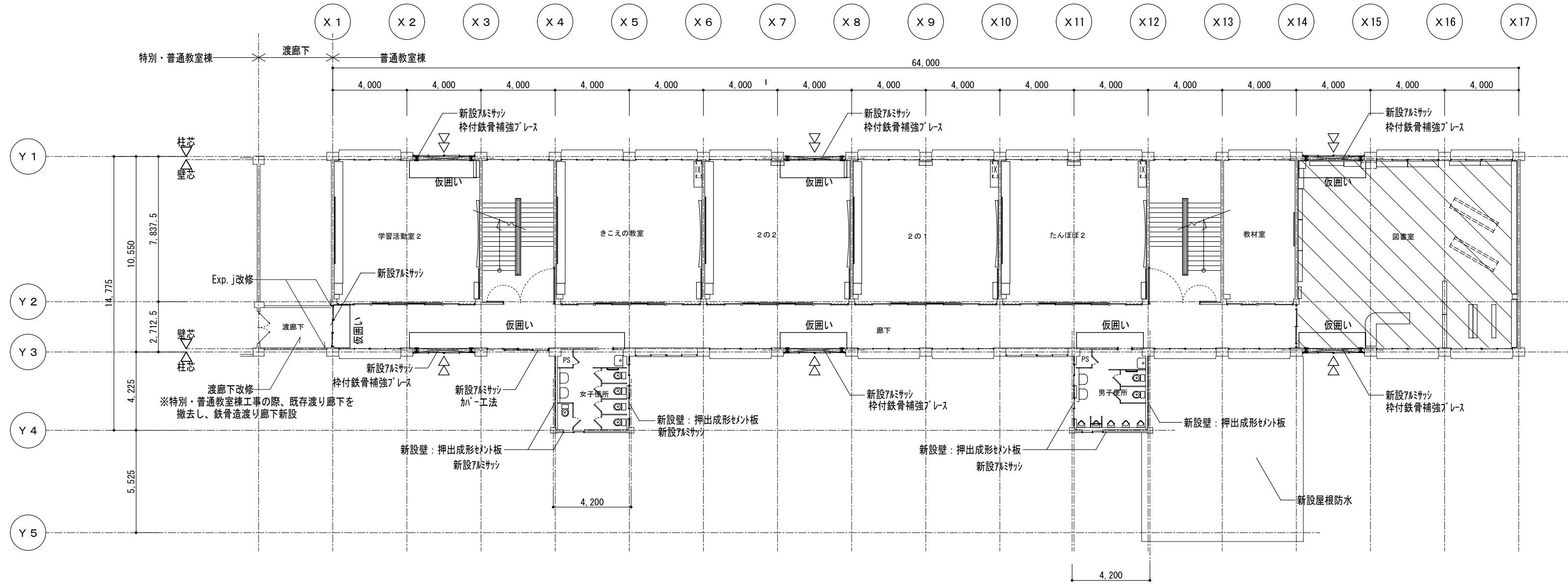
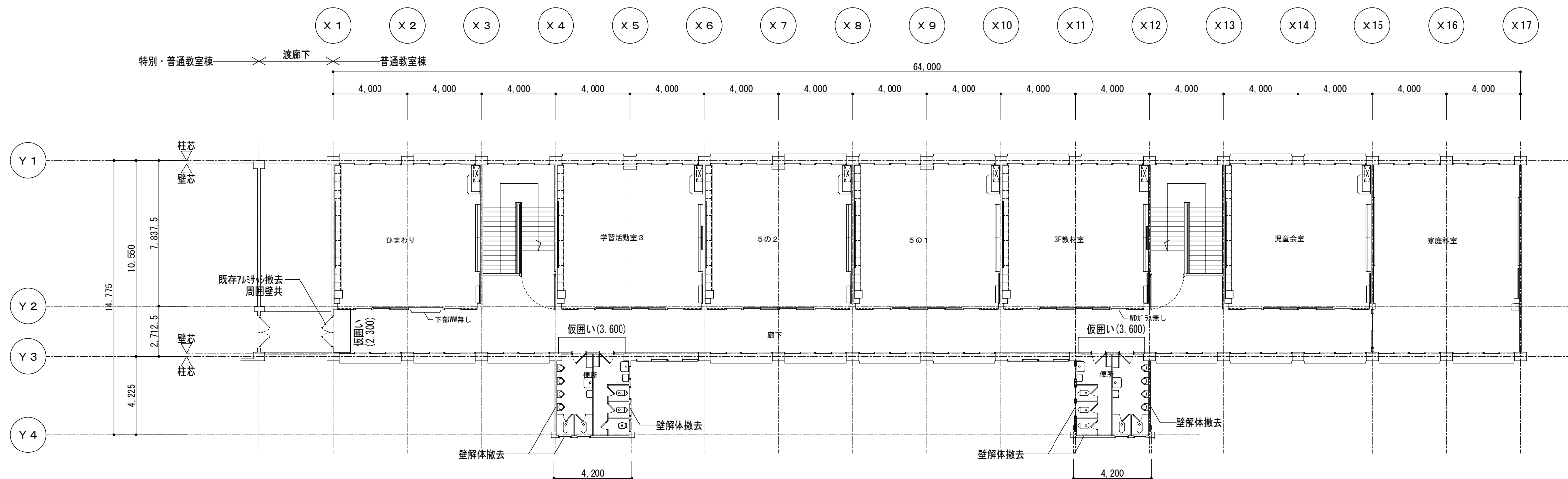
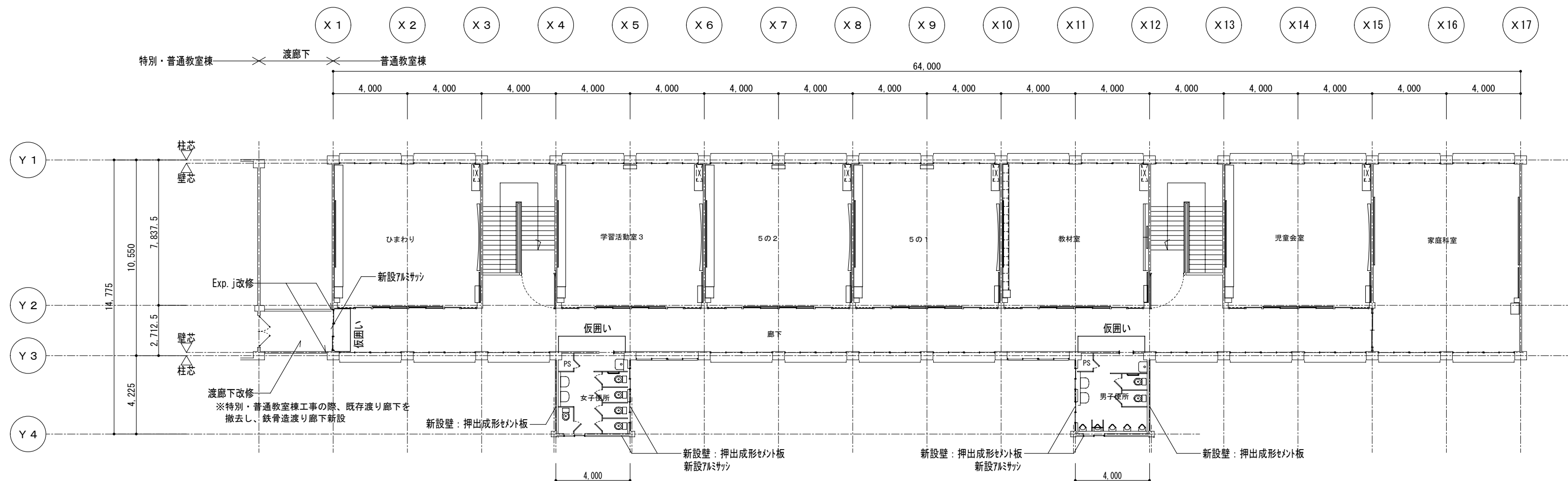
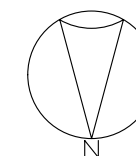
部位		仕様	部位	仕様
２階 ｽﾗﾌﾞ	既存	既存ﾃﾞｯｷPLｺﾝｸﾘｰﾄ下地+ﾓﾙﾀﾙ塗り（別図参照）	外部外壁上部	既存硬質エンビ小波板　撤去(胴縁とも)
	改修	ﾃﾞｯｷPLｺﾝｸﾘｰﾄ下地+ﾓﾙﾀﾙ塗り（別図参照）		硬質エンビ小波板　新設
鉄部	既存	既存鉄骨部分全解体撤去（別図参照）	基礎・土間部分	既存ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎・土間ｺﾝｸﾘｰﾄ全面撤去（別図参照）
	改修	新設鉄骨　溶融亜鉛ﾒｯｷ仕様（別図参照）		ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎・土間ｺﾝｸﾘｰﾄ新設（別図参照）

Designed by　（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
〒682-0881　鳥取県倉吉市宮川町２-５２-１
ＴＥＬ　０８５８－２２－７７１７ＦＡＸ　０８５８－２３－５３１５
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title	1階平面図 (既存・改修後) S=1/200

Designed by
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号

NO A-09

Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事	Designed by	(有) エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	３階平面図（既存・改修後）　S=1/200	〒682-0881 鳥取県倉吉市宮川町２-５２-１	一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号 TEL　0858-22-7717FAX　0858-23-5315 一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号			A-11

普通教室棟
渡廊下
特別・普通教室棟
※特別・普通教室棟工事の際、既存渡廊下を撤去し、鉄骨造渡り廊下新設
X17 X16 X15 X14 X13 X12 X11 X10 X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1
腰ALC部：欠損部補修防水施工補修（各部共通）
軒天：防水型外装薄塗材E（下地調整:ｻﾝﾀﾞｰ工法）
外壁モルタル部：防水型外装薄塗材E（下地調整:水洗い工法）
腰ALC撤去
既存アルミサッシ撤去（補強ブレース設置）
既存アルミサッシ部分撤去
扉・敷居
南面立面図(既存)　S=1/200
庇新設(計44ヶ所)
アルミサッシ新設（補強ブレース設置）
アルミサッシ新設（ｶﾊﾞｰ工法）
:腰ALC部：欠損部補修防水施工補修
南面立面図(改修後)　S=1/200
X1通り
X11(X5)通り
X12通り
壁解体撤去
既存ｱﾙﾐｻｯｼ共
東面立面図(既存)　S=1/200
アルミサッシ新設
新設壁押出成形ｾﾒﾝﾄ板60t
アルミサッシ新設
軒天：防水型外装薄塗材E（下地調整:ｻﾝﾀﾞｰ工法）
外壁モルタル部：防水型外装薄塗材E（下地調整:水洗い工法）
東面立面図(改修後)　S=1/200
Project　上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title　立面図 (1)　S=1/200
Designed by
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
TEL　０８５８−２２−７７１７FAX　０８５８−２３−５３１５
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号
D
C
NO
A-12

特別・普通教室棟
渡廊下
普通教室棟
※特別・普通教室棟工事の際、既存渡廊下を撤去し、鉄骨造渡り廊下新設
既存梯子撤去
壁解体撤去
既存アルミサッシ共
腰ALC部：欠損部補修防水施工補修（各部共通）
既存アルミサッシ部分撤去
扉・敷居
腰ALC撤去
既存アルミサッシ撤去（補強ブレース設置）
既存下り壁撤去：t=100 D10@200ﾀﾃﾖｺｼﾝｸﾞﾙ
北面立面図(既存)　S=1/200
新設壁押出成形ｾﾒﾝﾄ板60t
アルミサッシ新設
軒天：防水型外装薄塗材E（下地調整:ｻﾝﾀﾞｰ工法）
外壁モルタル部：防水型外装薄塗材E（下地調整:水洗い工法）
アルミサッシ新設（ｶﾊﾞｰ工法）
防水保護塗料塗り
SP塗り（ﾌﾟﾗｲﾏｰ・水洗い共）
アルミサッシ新設（補強ブレース設置）
:腰ALC部：欠損部補修防水施工補修
北面立面図(改修後)　S=1/200
X17通り
X12(X4)通り
X4(X12)通り
既存壁のまま
(便所:開口部を有しない壁)
X14通り
既存スチールドア解体撤去
一部撤去(土間ｺﾝ・手摺)詳細図参照
西面立面図(既存)　S=1/200
アルミサッシ新設
(既存内部ｼｬｯﾀｰそのまま)
玄関アルミサッシ新設
西面立面図(改修後)　S=1/200
SP塗り（ﾌﾟﾗｲﾏｰ共）
A-A断面
B-B断面
C-C断面
部分断面図　S=1/30
昇降口屋根防水改修平面図　S=1/100
8,330
8,780
10,000
3,850
Project　上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title　立面図(2)　S=1/200
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
(有)エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号
NO A-13

断面詳細図(2)
断面詳細図(1)
廊下
1SL天端
カプセル型接着アンカー(9Φ)
L-65×65×6　溶融亜鉛メッキ
FB-6×50　溶融亜鉛メッキ
カプセル型接着アンカー(9Φ)
SUS製
SUSフックボルト6Φ
SUSフックボルト(6Φ)4本固定
602.5
565
565
575
125
325
125
1167.5
1,130
1167.5
3,465
120
庇部分：伏せ図　S=1/30
カプセル型接着アンカー(2-9Φ)
SUS製
L-65×65×6　溶融亜鉛メッキ
HSC,T-2：カネソウKK同等品
SUSフックボルト(6Φ)4本固定
FB-6×50　溶融亜鉛メッキ
既存RC片持ち梁
既存RC片持ち梁
65
280
1167.5
3,465
120
庇部分：B～B 断面詳細図　S=1/10
HSC,T-2：カネソウKK同等品
アングル枠(外寸:W=575)
L-65×65×6　溶融亜鉛メッキ
SUSフックボルト(6Φ)4本固定
既存RC片持ち梁
庇部分：A～A 断面詳細図　S=1/10
Project　上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title　断面詳細図・庇改修図　S=1/30・S=1/10
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL　0858-22-7717FAX　0858-23-5315
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号
D
C
NO
A-14

改修前内部仕上表

階	室　　名	床	巾　　木	壁	廻り縁	天　　井	備　　考
1	便所	既存床ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼り 1階(土間ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾀｲﾙ全面解体撤去)	―――	腰壁：７５角ﾀｲﾙ(一部はがし撤去)・間仕切 ＯＰ塗り 上部：ﾌﾟﾗｽﾀｰ仕上	ﾗﾜﾝ材(45×27)撤去処分 OP塗り	石綿防火ﾗｲﾄ(6.3×910×1820) ＥＰ塗り 全面撤去処分(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有)	消火栓BOX移設(M工事)取合注意 石綿大平板F ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 全面解体撤去(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有)

改修後内部仕上表

階	室　　名	床	巾　　木	壁	廻り縁	天　　井	備　　考
1	男子･女子便所	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2t(UV樹脂ｺｰﾃｨﾝｸﾞ仕様)消臭NSﾄﾜﾚNW東リ:同等品 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち100t金ｺﾃ下地＋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ0.15＋砕石150t	ｱｸﾘﾙ被覆巾木 H60 (ｻﾆﾀﾘｰ巾木:アイカ工業ｋｋ同等品)	腰壁：壁面用ﾒﾗﾐﾝ化粧板 3ｔ (ｱｲｶﾀﾌｳｫｰﾙS:アイカ工業kk同等品) 上部:(GB-S)PB-12.5下地＋EP-G塗り(展開図参照)	新設:塩ビ廻り縁	天井：化粧石膏ボード9.5t(910×455)	
1	廊下	既存長尺塩塩ﾋﾞｼｰﾄ2t 一部補修	ｿﾌﾄ巾木 H100	既存:ﾓﾙﾀﾙ壁補修 上下共：ﾓﾙﾀﾙ下地EP仕上げ→EP-G塗り	既存木廻り縁:SOP塗替え 別図(廊下展開図参照)	廊下天井：EP塗替え 別図(天井伏せ図参照)	

共通事項

＊床仕上げ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去処分とする。（Ａ工事）
＊既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽは全て撤去処分とする。（注：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）
＊既存天井仕上げ及び木下地は全て撤去処分とする。（注：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）

＊衛生機器は全て撤去処分とする。（M工事）

Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title 男子便所仕上表・平面図（既存・改修後） S=1/50
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２-５２-１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
ＴＥＬ　０８５８−２２−７７１７ＦＡＸ　０８５８−２３−５３１５
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

D
C
NO A-15

改修前内部仕上表

階	室　名	床	巾　木	壁	廻り縁	天　井	備　考
1	便所	既存床ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼り 1階（土間ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾀｲﾙ全面解体撤去）	――――	腰壁：７５角ﾀｲﾙ（一部はがし撤去）・間仕切 ＯＰ塗り 上部：ﾌﾟﾗｽﾀｰ仕上	ﾗﾜﾝ材（45×27）撤去処分 OP塗り	石綿防火ﾗｲﾄ（6.3×910×1820） ＥＰ塗り 全面撤去処分（ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）	消火栓BOX移設（M工事）取合注意 石綿大平板F ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 全面解体撤去（ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）

↓

改修後内部仕上表

階	室　名	床	巾　木	壁	廻り縁	天　井	備　考
1	女子便所	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2t（UV樹脂ｺｰﾃｨﾝｸﾞ仕様）消臭NSﾄﾜﾚNW東リ：同等品 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち100t金ｺﾃ下地＋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ0.15＋砕石150t	ｱｸﾘﾙ被覆巾木 H60 （サニタリー巾木：アイカ工業ｋｋ同等品）	腰壁：壁面用ﾒﾗﾐﾝ化粧板 3ｔ （アイカタフウォールS：アイカ工業kk同等品） 上部：（GB-S）PB-12.5下地＋EP-G塗り（展開図参照）	新設：塩ビ廻り縁	天井：化粧石膏ボード9.5t（910×455）	
1	廊下	既存長尺塩塩ﾋﾞｼｰﾄ2t 一部補修	ｿﾌﾄ巾木 H100	既存：ﾓﾙﾀﾙ壁補修 上下共：ﾓﾙﾀﾙ下地EP仕上げ→EP-G塗り	既存木廻り縁：SOP塗替え 別図（廊下展開図参照）	廊下天井：EP塗替え 別図（天井伏せ図参照）	

共通事項

＊床仕上げ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去処分とする。（Ａ工事）
＊既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽは全て撤去処分とする。（注：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）
＊既存天井仕上げ及び木下地は全て撤去処分とする。（注：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）

＊衛生機器は全て撤去処分とする。（M工事）

Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title	女子便所仕上表・平面図（既存・改修後）　S=1/50

Designed by
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２-５２-１
ＴＥＬ　０８５８－２２－７７１７ＦＡＸ　０８５８－２３－５３１５
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

NO A-16

共通事項

＊1階床仕上げ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去処分とする。（Ａ工事）
＊既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽは全て撤去処分とする。（注：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）
＊外壁ｺﾝｸﾘｰﾄ(仕上・建具共)全て撤去処分とする。（注：1～3階便所外壁・Y4・X5・X11通り）
＊既存天井仕上げ及び木下地は全て撤去処分とする。（注：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）
＊衛生機器は全て撤去処分とする。（M工事）

Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事	Designed by （有）エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title 便所内部撤去展開図（既存） S=1/50	〒682-0881 鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１			A-17

一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL　0858－22－7717FAX　0858－23－5315
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

共通事項

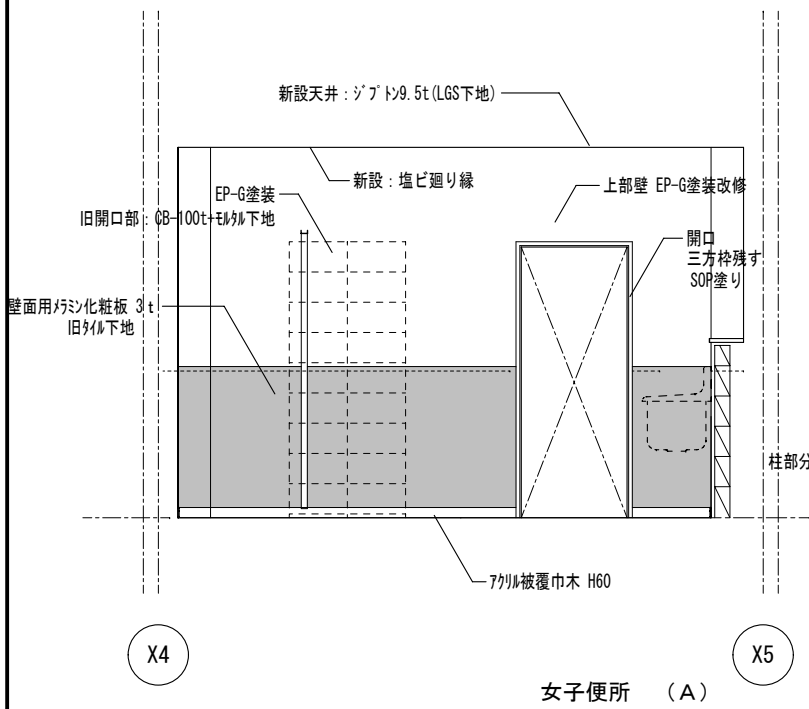
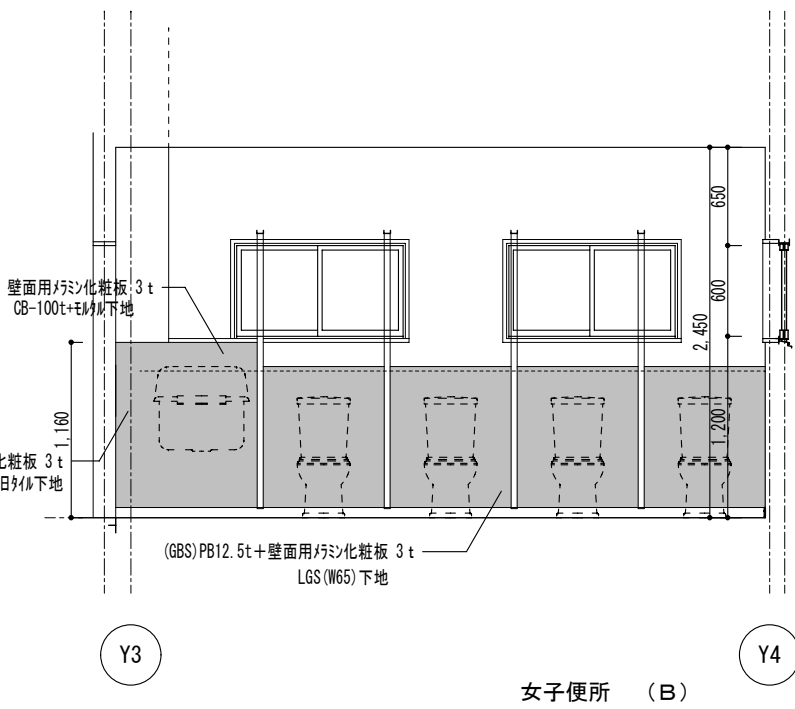
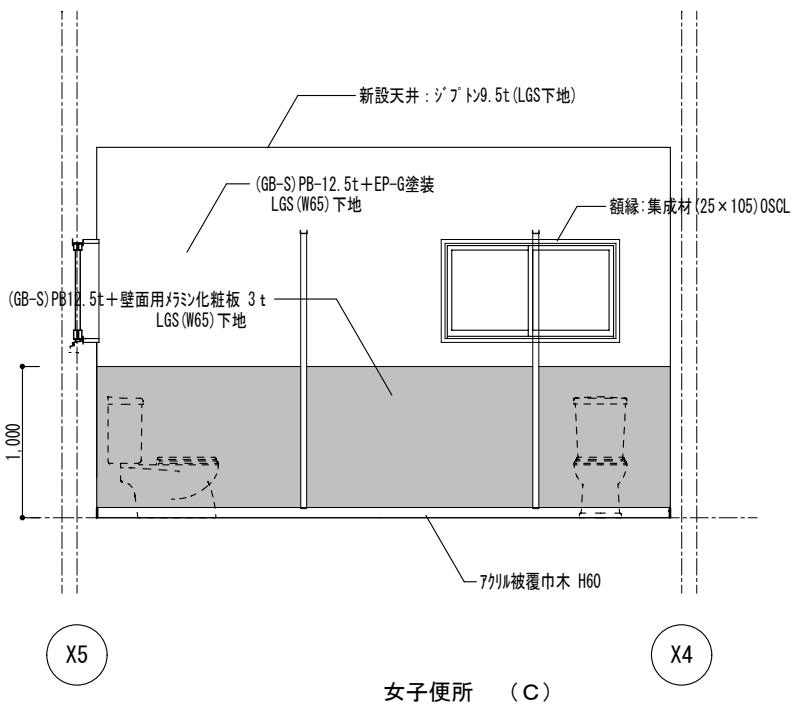
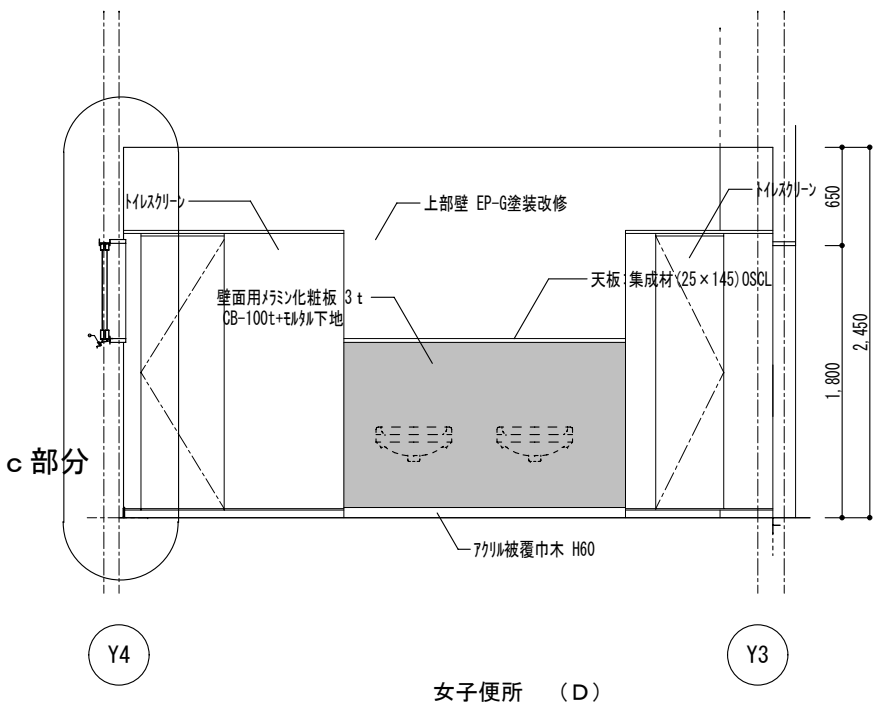
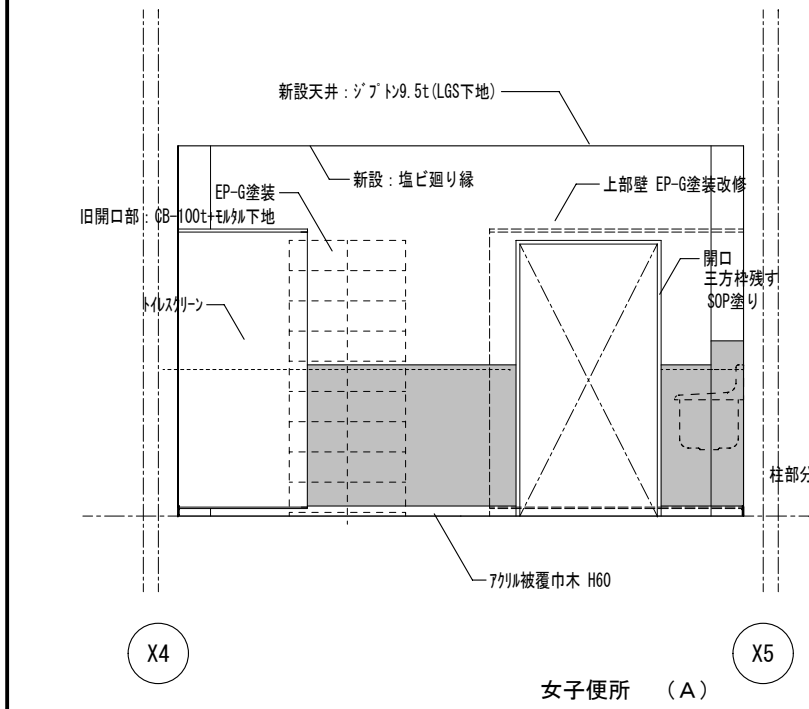
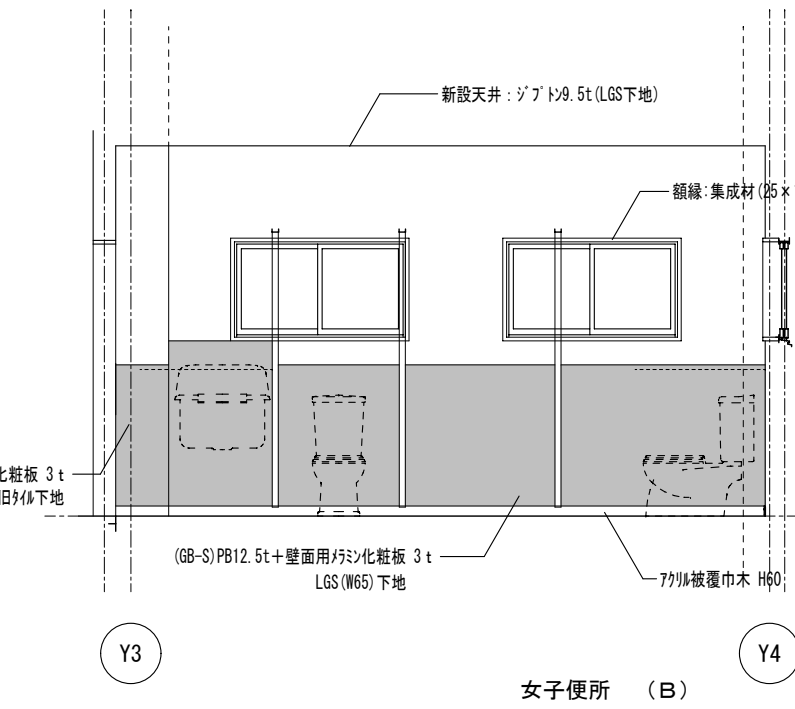
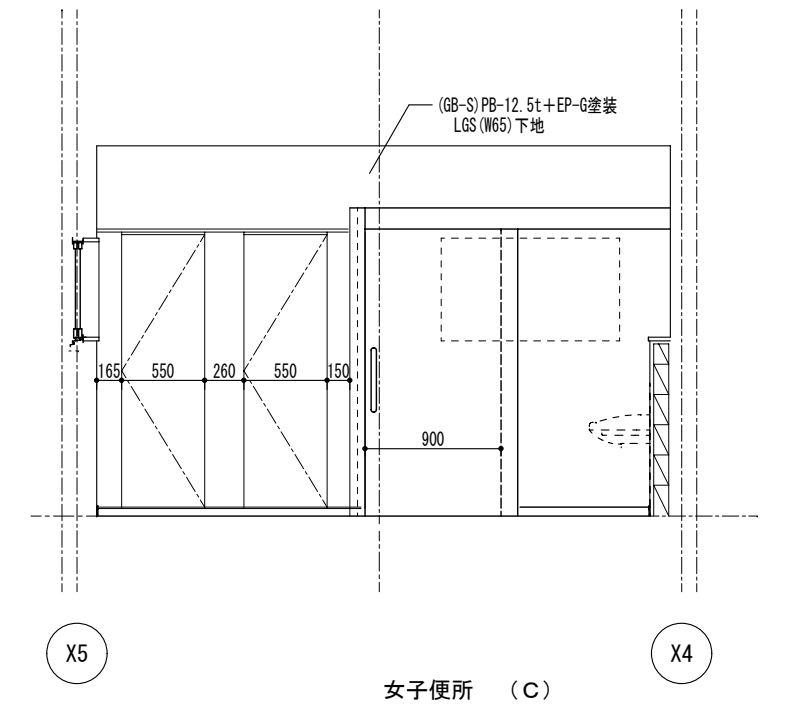
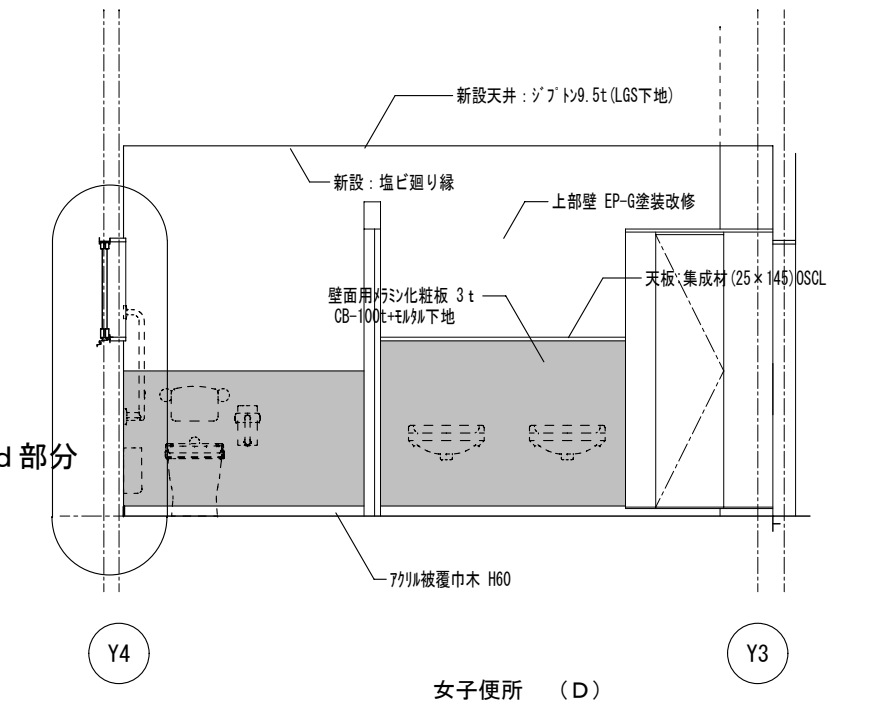
* 1階床仕上げ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去処分とする。（A工事）
* 既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽは全て撤去処分とする。（注：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）
* 外壁ｺﾝｸﾘｰﾄ(仕上・建具共)全て撤去処分とする。（注：1～3階便所外壁・Y4･X5･X11通り）
* 既存天井仕上げ及び木下地は全て撤去処分とする。（注：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）
* 衛生機器は全て撤去処分とする。（M工事）

手洗い流し台詳細図(6ヶ所)　S=1/30

Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事	
Title	男子便所展開図（改修後）	S=1/50

Designed by
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
TEL　0858－22－7717FAX　0858－23－5315
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

D　C　NO A-18

２～３階　女子便所（改修後）

新設天井：ｼﾞﾌﾟﾄﾝ9.5t(LGS下地)
新設：塩ビ廻り縁
EP-G塗装
旧開口部：CB-100t+ﾓﾙﾀﾙ下地
上部壁 EP-G塗装改修
開口
三方枠残す
SOP塗り
壁面用ﾒﾗﾐﾝ化粧板 3ｔ
旧ﾀｲﾙ下地
ｱｸﾘﾙ被覆巾木 H60

X4　X5
女子便所　（A）

壁面用ﾒﾗﾐﾝ化粧板 3ｔ
CB-100t+ﾓﾙﾀﾙ下地
柱部分：壁面用ﾒﾗﾐﾝ化粧板 3ｔ
旧ﾀｲﾙ下地
(GBS)PB12.5t＋壁面用ﾒﾗﾐﾝ化粧板 3ｔ
LGS(W65)下地
650
600
2,450
1,160
200

Y3　Y4
女子便所　（B）

新設天井：ｼﾞﾌﾟﾄﾝ9.5t(LGS下地)
(GB-S)PB-12.5t＋EP-G塗装
LGS(W65)下地
額縁：集成材(25×105)OSCL
(GB-S)PB12.5t＋壁面用ﾒﾗﾐﾝ化粧板 3ｔ
LGS(W65)下地
1,000
ｱｸﾘﾙ被覆巾木 H60

X5　X4
女子便所　（C）

c部分
ﾄｲﾚｽｸﾘｰﾝ
上部壁 EP-G塗装改修
ﾄｲﾚｽｸﾘｰﾝ
壁面用ﾒﾗﾐﾝ化粧板 3ｔ
CB-100t+ﾓﾙﾀﾙ下地
天板：集成材(25×145)OSCL
650
2,450
1,800
ｱｸﾘﾙ被覆巾木 H60

Y4　Y3
女子便所　（D）

１階　女子便所（改修後）

共通事項

＊1階床仕上げ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去処分とする。（Ａ工事）
＊既存ﾄｲﾚﾌﾞｰｽは全て撤去処分とする。（注：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）
＊外壁ｺﾝｸﾘｰﾄ(仕上・建具共)全て撤去処分とする。（注：1～3階便所外壁・Y4･X5･X11通り）
＊既存天井仕上げ及び木下地は全て撤去処分とする。（注：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）
＊衛生機器は全て撤去処分とする。（Ｍ工事）

Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事	
Title	女子便所展開図（改修後）	S=1/50

Designed by
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
ＴＥＬ　０８５８－２２－７７１７ＦＡＸ　０８５８－２３－５３１５
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

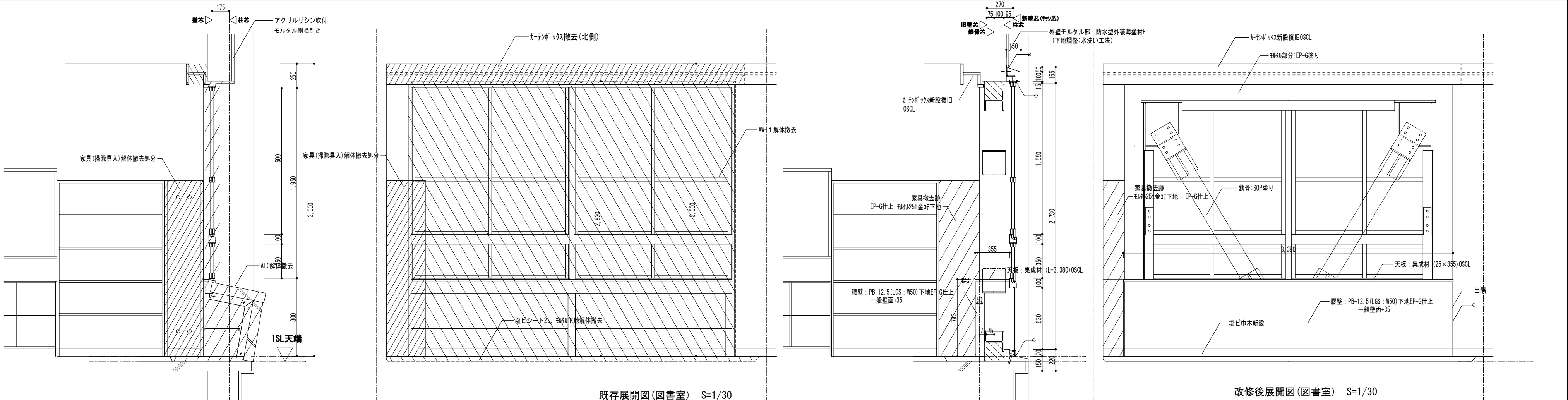
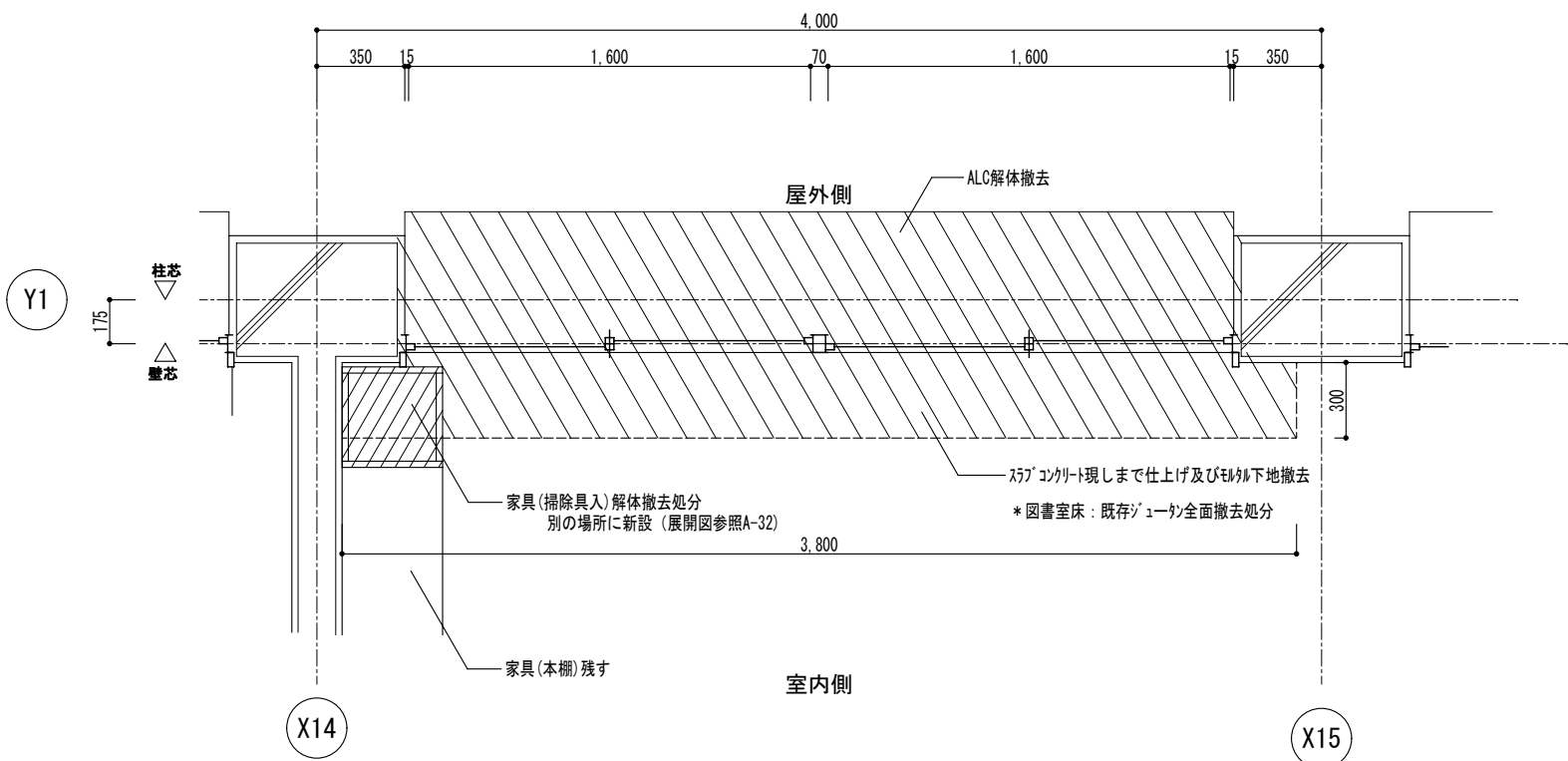
D　C　NO A-19

天井伏せ図（既存） S=1/100
既存石綿防火ライト6.3t(木下地共)全面撤去
便所
天井全面撤去下地共
既存天井点検口
天井伏せ図（改修後） S=1/100
新設:天井点検口(450×450)
天井：化粧石膏ボード9.5t(LGS下地)
女子便所
（男子便所）
＊旧天井仕上げは全て撤去処分とする。（注：ｱｽﾍﾞｽﾄ含有）
防水均しﾓﾙﾀﾙ
LGS65形
押出成形ｾﾒﾝﾄ板60t
押出成形ｾﾒﾝﾄ板60t
＋防水型外装薄塗材Ｅ
上部壁：EP-G塗装
(GB-S)PB-12.5下地
額縁：集成材（25×105)OSCL仕上
AW-5
天板・額縁：集成材（25×145)OSCL仕上
腰壁：壁面用メラミン化粧板 3t
開口補強L-65×65×6
防水ﾓﾙﾀﾙ20t下地
CB-100ｔ下地
L-50×50×6
ｽﾃﾝ水切SUS304HL1.0t
ｱｸﾘﾙ被覆巾木 H60
ﾋﾞﾆｰﾙ床ｼｰﾄFS2t(消臭ﾀｲﾌﾟ)
ﾓﾙﾀﾙ28t金ｺﾃ押え＋軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ70t(衛生陶器撤去跡穴埋め共)
既存ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗り壁EP
天板：集成材（25×145)OSCL仕上
ﾓﾙﾀﾙ28t金ｺﾃ押え＋ｺﾝｸﾘｰﾄ100t(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ150×150×6Φ)
防湿ｼｰﾄ：ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ0.15t
既存ﾀｲﾙ･ﾓﾙﾀﾙ･ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去後 砕石120t
額縁：集成材（25×105)OSCL仕上
(2F/3F)
a部分断面詳細図 S=1/10
(1F)
b部分断面詳細図 S=1/10
(2F/3F)
c部分断面詳細図 S=1/10
(1F)
d部分断面詳細図 S=1/10
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title 便所断面詳細図・天井伏せ図 S=1/10 S=1/100
Designed by
(有）エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
NO
A-20

＊A-21図面は、家庭調理室(1ヶ所)の耐震改修に伴う建具(AW-6)廻りの改修を表す。
＊家庭調理室 耐震補強：は(1ヶ所)行う。(平面図A-09参照)
＊耐震補強に伴い既存ステンレス流し台(4ヶ所)は、取外し保存 補強完了後再取付とする。
＊耐震補強に伴い既存換気扇(2ヶ所)は、再利用する。(M工事)
＊家庭調理室は、設備配管改修の為、土間コンクリート全面打直し工事を行う。

Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事	
Title	家庭調理室 AW-1廻り改修図(展開図・平面図・断面図)	S=1/30

Designed by
(有)エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1

NO A-21

既存断面図(図書室)　S=1/30
既存展開図(図書室)　S=1/30
改修後断面図(図書室)　S=1/30
改修後展開図(図書室)　S=1/30
既存平面図(図書室)　S=1/30
改修後平面図(図書室)　S=1/30
アクリルリシン吹付
モルタル刷毛引き
家具(掃除具入)解体撤去処分
ALC解体撤去
1SL天端
カーテンボックス撤去(北側)
AW-1解体撤去
塩ビシート2t、モルタル下地解体撤去
外壁モルタル部：防水型外装薄塗材E
(下地調整：水洗い工法)
カーテンボックス新設復旧OSCL
家具撤去跡
EP-G仕上 モルタル25t金ゴテ下地
天板：集成材 (L=3,380)OSCL
腰壁：PB-12.5(LGS：W50)下地EP-G仕上
一般壁面+35
モルタル部：EP-G塗り
鉄骨：SOP塗り
天板：集成材 (25×355)OSCL
出隅
塩ビ巾木新設
屋外側
室内側
ALC解体撤去
家具(掃除具入)解体撤去処分
別の場所に新設 (展開図参照A-32)
スラブコンクリート現しまで仕上げ及びモルタル下地撤去
＊図書室床：既存ジュータン全面撤去処分
家具(本棚)残す
家具撤去跡
モルタル下地塗り
床：一部モルタル補修の上
＊図書室床全面：複層ビニール床シートFS2t ノンワックスタイプに変更
家具(本棚)残す
展開図参照
Y1
X14
X15
＊A-22図面は、図書室(2ヶ所)の耐震改修に伴う建具(AW-1)廻り北側の改修を表す。
＊図書室耐震補強：（２ヶ所)行う。(平面図A-10参照)
＊2Fはスラブコンクリートは残し耐震補強工事を行う。(S-09図参照)
＊耐震補強に伴い掃除具入れ(1ヶ所)の改修を行う。(家具図・展開図)
＊図書室の既存床ジュータン全面撤去後、複層ビニール床シートFS2t ノンワックスタイプに変更する。
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title 図書室 AW-1廻り改修図(展開図・平面図・断面図) S=1/30
Designed by
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
TEL ０８５８－２２－７７１７ FAX ０８５８－２３－５３１５
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
NO A-22

カーテンボックス撤去
AW-1解体撤去
家具取外し再利用
家具解体撤去処分
塩ビシート2t、モルタル下地解体撤去
1F土間コンクリートまで撤去処分
2Fスラブコンクリート残しモルタル下地まで撤去処分
既存展開図(クラスルーム) S=1/30
アクリルリシン吹付
モルタル刷毛引き
柱芯
壁芯
家具解体撤去処分
ALC解体撤去
1SL天端
既存断面図(クラスルーム) S=1/30
カーテンボックス新設復旧OSCL
モルタル部分:EP-G塗り
再利用家具:歯磨きコップ置場
鉄骨:SOP塗り
新設家具
教師用収納戸棚
天板:集成材(25×355)OSCL
出隅
腰壁:PB-12.5(LGS:W50)下地EP-G仕上
一般壁面+35
塩ビ巾木新設
塩ビシート補修(400×4,000)
溶接共
1F 土間コンクリート+モルタル28t補修
2F モルタル28t補修
改修後展開図(クラスルーム) S=1/30
新壁芯(サッシ芯)
旧壁芯
鉄骨芯
外壁モルタル部:防水型外装薄塗材E
(下地調整:水洗い工法)
カーテンボックス新設復旧
OSCL
天板:集成材(L=3,380)OSCL
改修後断面図(クラスルーム) S=1/30
屋外側
ALC解体撤去
室内側
家具撤去
家具天板(1,405×435)撤去
テレビ用天板(1,010×675)撤去
既存平面図(クラスルーム) S=1/30
天板:集成材(25×335)OSCL
教師用収納戸棚
新設家具
天板撤去跡:モルタル補修
改修後平面図(クラスルーム) S=1/30
集成材25tOSCL
部分新設する
カーテンボックス断面図 S=1/10
＊A-23図面は、クラスルーム南面(さくら・たんぽぽ他:5ヶ所)の耐震改修に伴う建具(AW-1)廻りの改修を表す。
＊クラスルーム耐震補強:1Fは(3ヶ所)、2Fは(2ヶ所)行う。(平面図A-09・A-10参照)
＊1Fは土間コンクリート撤去を行うが、2Fスラブコンクリートは残し耐震補強工事を行う。(S-09図参照)
＊耐震補強に伴い教師用収納戸棚(5ヶ所)の改修を行う。(家具図参照)
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title クラスルーム AW-1廻り改修図(展開図・平面図・断面図) S=1/30
Designed by
(有)エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
D
C
NO
A-23

既存展開図(廊下)　S=1/30
AW-2解体撤去
ALC解体撤去
塩ビシート2t、ﾓﾙﾀﾙ下地解体撤去
1F土間ｺﾝｸﾘｰﾄまで撤去処分
2Fｽﾗﾌﾞｺﾝｸﾘｰﾄ残しﾓﾙﾀﾙ下地まで撤去処分
既存断面図(廊下)　S=1/30
アクリルリシン吹付
モルタル刷毛引き
ALC解体撤去
1SL天端
塩ビシート2t、ﾓﾙﾀﾙ下地解体撤去
柱芯
壁芯
廊下
改修後展開図(廊下)　S=1/30
壁：EP-G補修
ﾓﾙﾀﾙ部分：EP-G
鉄骨：SOP塗り
天板：集成材(25×335)OSCL
腰壁：PB-12.5(LGS：W50)下地EP-G仕上
一般壁面+35
出隅
塩ビ巾木 H100　新設
1F　土間ｺﾝｸﾘｰﾄ+ﾓﾙﾀﾙ28t補修
2F　ﾓﾙﾀﾙ28t補修
改修後断面図(廊下)　S=1/30
新壁芯(ｻｯｼ芯)
旧壁芯
鉄骨芯
外壁モルタル部：防水型外装薄塗材E
(下地調整：水洗い工法)
天板：集成材(L=3,380)OSCL
既存平面図(廊下)　S=1/30
屋外側
室内側
ALC解体撤去
改修後平面図(廊下)　S=1/30
天板：集成材(25×335)OSCL
塩ビシート補修(400×4,000)
溶接共
X3
X2
Y3
＊A-24図面は、北側廊下(6ヶ所)の耐震改修に伴う建具(AW-2)廻りの改修を表す。
＊廊下耐震補強：1Fは(4ヶ所)、2Fは(2ヶ所)行う。(平面図A-09･A-10参照)
＊1Fは土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去を行うが、2Fｽﾗﾌﾞｺﾝｸﾘｰﾄは残し耐震補強工事を行う。(S-09図参照)
Project　上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title　廊下 AW-2廻り改修図(展開図・平面図・断面図)　S=1/30
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
(有)エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号
NO
A-24

扉撤去処分（2枚）
既存：水洗柱
施工注意
土間コンクリート溝ハツリ
既存 展開図（1F西階段室） S=1/30
扉撤去処分（2枚）
敷居ステンレスレール撤去処分
土間コンクリートハツリ
1SL天端
既存 断面図（1F西階段室） S=1/30
室内側
屋外側
一部長尺塩ビシート2t撤去
敷居ステンレスレール撤去処分
土間コンクリート溝ハツリ
扉撤去処分（2枚）
既存（1F西階段室）平面図 S=1/30
既存サッシ廻りシーリング改修
改修後 展開図（1F西階段室） S=1/30
外壁モルタル部：防水型外装薄塗材E
（下地調整：水洗い工法）
内部塗装改修は
（階段展開図参照A-37）
溶接
長尺塩ビシート2t補修
モルタル補修
ステンレス下枠 1.5t
2SL天端
改修後 断面図（1F西階段室） S=1/30
改修後（1F西階段室）平面図 S=1/30
既存 展開図（1F東階段室） S=1/30
既存 断面図（1F東階段室） S=1/30
既存（1F東階段室）平面図 S=1/30
改修後 展開図（1F東階段室） S=1/30
改修後 断面図（1F東階段室） S=1/30
改修後（1F東階段室）平面図 S=1/30
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強（建築主体）工事
Title ＡＤ－３廻り改修図 S=1/30
Designed by
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
TEL 0858－22－7717 FAX 0858－23－5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
NO A-25

Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title	ＡＤ－４廻り改修図 S=1/30

Designed by
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
TEL 0858－22－7717 FAX 0858－23－5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号

D
C
NO
A-26

既存 展開図(2F AD-5) S=1/30
既存 断面図(2F AD-5) S=1/30
既存 平面図(2F AD-5) S=1/30
既存 展開図(1F AD-5) S=1/30
既存 断面図(1F AD-5) S=1/30
既存 平面図(1F AD-5) S=1/30
改修後 展開図(2F AD-5) S=1/30
改修後 断面図(2F AD-5) S=1/30
改修後 平面図(2F AD-5) S=1/30
改修後 展開図(1F AD-5) S=1/30
改修後 断面図(1F AD-5) S=1/30
改修後 平面図(1F AD-5) S=1/30
壁解体撤去(既存AD-5共)
RC壁(ﾓﾙﾀﾙ共) 解体撤去
既存AD-5解体撤去
既存ｱﾙﾐ手摺そのまま
壁解体に伴い一部梁解体
建具額縁(ﾓﾙﾀﾙ共) 解体撤去
床ｼｰﾄ(ﾓﾙﾀﾙ共) 解体撤去
有効開口巾
新設額縁：(25×65)OS
ﾓﾙﾀﾙ補修
ｽﾃﾝﾚｽ下枠 1.5t
長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ2t補修
溶接
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title ＡＤ－５廻り改修図 S=1/30
Designed by
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
ＴＥＬ ０８５８－２２－７７１７ ＦＡＸ ０８５８－２３－５３１５
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
NO A-27

Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title	ＡＤ－２、６廻り改修図　S=1/30

Designed by
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881 鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
TEL 0858－22－7717 FAX 0858－23－5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号

NO A-28

既存平面図 S=1/100
昇降口
既存外部：土間コンクリート＋モルタル金コテ仕上げ
内部床改修工事：別詳細図参照A-30
改修後平面図 S=1/100
改修後外部：土間コンクリート＋150角タイル仕上げ
既存昇降口
A展開図 S=1/100
B展開図 S=1/100
C展開図 S=1/100
D展開図 S=1/100
改修後昇降口
既存 展開図(AD-1) S=1/50
A～A
既存 断面図(AD-1部分・外部土間コン) S=1/50
改修後 展開図(AD-1) S=1/50
A'～A'
改修後 断面図(AD-1部分・外部土間コン) S=1/50
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title AD-1廻り改修図・昇降口展開図他 S=1/30・S=1/100
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
TEL 0858−22−7717 FAX 0858−23−5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
NO A-29

既存平面図 S=1/50
改修後平面図 S=1/50
B～B
既存傘立て撤去断面図 S=1/30
A～A
昇降口解体断面図 S=1/50
C～C
昇降口改修断面図 S=1/50
凡例
土間コンクリート+モルタル(100t+30t)解体撤去部分
床モルタル(30t)解体撤去部分
傘立て解体撤去部分
昇降口
既存RC腰壁:解体撤去
既存下足箱:撤去処分
既存傘立て:撤去処分
建具改修工事(AD-1図参照)
建具改修工事(AD-6図参照)
新設下足箱(家具図面参照)
ステンレス手摺:SUS304Φ34 H800×W2600
階段用ステンレスすべり止め
ステンレスくつずり
床:150角タイル
新設掃除具入れ(家具図面参照)
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築)工事
Title 昇降口改修 平面図・床断面図・部分詳細図 S=1/50/S=1/50・S=1/30
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
TEL 0858－22－7717 FAX 0858－23－5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
D
C
NO
A-30

さくら
図書室
教材室(2F)
たんぽぽ２
(2階)
２の１
A展開図 S=1/100
B展開図 S=1/100
C展開図 S=1/100
D展開図 S=1/100
新規曲面黒板(可動式)
新設掲示板
既存黒板解体撤去処分後
既存(ベニヤ掲示板)全面撤去
既存掲示板解体撤去
既存ロッカー解体処分後
新設家具
既存塩ビ巾木H75そのまま
既存カーテンボックスそのまま
共通事項
＊既存EP塗装壁(プラスター塗り下地) → EP-G塗装(改修)する。
＊既存EP塗装壁(モルタル塗り下地) → EP-G塗装(改修)する。
＊プラスター・モルタル塗り壁上部、既存木製廻り縁OP塗り → SOP塗装(改修)する。
＊既存木製間仕切りOP塗り壁 → SOP塗装(改修)する。
＊既存木製間仕切り巾木部(ＷＤ敷居共) → SOP塗り分け塗装(改修)する。
＊既存ＷＤ、ＷＷ(OP仕上) → SOP塗装(改修)する。
＊既存EP塗装ALC腰壁 → EP-G塗装(改修)する。
＊既存ALC取付用鉄骨(OP仕上) → SOP塗装(改修)する。
＊カーテンボックス(OS仕上) ：改修塗装しない。やり替え部分のみOSCL色合せ
＊既存家具(OS・OP仕上) ：改修塗装(別図参照)する。
＊新設家具、黒板、ホワイトボード別図参照
＊アルミサッシ木額縁 (OS仕上) ：改修塗装しない。
＊掲示板・黒板・ホワイトボード枠(OS仕上)：改修塗装しない。
＊プラスター・モルタル塗り・ALC壁下部 既存塩ビ製巾木：改修しない。
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title 展開図(2) S=1/100
Designed by
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２－５２－１
TEL ０８５８－２２－７７１７ FAX ０８５８－２３－５３１５
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
D
C
NO
A-32

２の２
学習活動室２
家庭科室(裁縫)
(３階)
児童会室
５の１
A展開図 S=1/100
B展開図 S=1/100
C展開図 S=1/100
D展開図 S=1/100
共通事項
＊既存EP塗装壁(ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗り下地) → EP-G塗装(改修)する。
＊既存EP塗装壁(ﾓﾙﾀﾙ塗り下地) → EP-G塗装(改修)する。
＊ﾌﾟﾗｽﾀｰ・ﾓﾙﾀﾙ塗り壁上部、既存木製廻り縁OP塗り → SOP塗装(改修)する。
＊既存木製間仕切りOP塗り壁 → SOP塗装(改修)する。
＊既存木製間仕切り巾木部(ＷＤ敷居共) → SOP塗り分け塗装(改修)する。
＊既存ＷＤ、ＷＷ(OP仕上) → SOP塗装(改修)する。
＊既存EP塗装ALC腰壁 → EP-G塗装(改修)する。
＊既存ALC取付用鉄骨(OP仕上) → SOP塗装(改修)する。
＊ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ(OS仕上) : 改修塗装しない。やり替え部分のみOSCL色合せ
＊既存家具(OS・OP仕上) : 改修塗装(別図参照)する。
＊新設家具、黒板、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ別図参照
＊ｱﾙﾐｻｯｼ木額縁 (OS仕上) : 改修塗装しない。
＊掲示板・黒板・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ枠(OS仕上) : 改修塗装しない。
＊ﾌﾟﾗｽﾀｰ・ﾓﾙﾀﾙ塗り・ALC壁下部 既存塩ビ製巾木 : 改修しない。
Project
上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title
展開図(3)
S=1/100
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２-５２-１
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
TEL ０８５８-２２-７７１７ FAX ０８５８-２３-５３１５
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
D
C
NO
A-33

共通事項

＊既存EP塗装壁(ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗り下地)　→　EP-G塗装(改修)する。
＊既存EP塗装壁(ﾓﾙﾀﾙ塗り下地)　→　EP-G塗装(改修)する。
＊ﾌﾟﾗｽﾀｰ・ﾓﾙﾀﾙ塗り壁上部、既存木製廻り縁OP塗り　→　SOP塗装(改修)する。
＊既存木製間仕切りOP塗り壁　→　SOP塗装(改修)する。
＊既存木製間仕切り巾木部(ＷＤ敷居共)　→　SOP塗り分け塗装(改修)する。
＊既存ＷＤ、ＷＷ(OP仕上)　→　SOP塗装(改修)する。
＊既存EP塗装ALC腰壁　→　EP-G塗装(改修)する。
＊既存ALC取付用鉄骨(OP仕上)　→　SOP塗装(改修)する。
＊ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ(OS仕上)　：改修塗装しない。やり替え部分のみOSCL色合せ
＊既存家具(OS･OP仕上)　：改修塗装(別図参照)する。
＊新設家具、黒板、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ別図参照
＊ｱﾙﾐｻｯｼ木額縁　(OS仕上)　：改修塗装しない。
＊掲示板・黒板･ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ枠(OS仕上)：改修塗装しない。
＊ﾌﾟﾗｽﾀｰ・ﾓﾙﾀﾙ塗り･ALC壁下部　既存塩ビ製巾木：改修しない。

Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事	
Title	展開図(4)	S=1/100

Designed by
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
TEL　0858−22−7717　FAX　0858−23−5315
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号

D
C
NO
A-34

共通事項

* 既存EP塗装壁(ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗り下地) → EP-G塗装(改修)する。
* 既存EP塗装壁(ﾓﾙﾀﾙ塗り下地) → EP-G塗装(改修)する。
* ﾌﾟﾗｽﾀｰ・ﾓﾙﾀﾙ塗り壁上部、既存木製廻り縁OP塗り → SOP塗装(改修)する。
* 既存木製間仕切りOP塗り壁 → SOP塗装(改修)する。
* 既存木製間仕切り巾木部(WD敷居共) → SOP塗り分け塗装(改修)する。
* 既存WD、WW(OP仕上) → SOP塗装(改修)する。
* 既存EP塗装ALC腰壁 → EP-G塗装(改修)する。
* 既存ALC取付用鉄骨(OP仕上) → SOP塗装(改修)する。
* ｱﾙﾐｻｯｼ木額縁 (OS仕上) : 改修塗装しない。
* 掲示板・黒板･ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ枠(OS仕上) : 改修塗装しない。
* ﾌﾟﾗｽﾀｰ・ﾓﾙﾀﾙ塗り･ALC壁下部 既存塩ビ製巾木 : 改修しない。
* 教室入口段差解消工事(TOTO:EWA117RH20同等品) にて改修工事を行う。

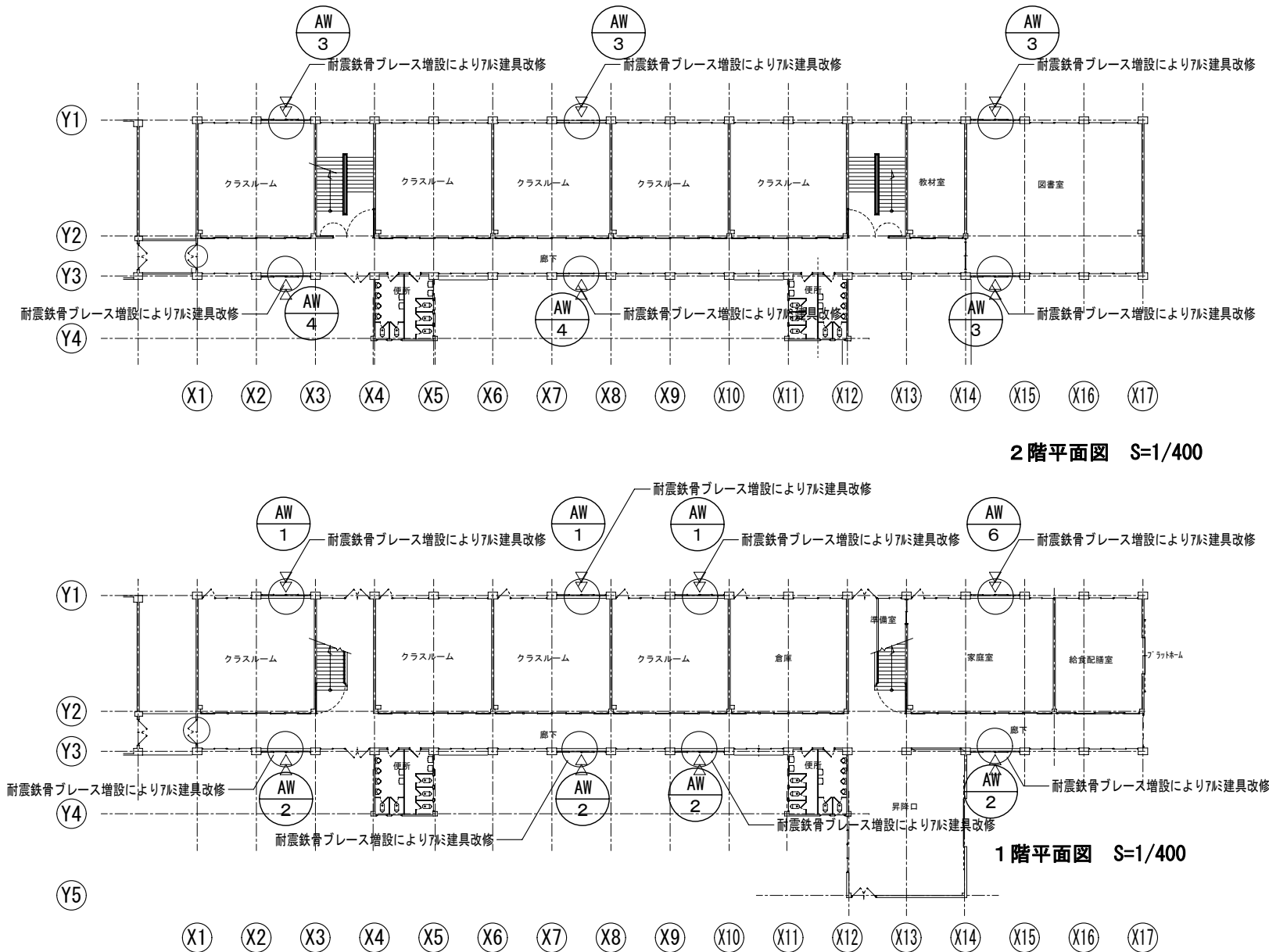
Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事	Designed by	(有) エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	展開図(5)廊下 S=1/100	〒682-0881 鳥取県倉吉市宮川町２-５２-１	一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号 TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315 一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号			A-35

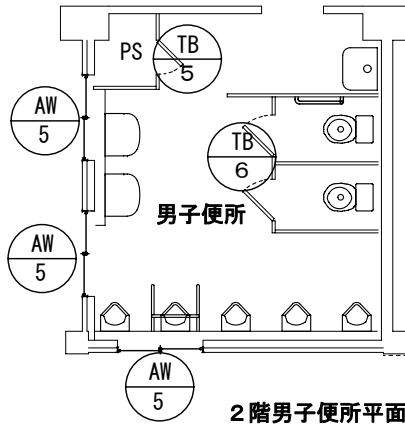
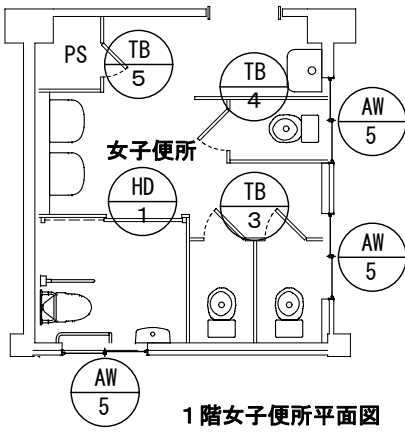
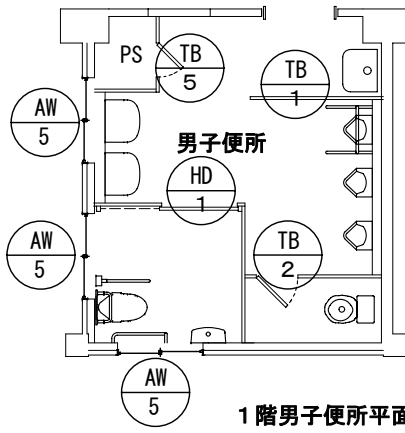
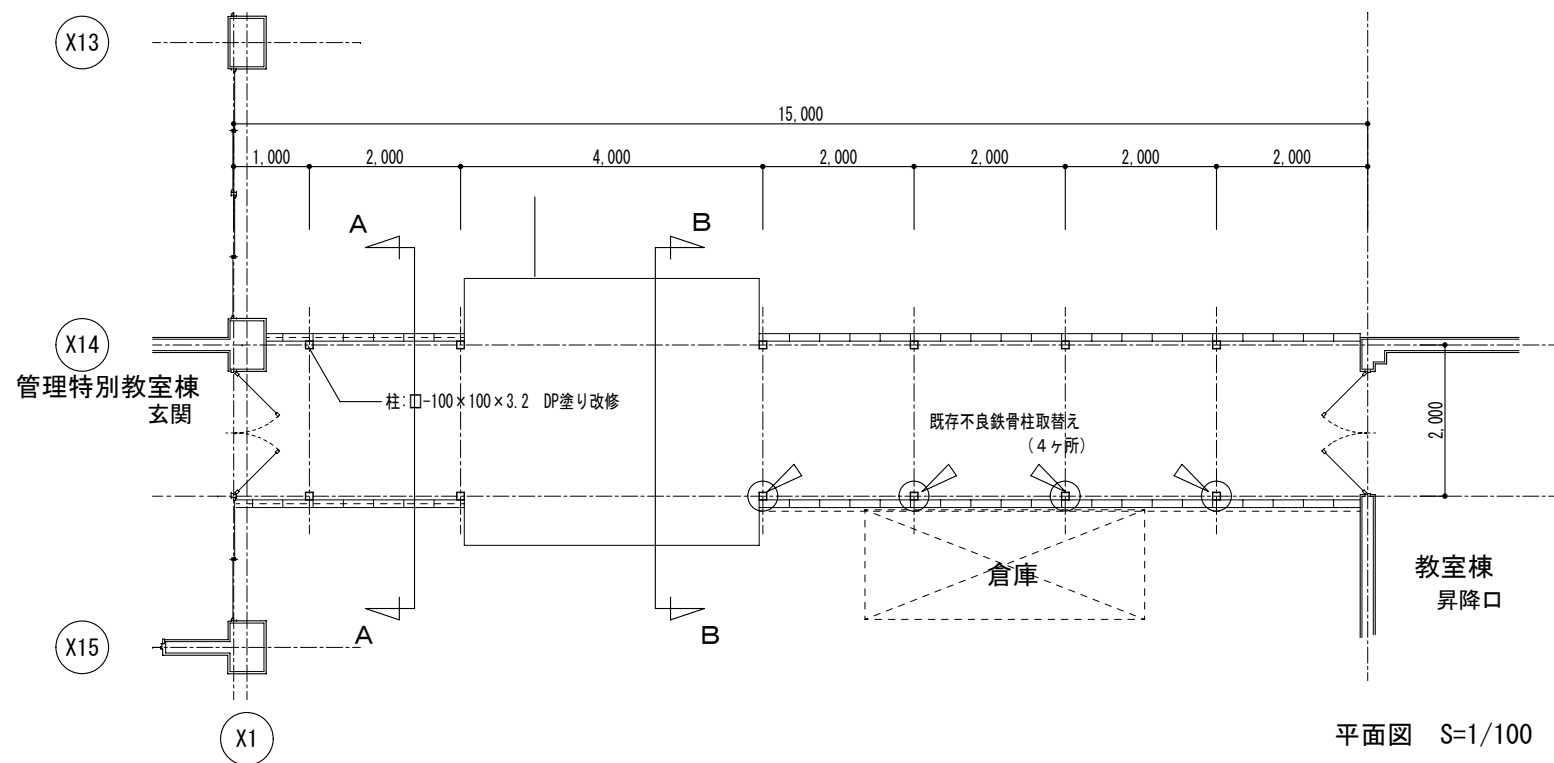
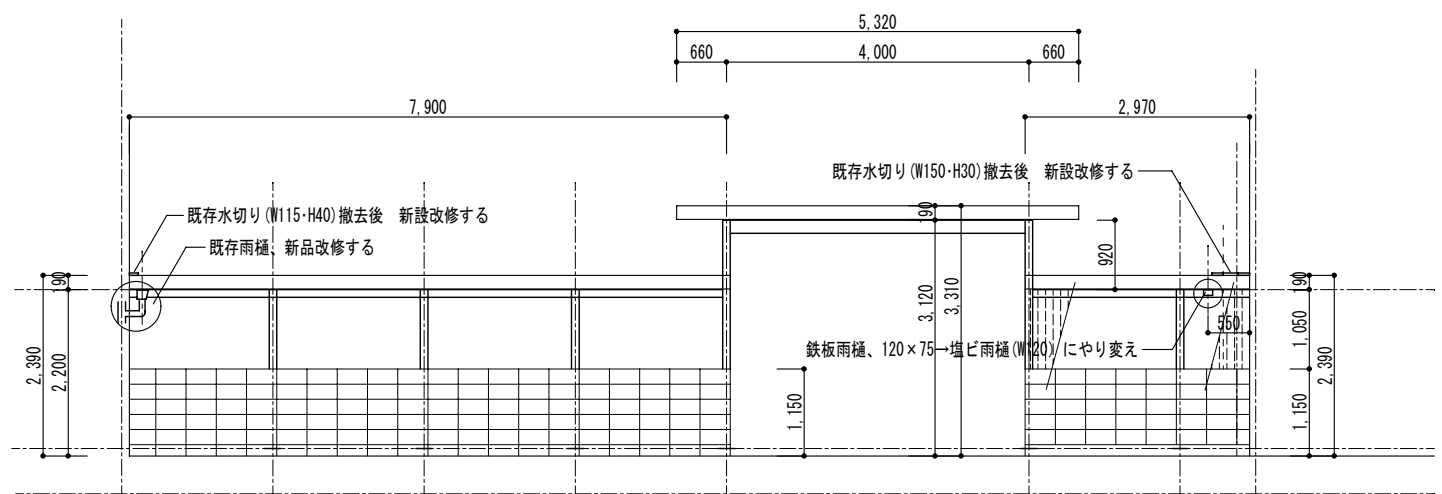
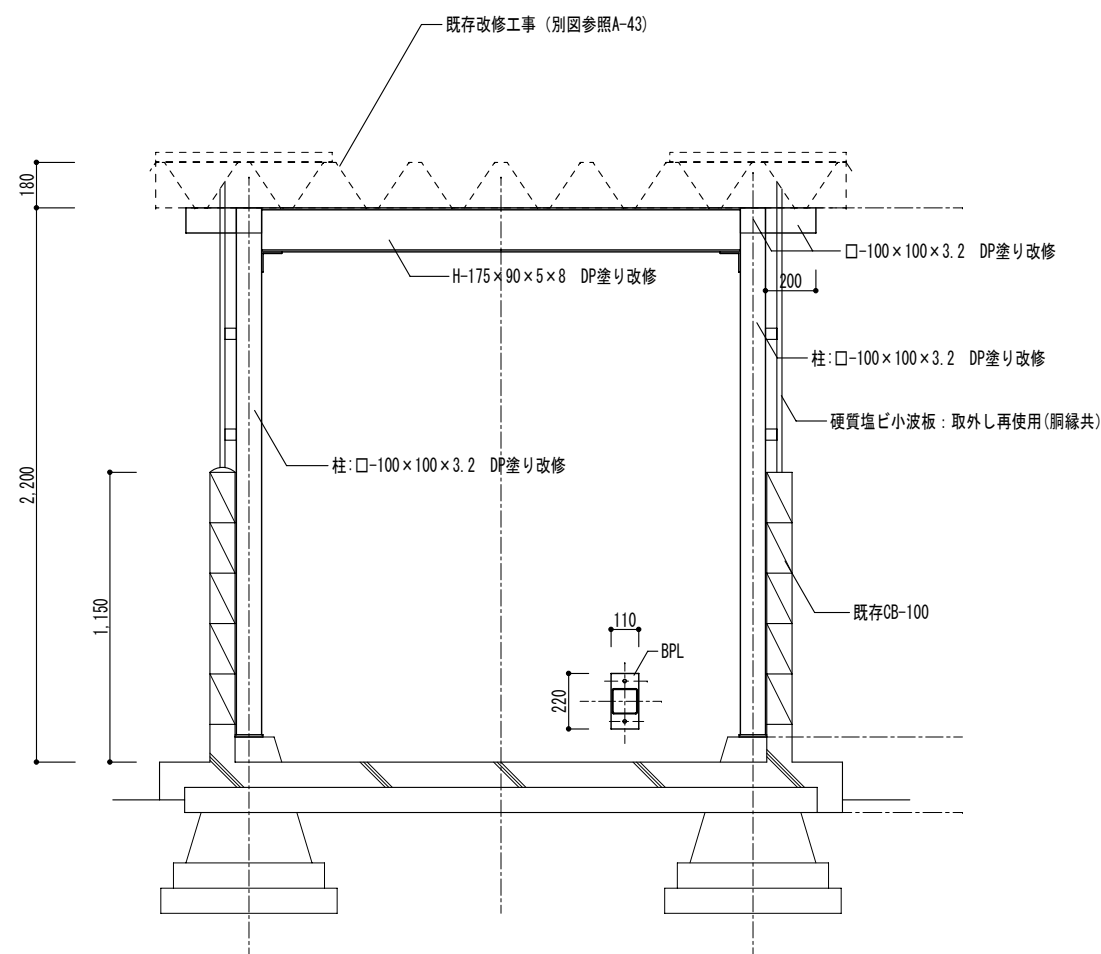
共通事項
＊既存EP塗装壁(ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗り下地) → EP-G塗装(改修)する。
＊既存EP塗装壁(ﾓﾙﾀﾙ塗り下地) → EP-G塗装(改修)する。
＊ﾌﾟﾗｽﾀｰ・ﾓﾙﾀﾙ塗り壁上部、既存木製廻り縁OP塗り → SOP塗装(改修)する。
＊既存木製間仕切りOP塗り壁 → SOP塗装(改修)する。
＊既存木製間仕切り巾木部(WD敷居共) → SOP塗り分け塗装(改修)する。
＊既存WD、WW(OP仕上) → SOP塗装(改修)する。
＊既存EP塗装ALC腰壁 → EP-G塗装(改修)する。
＊既存ALC取付用鉄骨(OP仕上) → SOP塗装(改修)する。
＊ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ(OS仕上) ：改修塗装しない。やり替え部分のみOSCL色合せ
＊既存家具(OS・OP仕上) ：改修塗装(別図参照)する。
＊新設家具、黒板、ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ別図参照
＊ｱﾙﾐｻｯｼ木額縁 (OS仕上) ：改修塗装しない。
＊掲示板・黒板・ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ枠(OS仕上)：改修塗装しない。
＊ﾌﾟﾗｽﾀｰ・ﾓﾙﾀﾙ塗り･ALC壁下部 既存塩ビ製巾木：改修しない。
＊北側ALC爆裂ヶ所補修、調査の上補修する。

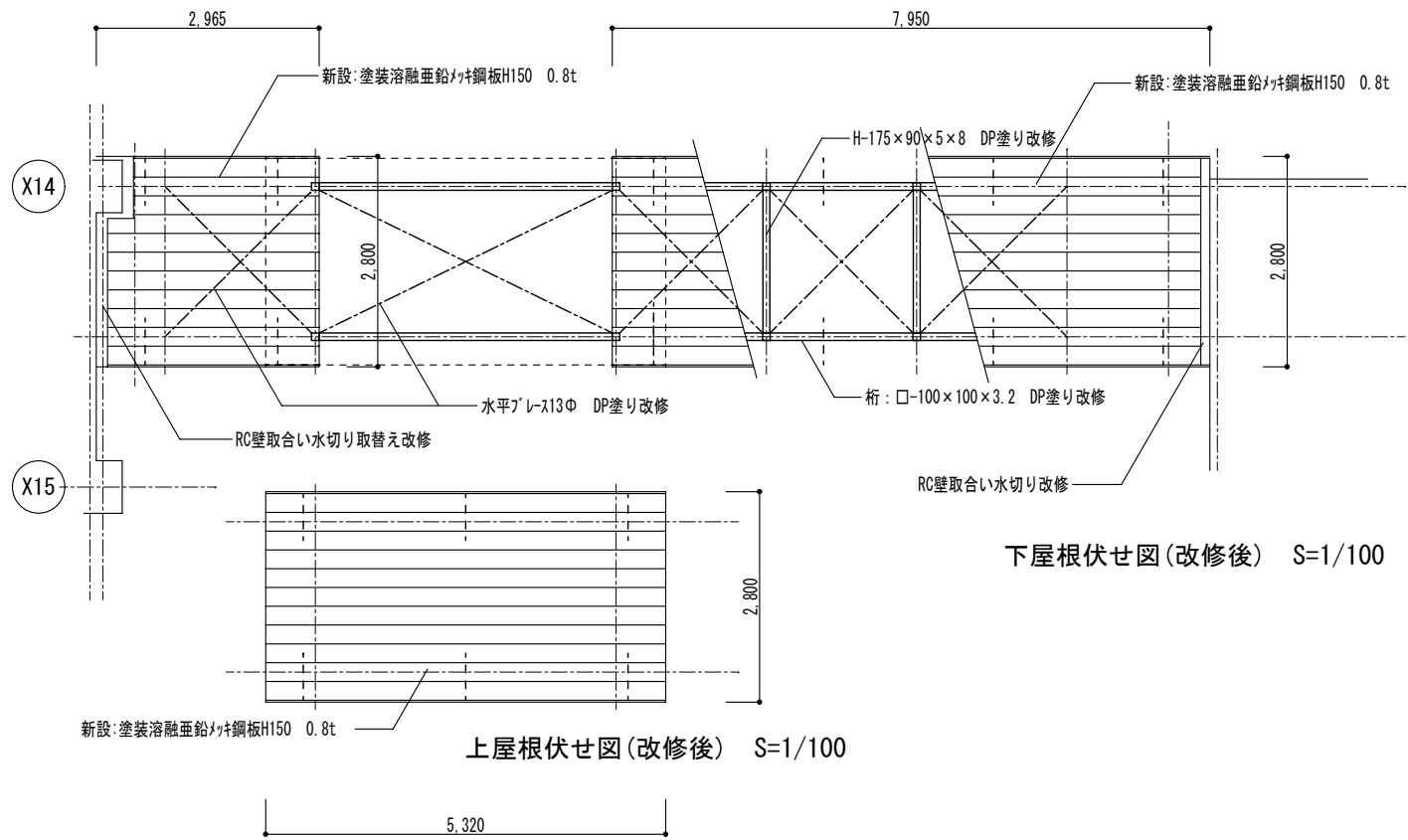
Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事	Designed by	(有) エイディエム設計研究室	D	C	NO
Title	廊下展開図(6)廊下 S=1/100	〒682-0881 鳥取県倉吉市宮川町2-52-1	一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号 TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315 一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号			A-36

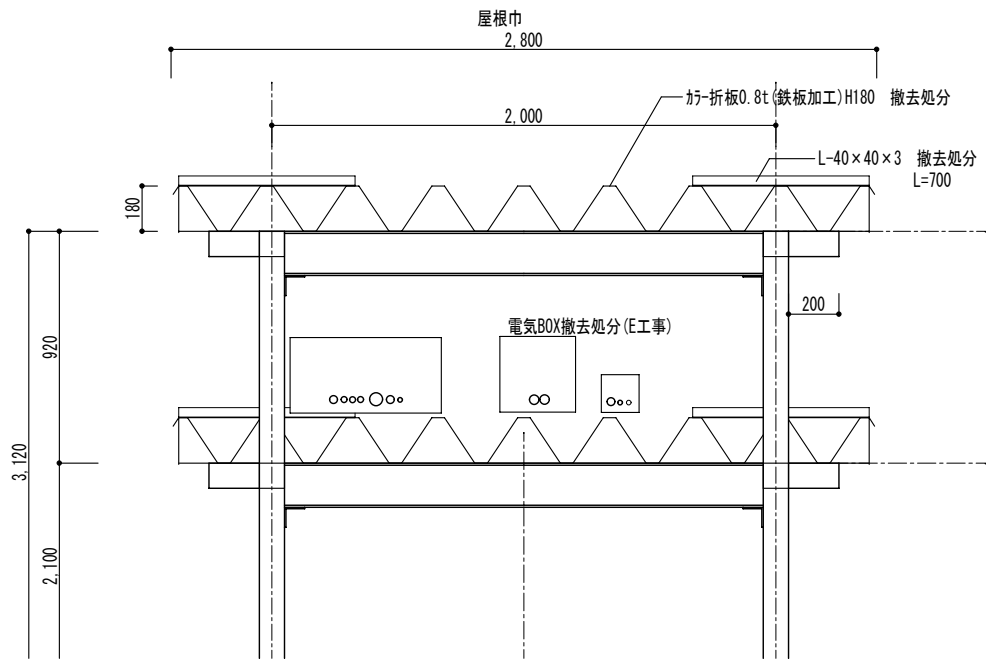
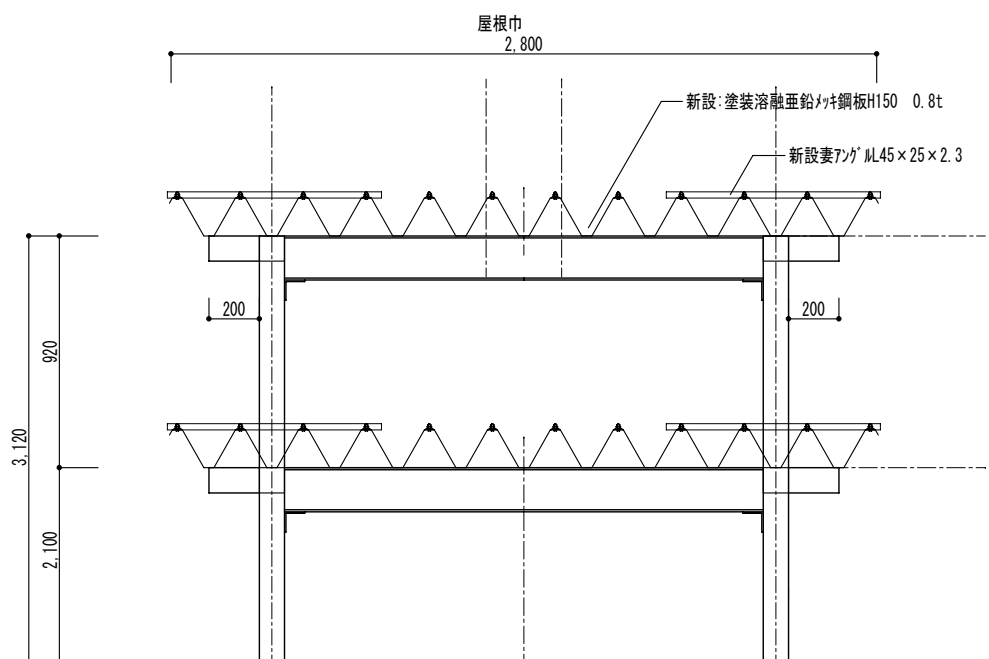
西側階段室
既存木廻り縁:SOP塗り(改修)
壁:ﾓﾙﾀﾙ・ﾌﾟﾗｽﾀｰ部
EP-G塗り(改修)
天井:ﾓﾙﾀﾙ部
EP-G塗り(改修)
家庭科準備室
既存WD:両面SOP塗り(改修)
防火戸SOP塗り(改修)
防火戸枠SOP塗り(改修)
防火ｼｬｯﾀｰSOP塗り(改修)
天井:吸音板
既存塩ビ巾木H100そのまま
A展開図 S=1/100
B展開図 S=1/100
C展開図 S=1/100
D展開図 S=1/100
B展開図(階段中央手摺部分) S=1/100
東側階段室
D展開図(階段中央手摺部分) S=1/100
天板:集成材25t ｳﾚﾀﾝ塗装
集成材25t ｳﾚﾀﾝ塗装
ﾗﾜﾝ合板18t ｳﾚﾀﾝ塗装
20×20×300
裏面塗装無し
階段下足箱詳細図 S=1/30 (2ヶ所)
共通事項
＊既存EP塗装壁(ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗り下地) → EP-G塗装(改修)する。
＊既存EP塗装壁(ﾓﾙﾀﾙ塗り下地) → EP-G塗装(改修)する。
＊ﾌﾟﾗｽﾀｰ・ﾓﾙﾀﾙ塗り壁上部、既存木製廻り縁OP塗り → SOP塗装(改修)する。
＊既存木製間仕切りOP塗り壁 → SOP塗装(改修)する。
＊既存木製間仕切り巾木部(ＷＤ敷居共) → SOP塗り分け塗装(改修)する。
＊既存ＷＤ、ＷＷ(OP仕上) → SOP塗装(改修)する。
＊既存ALC取付用鉄骨(OP仕上) → SOP塗装(改修)する。
＊ｱﾙﾐｻｯｼ木額縁 (OS仕上) : 改修塗装しない。
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title 展開図(7)・階段 S=1/100
Designed by
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
D
C
NO
A-37

共通事項
＊既存天井(吸音板・石膏ﾎﾞｰﾄﾞ) → EP塗装(改修)する。
＊既存木製廻り縁OP塗装部分 → SOP塗装(改修)する。(展開図参照)
＊既存木製間仕切りOP塗り壁上部(廻り縁・WW建具枠共) → SOP塗装(改修)する。(展開図参照)
＊便所全面天井貼り替え (別図参照A-20)。
＊階段室・天井ﾓﾙﾀﾙ部EP塗装 → EP塗装(改修)する。(展開図参照)
＊耐震改修に伴いｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽは一部撤去新設復旧する。7ヶ所(別図参照A-21)
＊ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ(OS仕上) : 改修塗装しない。(展開図参照)
3階天井伏せ図 S=1/200
2階天井伏せ図 S=1/200
1階天井伏せ図 S=1/200
既存ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽそのまま
耐震改修に伴いｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ改修
階段室天井 展開図参照
天井ﾓﾙﾀﾙ部 : EP塗り(改修)
天井石膏ﾎﾞｰﾄﾞ : EP塗り(改修)
便所天井 : 新設(便所改修天井伏せ図参照)
外部軒天部分 : 防水型外装薄塗り材E(改修)
ひまわり
学習活動室3
5の2
5の1
改修しない
教材室3
児童会室
家庭科室
廊下
吸音板(9×303×606)
便所
学習活動室2
きこえの教室
2の2
2の1
たんぽぽ2
教材室2
図書室
渡廊下
さくら
ことばの教室
たんぽぽ1
学習活動室1
教材室1
準備室
家庭室(調理室)
石膏ボード
給食配膳室
昇降口
既存ﾓﾙﾀﾙ部(天井・梁)+EP塗り改修
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title 天井伏図 S=1/200
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
NO A-38

建具表
符号
AW 1 既存 連窓マド 全面解体撤去
連窓マド 新設
普通教室棟1階 クラスルーム(3ヶ所)
AW 2 既存連窓マド 全面撤去
連窓マド 新設
普通教室棟1階 廊下(4ヶ所)
姿図
▽FL
FIX
見込 数量
60 3
3
60 4
70 4
仕様
ビル用アルミサッシ
トーメイ強化ガラス4・腰FIX部アルミパネル3
アルミ建具
ガラス
FL-3
金物
付属金物一式 クレセント 戸車
アルミ外枠2t (4方)裏面結露防止剤吹付
付属金物一式
網戸
AW 3 既存 連窓マド 全面解体撤去
連窓マド 新設
普通教室棟2階 クラスルーム(2ヶ所) 図書室(2ヶ所)
AW 4 既存連窓マド 全面撤去
連窓マド 新設
普通教室棟2階 廊下(2ヶ所)
60 4
4
60 2
70 2
アルミ外枠2t (3方)裏面結露防止剤吹付
AW 6 既存 連窓マド 全面解体撤去
連窓マド 新設
普通教室棟1階 家庭室(1ヶ所)
アルミ板3t 開口(350×350)
60 1
1
付属金物一式 クレセント 戸車 換気扇用開口加工(アルミパネル3)
ガラス記号凡例
F=型板
S=スリガラス
FL=フロート板
FW=網入り型板
PW=網入りみがき板
PG=ペアガラス
A=アクリル板(障子色)
アルミカバー-2t
隙間塞ぎ材
(共通部分)
上部 アルミ外枠詳細図(断面)
横部分 アルミ外枠詳細図(平面)
防水モルタル金コテ仕上
(1F部分)
(2F部分)
下部 アルミ外枠詳細図(断面)
下部 アルミサッシ詳細図(断面)
AW-1,AW-2取付詳細図 S=1/20
AW-3,AW-4取付詳細図 S=1/20
耐震鉄骨ブレース増設によりアルミ建具改修
クラスルーム
教材室
図書室
廊下
便所
準備室
倉庫
家庭室
給食配膳室
昇降口
2階平面図 S=1/400
1階平面図 S=1/400

建具表
符号
AD 1
既存 ﾊﾝｶﾞｰ引戸（両引き分け戸）撤去処分
新設ﾊﾝｶﾞｰドア（両引き分け戸）
普通教室棟1階
昇降口
AD 2
既存 防火ｼｬｯﾀｰそのまま残す
2枚引込みドア 新設
普通特別教室棟1～3階
廊下
姿図
▽FL
全面撤去処分（付属品共）
改修SOP塗り
見込 数量
仕様
ガラス
金物
既存スチールドア
FW-6.8
付属金物一式 ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ他
ﾋﾞﾙ用ｱﾙﾐｻｯｼ（大型ﾊﾝｶﾞｰ引戸）
透明強化ｶﾞﾗｽ4
付属金物一式 引戸錠、戸車、中央ｽﾄｯﾊﾟｰ、掘込引手、ｽﾃﾝﾚｽﾚｰﾙ
既存防火シャッター
付属金物一式
ﾋﾞﾙ用ｱﾙﾐｻｯｼ
ﾄｰﾒｲ強化ｶﾞﾗｽ4
付属金物一式 引戸錠、戸車、掘込引手、ｽﾃﾝﾚｽﾚｰﾙ
AD 3
既存 連窓両開きドア 部分解体撤去
新設 2枚片引き戸（ｶﾊﾞｰ工法）
普通教室棟1階
東西階段室
AD 4
既存 連窓両開きドア 部分解体撤去
新設 2枚片引き戸（ｶﾊﾞｰ工法）
普通教室棟 廊下
渡り廊下出口（東側）
1F/2F
窓部分残す
扉部分撤去処分（三方枠残す）
ｽﾃﾝﾚｽﾚｰﾙ撤去処分
FL-3
既存窓
強化ｶﾞﾗｽ4
既存ﾋﾞﾙ用ｱﾙﾐｻｯｼ
付属金物一式 ｸﾚｾﾝﾄ 戸車 水切り 丁番 握り玉 ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠
ﾄｰﾒｲ強化ｶﾞﾗｽ4 既存FL-3
ガラス記号凡例
F＝型板
S＝スリガラス
FL＝フロート板
FW＝網入り型板
PW＝網入りみがき板
PG＝ペアガラス
A＝アクリル板（障子色）
AD 5
既存 両開きドア(防火戸) 解体撤去
新設 3枚引き違い戸(防火戸仕様)
普通教室棟1～3階
廊下(東端)
周囲RC壁解体撤去処分
引き残し 有効
PW-6.8
付属金物一式 水切り 丁番 握り玉 ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠
AD 6
既存 両開きドア 部分解体撤去
新設 2枚片引き戸
普通教室棟1階
昇降口
普通特別教室棟
普通教室棟
廊下
3階平面図 S=1/400
2階平面図 S=1/400
階段室
1階平面図 S=1/400
昇降口
注意事項 ＊マスターキー
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title 建具表(2)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ S=1/100・S=1/400
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
TEL 0858-22-7717FAX 0858-23-5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
NO
A-40

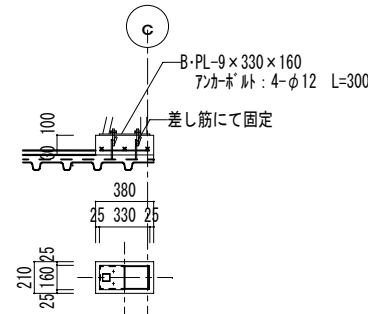
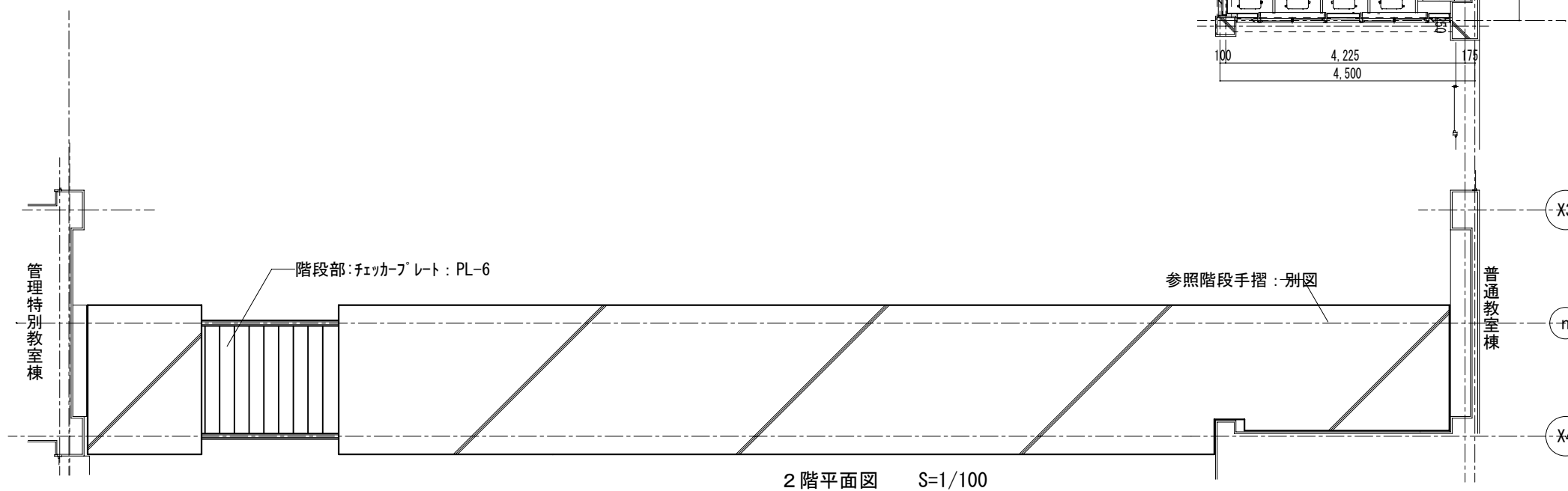
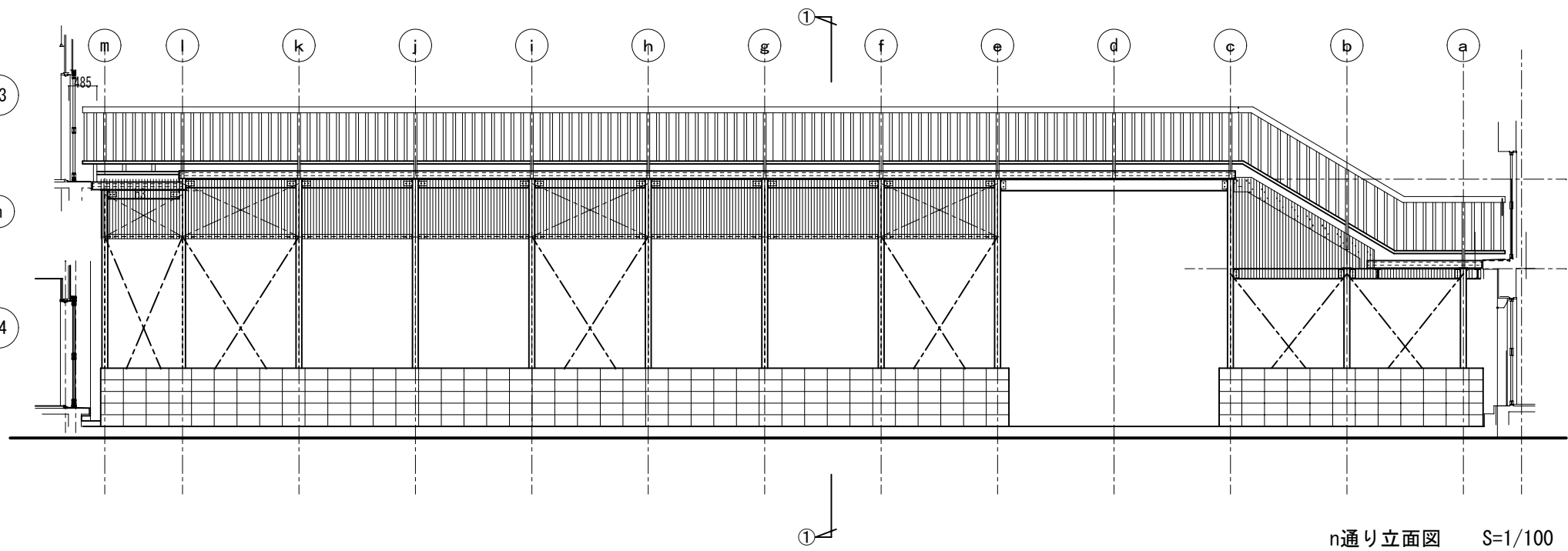
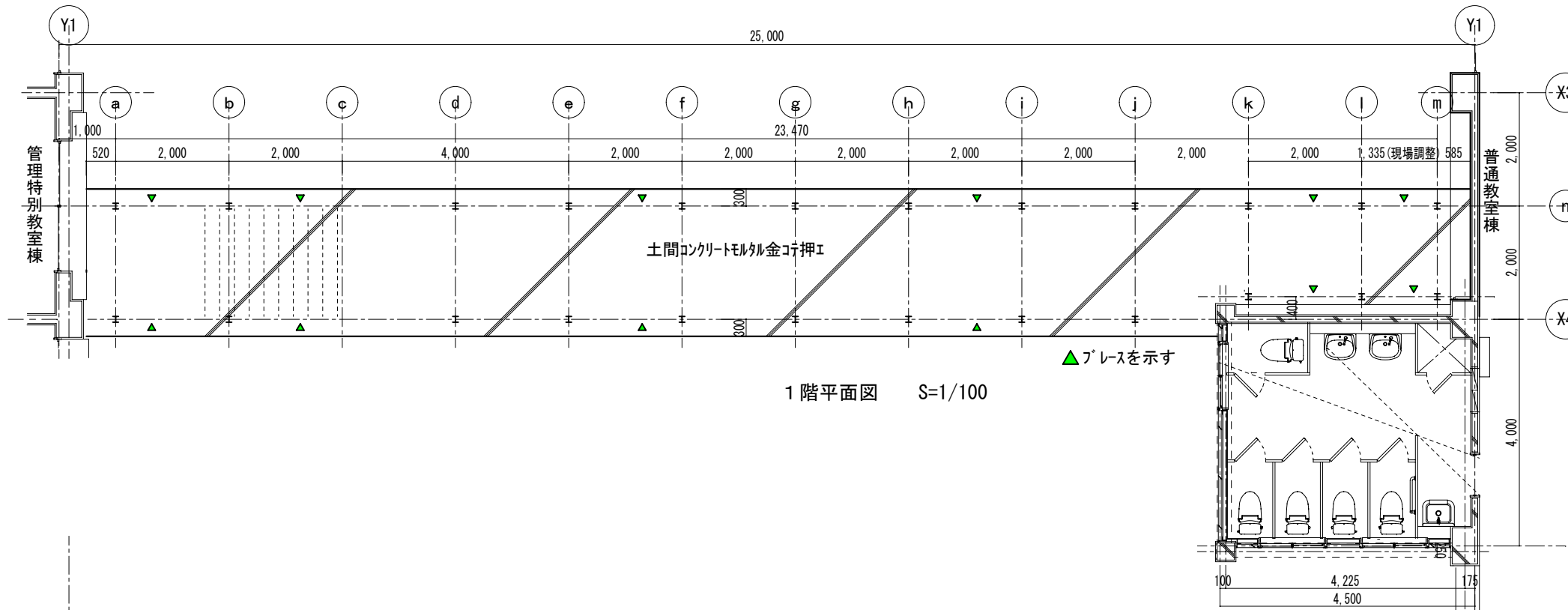
建具表
符号
AW 5
2枚引き違い窓
普通教室棟
男子・女子便所
HD 1
片引き半自動ﾊﾝｶﾞｰ戸
普通教室棟
男子・女子便所
TB 1
トイレブース
普通教室棟
1F男子便所
姿図
▽FL
1,100
600
1,200
2,120
有効900
110
40
1,900
900
1,735
2,450
1,900
見込　数量
70
18
40程度（製造所標準による）
2
40t（製造所標準による）
1
仕様
ALC用ｱﾙﾐｻｯｼ（ｼﾙﾊﾞｰ）
メラミン化粧板
メラミン化粧板(製造所標準による)
ガラス
F-4
金物
付属金物一式　二重水切
付属金物一式　外：表示非常解錠　内：大型サムターン
ステンレス引き棒(L=425)　ステンレス巾木
トイレブース一体型
付属金物一式
TB 2
トイレブース
普通教室棟
1F男子便所
TB 3
トイレブース
普通教室棟
1F女子便所
900
950
1,900
975
550
150
1,675
1,400
210
1,900
1,900
255
550
260
550
150
1,765
40t（製造所標準による）
1
メラミン化粧板(製造所標準による)
付属金物一式　ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ　表示錠　戸当り　ステンレス巾木
TB 4
トイレブース
普通教室棟
1F女子便所
TB 5
トイレブース
普通教室棟
男子・女子便所PS
TB 6
トイレブース
普通教室棟
2・3F男子便所
40
840
1,335
1,900
1,780
125
550
165
840
900
1,900
200
450
350
1,000
1,390
2,040
1,900
240
550
200
550
160
1,800
6
2
付属金物一式　ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ　戸当り　ステンレス巾木
TB 7
トイレブース
普通教室棟
2・3F女子便所
TB 8
トイレブース
普通教室棟
2・3F女子便所
1,440
1,910
1,900
135
550
290
550
290
550
290
550
140
3,345
900
1,900
200
550
790
1,540
ガラス記号凡例
F＝型板
S＝スリガラス
FL＝フロート板
FW＝網入り型板
PW＝網入りみがき板
PG＝ペアガラス
A＝アクリル板（障子色）
PS
女子便所
男子便所
３階女子便所平面図
３階男子便所平面図
２階女子便所平面図
２階男子便所平面図
１階女子便所平面図
１階男子便所平面図
建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ　S=1/100
Project
上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title
建具表(3)・建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ
S=1/100
Designed by
(有) エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
TEL　0858−22−7717FAX　0858−23−5315
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町2−52−1
NO
A-41

平面図 S=1/100
東側立面図 S=1/100
西側立面図 S=1/100
不良柱図(既存) S=1/30
不良柱図(改修後) S=1/30
A～A断面改修図 S=1/30
B～B断面改修図 S=1/30
管理特別教室棟
玄関
教室棟
昇降口
倉庫
柱:□-100×100×3.2 DP塗り改修
既存不良鉄骨柱取替え (4ヶ所)
既存改修工事 (別図参照A-43)
H-175×90×5×8 DP塗り改修
硬質塩ビ小波板:取外し再使用(胴縁共)
既存CB-100
既存水切り(W115・H40)撤去後 新設改修する
既存雨樋、新品改修する
既存水切り(W150・H30)撤去後 新設改修する
鉄板雨樋、120×75→塩ビ雨樋(W120) にやり変え
電気配管改修(E工事)
水切りW、(W115・H40) 目地ｺｰｷﾝｸﾞ、SOP塗装
柱補修
柱(4本)穴塞ぎ補修
柱上部面PF-6(100×100)新設(12ヶ所)
既存:CB-100t部分解体撤去
柱補強完了後ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち 既存鉄筋再使用
柱:□-100×100×3.2 穴あき不良部分調査の上 PL-6にて溶接補強
共通事項
＊既存ｶﾗｰ折板屋根0.8t → 新設ｶﾗｰ折板屋根に改修
＊既存鉄鋼面OP塗装 → DP塗装(改修)する。
＊鉄鋼面の下地処理は RB種とする。
＊鉄鋼面合成樹脂ペイント塗りは B種とする。
(錆止め+穴埋めパテ・中塗り・上塗り)
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title 西側渡り廊下改修図(1) S=1/100・S=1/30
Designed by (有) エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
〒682-0881 鳥取県倉吉市宮川町2-52-1
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
NO A-42

下屋根伏せ図(既存) S=1/100

上屋根伏せ図(既存) S=1/100

屋根断面図(既存) S=1/30

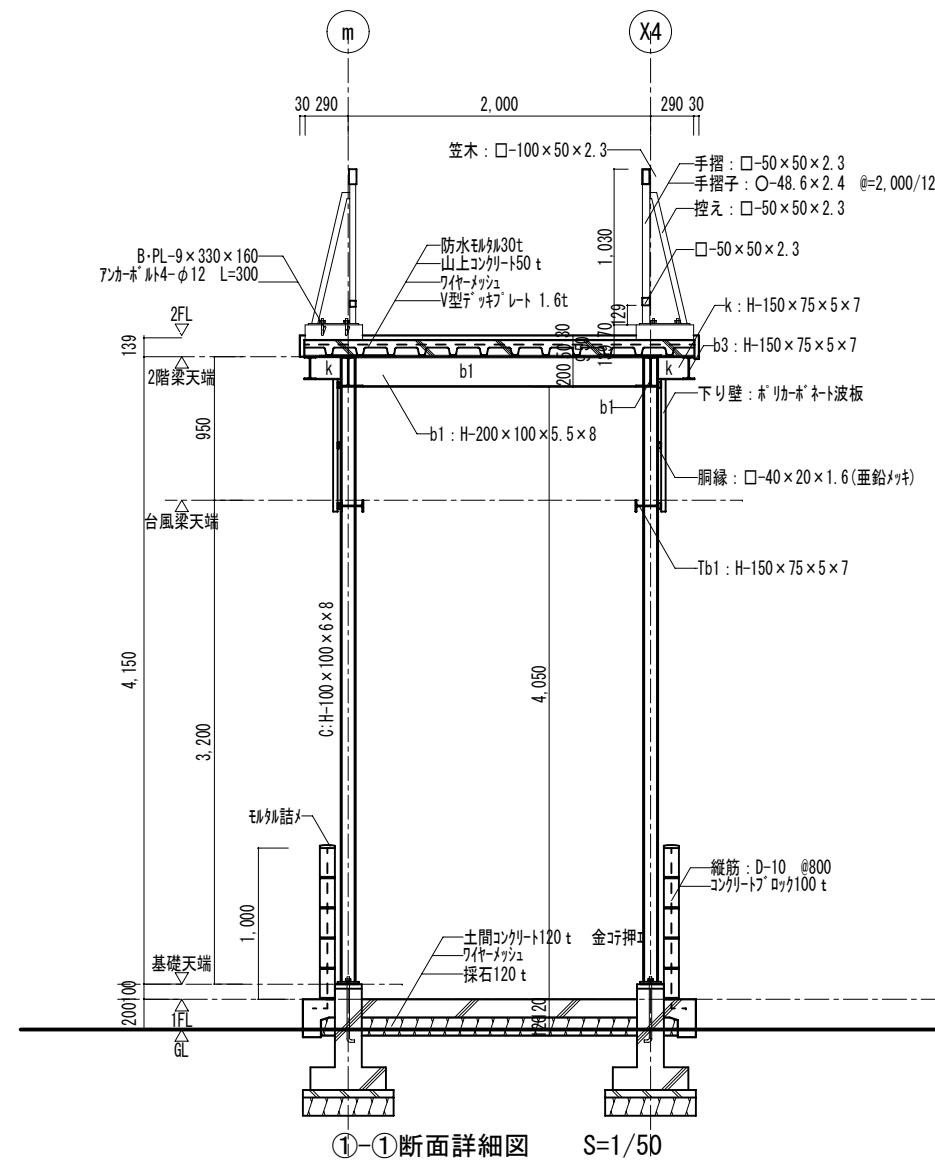
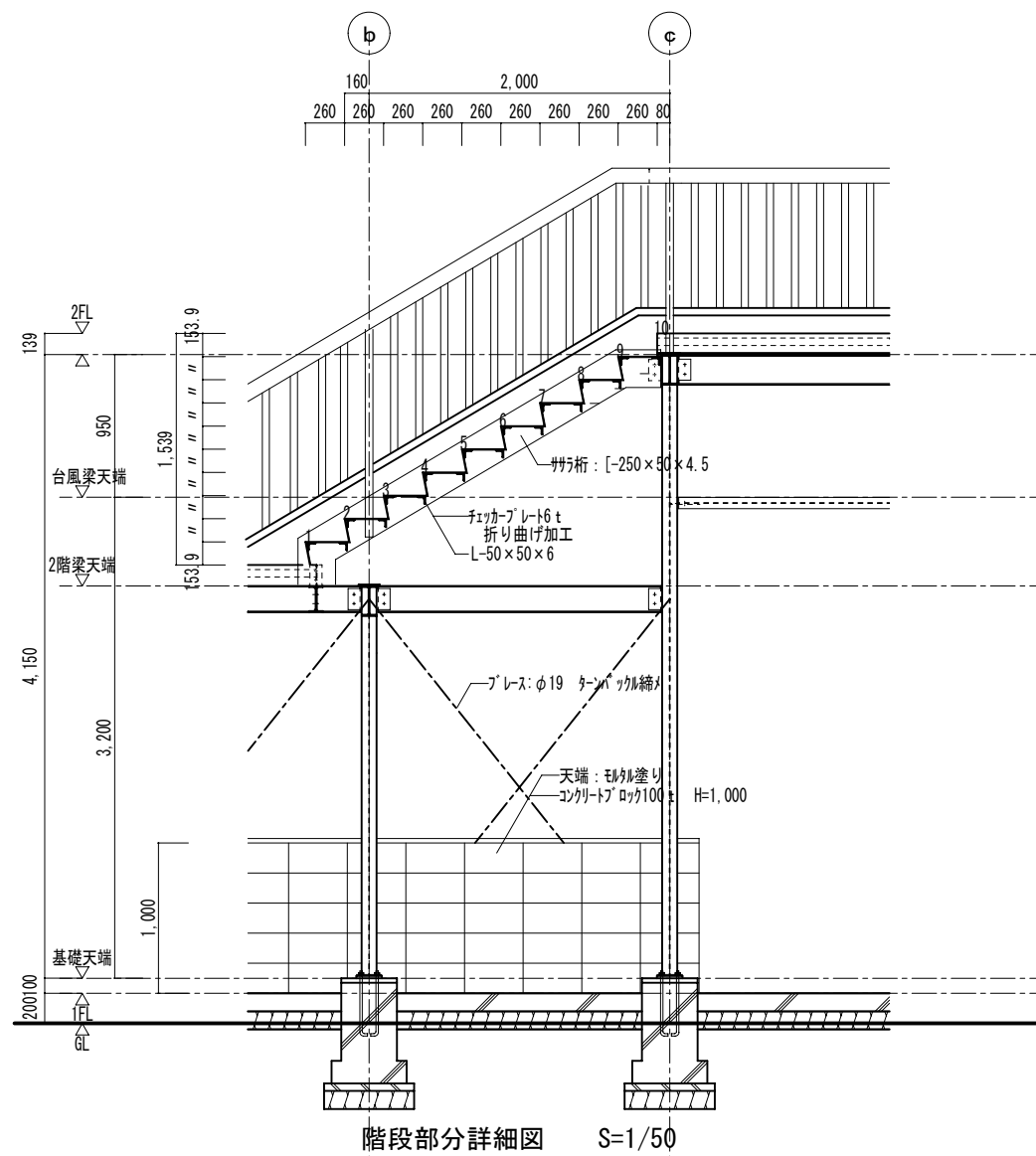
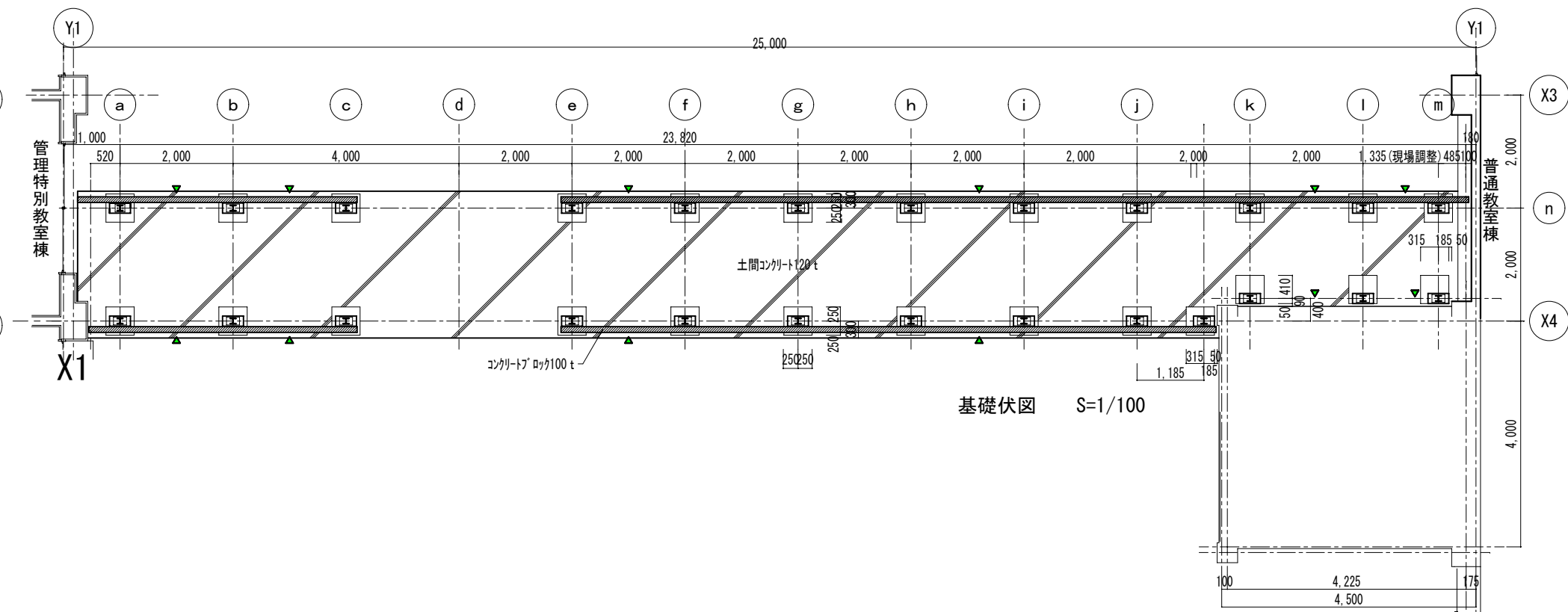
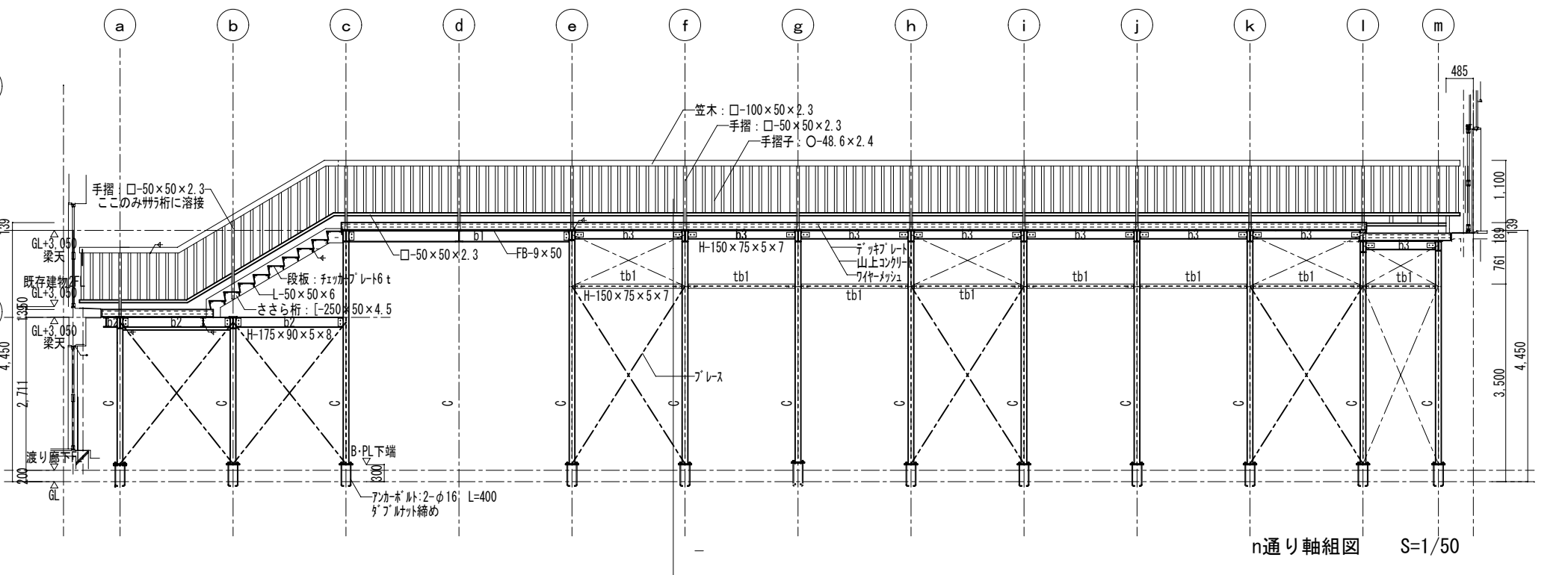
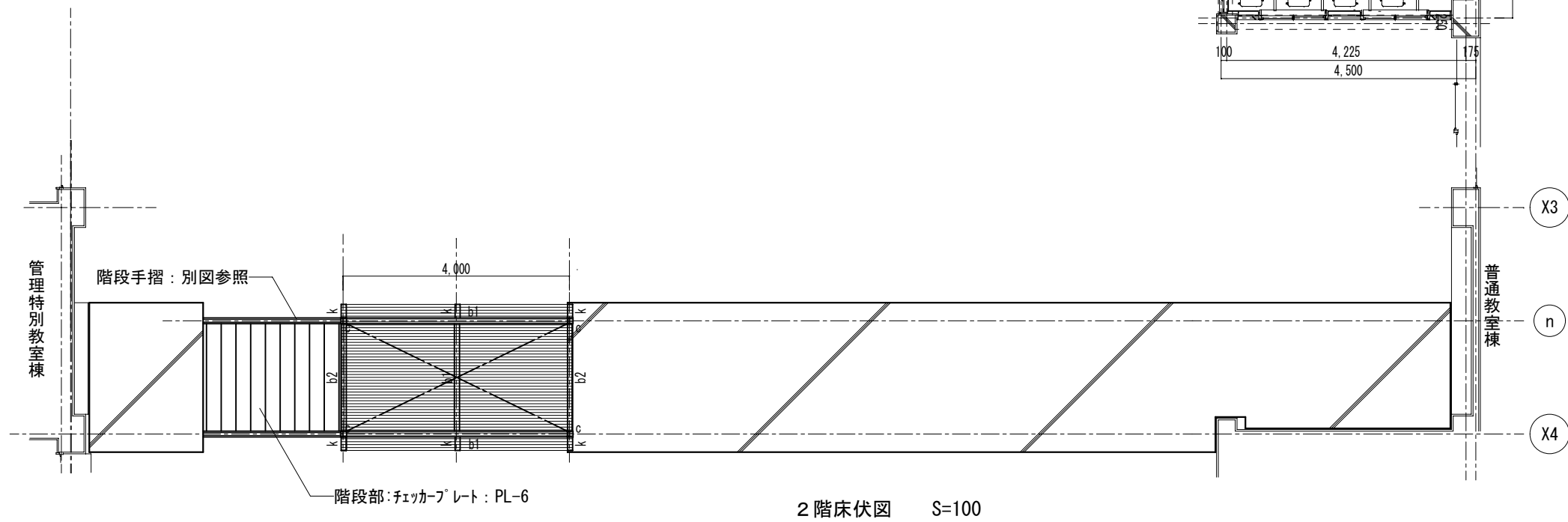
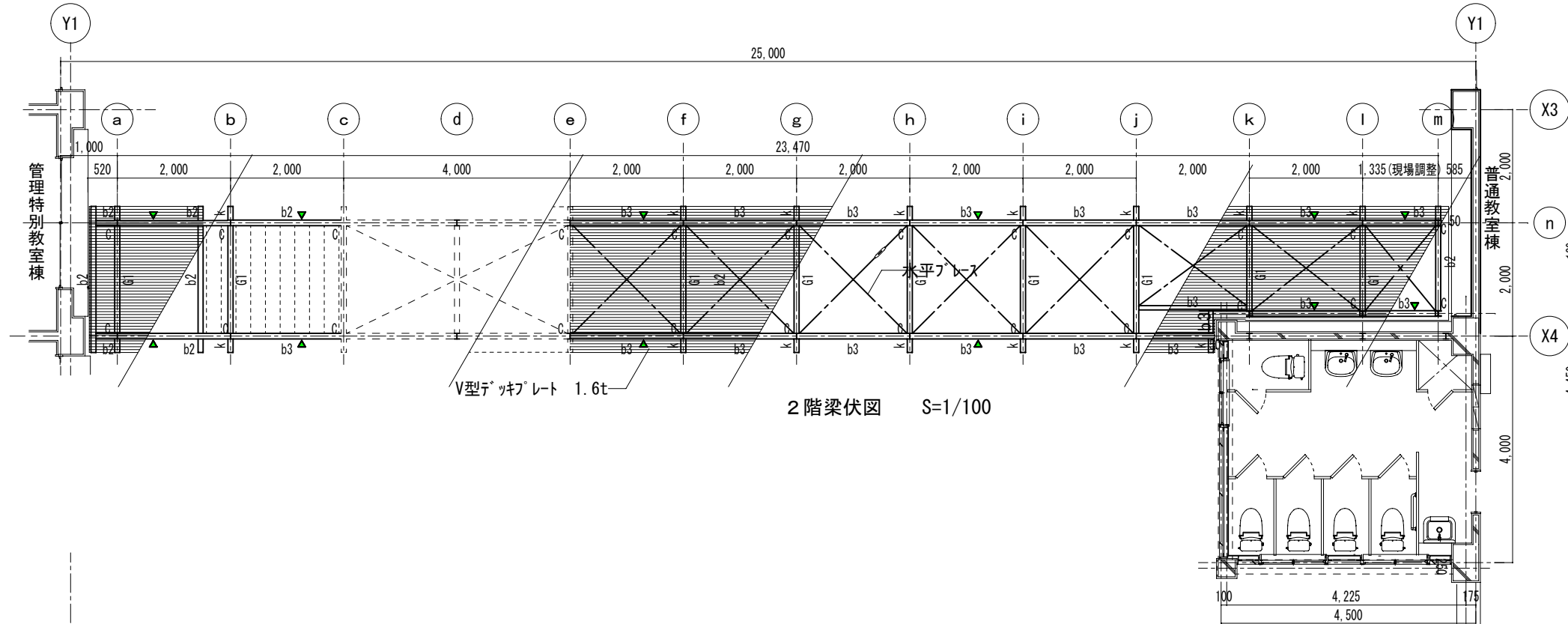
下屋根伏せ図(改修後) S=1/100

上屋根伏せ図(改修後) S=1/100

屋根断面図(改修後) S=1/30

共通事項

＊既存ｶﾗｰ折板屋根0.8t → 新設塗装溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板屋根に改修
＊既存鉄鋼面OP塗装 → DP塗装(改修)する。
＊鉄鋼面の下地処理は RB種とする。
＊錆び止めは (改修仕様)変成ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾌﾟﾗｲﾏｰ。

Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事	Designed by	(有) エイディエム設計研究室	NO A-43
Title	西側渡り廊下改修図(2)屋根 S=1/100・S=1/30	〒682-0881 鳥取県倉吉市宮川町2-52-1	一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号 TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315 一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号	

外部仕上表

２階床	防水モルタル30t V型デッキプレート1.6ｔ　50山 ＋ 山上コンクリート50ｔ
１階床	土間コンクリート120ｔ　モルタル金コテ押エ
天井	デッキプレート顕シ
柱・梁	鉄骨　SS400　溶融亜鉛メッキ

Project	上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title	東側新設渡り廊下平面･立面・断面詳細図　S=1/50　S=1/30
Designed by	(有) エイディエム設計研究室
	〒682-0881 鳥取県倉吉市宮川町２-５２-１
	一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
	TEL　0858-22-7717FAX　0858-23-5315
	一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号
NO	A-44

部材リスト　S＝1/30

記号	G1	b1	b2	b3	k	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ
断面	C・PL-12 / PL-9					山上ｺﾝｸﾘｰﾄ　50t / 溶接金網：150×150×6 / V型ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ　1.6t / FB-9×50
主材	H-200×100×5.5×8	H-200×100×5.5×8	H-175×90×5×8	H-150×75×5×7	H-150×75×5×7	
ﾌﾗﾝｼﾞPL　HTB						
ｳｪﾌﾞPL　HTB		PL-6　2-M16	PL-6　2-M16	PL-6　2-M16	PL-6　2-M16	

記号	C	C'	Tb1	水平ﾌﾞﾚｰｽ	▲ ﾌﾞﾚｰｽ(壁)
断面				φ16(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ締メ) / FB-6×50×200 / 2-M16 / PL-6	φ19(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ締メ) / FB-6×65×250 / 2-M20 / PL-6
主材	H-100×100×6×8	H-100×100×6×8	H-150×75×5×7		
ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ	PL-16×140×140				
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	2-φ16　L=400	PL-6　2-M16	PL-6　2-M16		

Project　上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事	Designed by	D	C
Title　東側新設渡り廊下構造図　S=1/100　S=1/50	(有) エイディエム設計研究室 一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号 〒682-0881　鳥取県倉吉市宮川町２-５２-１ TEL　0858-22-7717FAX　0858-23-5315 一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号		NO　A-45

25,000
1,000
2,000
4,000
既存灯油ﾀﾝｸ残す
(Φ700×1,200)
既存CB-100(H=1000)撤去処分
管理特別教室棟
普通教室棟
柱:□-100×100×3.2 OP塗り
X1
X3
X4
1階平面図 S=1/100
□-100×100×3.2 OP塗り
H-175×90×5×8 OP塗り
□-100×100×3.2 OP塗り改修
1階平面図 S=1/100
H-200×100×5.5×8 OP塗り
1階平面図 S=1/100
共通事項
＊既存２階ｽﾗﾌﾞｺﾝｸﾘｰﾄ撤去処分。
＊既存CB-100(H=1000)全面撤去処分
＊既存鉄骨全面撤去処分
＊既存鉄骨基礎・土間ｺﾝｸﾘｰﾄ全面撤去処分
柱:□-100×100×3.2 SOP塗り
2階平面図 S=1/100
2,640
H-175×90×5×8 OP塗り改修
柱:□-100×100×3.2 OP塗り改修
硬質塩ビ小波板:撤去処分(胴縁共)
柱:□-100×100×3.2 SOP塗り
CB-100
BPL
2,000
A～A断面詳細図 S=1/30
H-175×90×5×8
H-200×100×5.5×8
柱:□-100×100×3.2
倉庫
B～B断面詳細図 S=1/30
＊既存東側渡り廊下解体撤去処分（基礎・土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共）
Project 上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title 東側渡り廊下解体図(1) S=1/100
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２-５２-１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士 里見泰男 登録番号 第128367号
TEL 0858-22-7717 FAX 0858-23-5315
一級建築士 市村幹男 登録番号 第202784号
NO
A-46

2,550
2,050
2,425
2,190
2,380
2,600
3,900
275
＊既存CB-100(H=1000)全面撤去処分
東立面図　S=1/100
C部分
西立面図　S=1/100
既存手摺(亜鉛ﾒｯｷ仕上)
□-100×50×2.3　DP塗り補修
格子　DP塗り補修
□-40×40　DP塗り補修
□-40×40　DP塗り補修
1,140
1,075
65
220
137.5
H-200×100×5.5×8　DP塗り改修
H-175×90×5×8　DP塗り改修
柱:□-100×100×3.2　DP塗り改修
ｻｻﾗ桁:[-250×50　DP塗り改修
階段裏鉄板　DP塗り改修
H-175×90×5×8　DP塗り改修
ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ裏　DP塗り改修
□-100×100×3.2　DP塗り改修
C部分断面詳細図　S=1/30
共通事項
＊既存２階ｽﾗﾌﾞｺﾝｸﾘｰﾄ撤去処分。
＊既存CB-100(H=1000)全面撤去処分
＊既存鉄骨全面撤去処分
＊既存鉄骨基礎・土間ｺﾝｸﾘｰﾄ全面撤去処分
＊既存東側渡り廊下解体撤去処分（基礎・土間ｺﾝｸﾘｰﾄ共）
Project　上灘小学校普通教室棟耐震補強(建築主体)工事
Title　東側渡り廊下解体図(2)　S=1/100
Designed by
〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町２−５２−１
（有）エイディエム設計研究室
一級建築士　里見泰男　登録番号　第128367号
ＴＥＬ　０８５８−２２−７７１７ＦＡＸ　０８５８−２３−５３１５
一級建築士　市村幹男　登録番号　第202784号
D
C
NO
A-47